

2024 年長崎県感染症発生動向調査年報

2025 年 9 月

長崎県感染症情報センター
(長崎県環境保健研究センター)

目 次

I 感染症発生動向調査事業の概要	1
1 感染症発生動向調査事業	2
2 対象感染症	2
(1) 全数把握の対象感染症	2
(2) 定点把握の対象感染症（五類感染症）	4
3 定点医療機関数（2024 年）	5
4 感染症情報の提供	6
5 報告週対応表（2024 年）	6
II 感染症発生動向調査結果	7
I 全数把握の対象感染症	8
(1) 一類感染症	8
(2) 二類感染症	8
(3) 三類感染症	11
(4) 四類感染症	13
(5) 五類感染症	20
感染症週報（全数把握の対象感染症）推移表 長崎県（2024 年）	34

2 定点把握の対象感染症	37
(1) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）	37
(2) 新型コロナウイルス感染症	38
(3) RS ウイルス感染症	39
(4) 咽頭結膜熱	40
(5) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41
(6) 感染性胃腸炎	42
(7) 水痘	43
(8) 手足口病	44
(9) 伝染性紅斑	45
(10) 突発性発しん	46
(11) ヘルパンギーナ	47
(12) 流行性耳下腺炎	48
(13) 急性出血性結膜炎	49
(14) 流行性角結膜炎	50
(15) 細菌性髄膜炎	51
(16) 無菌性髄膜炎	52
(17) マイコプラズマ肺炎	53
(18) クラミジア肺炎（オウム病は除く）	54
(19) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）	55

3	STD 定点報告の対象感染症	56
	(1) 性器クラミジア感染症	56
	(2) 性器ヘルペスウイルス感染症	57
	(3) 尖圭コンジローマ	58
	(4) 淋菌感染症	59
4	基幹定点報告の対象感染症	60
	(1) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	60
	(2) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	61
	(3) 薬剤耐性緑膿菌感染症	62
	感染症速報（定点把握の感染症）推移表 患者報告数 長崎県（2024 年）	63
	感染症速報（定点把握の感染症）推移表 定点当たり患者報告数 長崎県（2024 年）	65
	感染症月報推移表 患者報告数 長崎県（2024 年）	67
	感染症月報推移表 定点当たり患者数 長崎県（2024 年）	67

I 感染症発生動向調査事業の概要

Ⅰ 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業は、平成 11 年 4 月 1 日から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の第三章（第 12 条～16 条）に基づき、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」（平成 11 年 3 月 19 日健医発第 458 号）により国の施策として位置づけられた。

本県でも、県内の患者発生状況、病原体の検索等感染症に関する情報を迅速かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元することにより、医療機関における適切な初期診断に役立てるとともに、予防接種、集団生活の管理、衛生教育など適切な予防措置を講じ、感染症の発生及びまん延の未然防止、有効かつ的確な感染症対策に資することを目的として、「長崎県感染症発生動向調査事業実施要綱」が定められている。

本調査では全数把握及び定点把握の感染症を対象とし、全数把握の対象感染症については、患者を診断した医師が最寄りの保健所に届出を行うよう義務づけられている。また、定点把握の対象感染症は、県内の感染症指定届出機関（定点医療機関）から毎週又は毎月、管轄保健所に患者数が報告されている。長崎県感染症情報センターでは、患者情報及び病原体情報について、週及び月単位で国への報告をおこない、国の集計を経て還元された情報を用いて収集・分析した結果を長崎県地域保健推進課、中核市保健所及び県立保健所、長崎県医師会などの関係機関に提供している。

なお、類型による医師からの届出・報告基準については下表のとおりである。

類 型	届出・報告	対 象
一類～四類感染症（全数）	直ちに	全医療機関
五類感染症（ 〃 ）	7 日以内 （侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん、麻しんは「直ちに」）	〃
指定感染症（ 〃 ）	直ちに	〃
五類感染症（定点）小児科	週単位	定点医療機関
〃 インフルエンザ	〃	〃
〃 眼科	〃	〃
〃 STD	月単位	〃
〃 基幹	週及び月単位	〃

2 対象感染症

（Ⅰ）全数把握の対象感染症

①一類感染症

（Ⅰ）エボラ出血熱、（Ⅱ）クリミア・コンゴ出血熱、（Ⅲ）痘そう、（Ⅳ）南米出血熱、（Ⅴ）ペスト、（Ⅵ）マールブルグ病、（Ⅶ）ラッサ熱

②二類感染症

(8) 急性灰白髄炎、(9) 結核、(10) ジフテリア、(11) 重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、(12) 中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）、(13) 鳥インフルエンザ（H5N1）、(14) 鳥インフルエンザ（H7N9）

③三類感染症

(15) コレラ、(16) 細菌性赤痢、(17) 腸管出血性大腸菌感染症、(18) 腸チフス、(19) パラチフス

④四類感染症

(20) E型肝炎、(21) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、(22) A型肝炎、(23) エキノコックス症、(24) エムポックス、(25) 黄熱、(26) オウム病、(27) オムスク出血熱、(28) 回帰熱、(29) キャサヌル森林病、(30) Q熱、(31) 狂犬病、(32) コクシジオイデス症、(33) ジカウイルス感染症、(34) 重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る^{※1}。）、(35) 腎症候性出血熱、(36) 西部ウマ脳炎、(37) ダニ媒介脳炎、(38) 炭疽、(39) チクングニア熱、(40) つつが虫病、(41) デング熱、(42) 東部ウマ脳炎、(43) 鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く。）、(44) ニパウイルス感染症、(45) 日本紅斑熱、(46) 日本脳炎、(47) ハンタウイルス肺症候群、(48) Bウイルス病、(49) 鼻疽、(50) ブルセラ症、(51) ベネズエラウマ脳炎、(52) ヘンドラウイルス感染症、(53) 発しんチフス、(54) ボツリヌス症、(55) マラリア、(56) 野兎病、(57) ライム病、(58) リッサウイルス感染症、(59) リフトバレー熱、(60) 類鼻疽、(61) レジオネラ症、(62) レプトスピラ症、(63) ロッキー山紅斑熱

⑤五類感染症（全数）

(64) アメーバ赤痢、(65) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、(66) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、(67) 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）、(68) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、(69) クリプトスポリジウム症、(70) クロイツフェルト・ヤコブ病、(71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72) 後天性免疫不全症候群、(73) ジアルジア症、(74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症、(75) 侵襲性髄膜炎菌感染症、(76) 侵襲性肺炎球菌感染症、(77) 水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、(78) 先天性風しん症候群、(79) 梅毒、(80) 播種性クリプトコックス症、(81) 破傷風、(82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84) 百日咳、(85) 風しん、(86) 麻しん、(87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

⑥新型インフルエンザ等感染症

(113) 新型インフルエンザ、(114) 再興型インフルエンザ
(115) 新型コロナウイルス感染症、(116) 再興型コロナウイルス感染症

※1 現在は、フェヌイウイルス科バンダウイルス属に分類されている

(2) 定点把握の対象感染症（五類感染症）

①五類感染症（定点）

(88) R Sウイルス感染症、(89) 咽頭結膜熱、(90) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、(91) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(92) 感染性胃腸炎、(93) 急性出血性結膜炎、(94) クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(95) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、(96) 新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）、(97) 水痘、(98) 性器クラミジア感染症、(99) 性器ヘルペスウイルス感染症、(100) 尖圭コンジローマ、(101) 手足口病、(102) 伝染性紅斑、(103) 突発性発しん、(104) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(105) ヘルパンギーナ、(106) マイコプラズマ肺炎、(107) 無菌性髄膜炎、(108) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(109) 薬剤耐性緑膿菌感染症、(110) 流行性角結膜炎、(111) 流行性耳下腺炎、(112) 淋菌感染症

②法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点）

(117) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

(3) 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

(118) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。

3 定点医療機関数（2024 年）※

患者定点

（ ）内は報告単位を示す。

管轄保健所	インフルエンザ (週)	小児科 (週)	眼科 (週)	基幹 (週)	STD (月)	基幹 (月)	疑似症
長 崎 市	17	10	3	3	3	3	5
佐 世 保 市	11	6	1	1	2	1	5
西 彼	6	4	1	1	1	1	0
県 央	11	7	1	1	2	1	2
県 南	8	5	1	1	1	1	2
県 北	4	3	0	1	1	1	0
五 島	4	3	1	1	0	1	1
上 五 島	3	2	0	1	0	1	1
壱 岐	3	2	0	1	0	1	1
対 馬	3	2	0	1	0	1	1
合 計	70	44	8	12	10	12	18

病原体定点

管轄保健所	インフルエンザ 指定提出機関	小児科	眼科	基幹
長 崎 市	2	1	1	3
佐 世 保 市	3	1	0	1
西 彼	1	1	0	1
県 央	3	2	0	1
県 南	1	1	0	1
県 北	1	1	0	1
五 島	1	0	0	1
上 五 島	1	0	0	1
壱 岐	1	0	0	1
対 馬	1	0	0	1
合 計	15	7	1	12

※感染症法施行規則の改正に伴い、2025 年 4 月 7 日から、定点の名称および定点数は変更されている。

4 感染症情報の提供

毎週、「長崎県感染症発生動向調査速報」を作成し、長崎県地域保健推進課、県立保健所、中核市保健所、長崎市保健環境試験所等に E メールで配信し、各保健所から関係機関へ情報提供を行っている。また、長崎県地域保健推進課を通じ、教育庁体育保健課等関係機関及び長崎県医師会に報告がなされている。さらに、一般県民及び医療機関の関係者に向けて感染症情報のホームページを開設し、感染症の予防及び拡大防止に寄与している。

5 報告週対応表（2024 年）

	週	月	火	水	木	金	土	日		週	月	火	水	木	金	土	日
1月	1	1	2	3	4	5	6	7	7月	27	1	2	3	4	5	6	7
	2	8	9	10	11	12	13	14		28	8	9	10	11	12	13	14
	3	15	16	17	18	19	20	21		29	15	16	17	18	19	20	21
	4	22	23	24	25	26	27	28		30	22	23	24	25	26	27	28
	5	29	30	31	1	2	3	4		31	29	30	31	1	2	3	4
2月	6	5	6	7	8	9	10	11	8月	32	5	6	7	8	9	10	11
	7	12	13	14	15	16	17	18		33	12	13	14	15	16	17	18
	8	19	20	21	22	23	24	25		34	19	20	21	22	23	24	25
	9	26	27	28	29	1	2	3		35	26	27	28	29	30	31	1
3月	10	4	5	6	7	8	9	10	9月	36	2	3	4	5	6	7	8
	11	11	12	13	14	15	16	17		37	9	10	11	12	13	14	15
	12	18	19	20	21	22	23	24		38	16	17	18	19	20	21	22
	13	25	26	27	28	29	30	31		39	23	24	25	26	27	28	29
4月	14	1	2	3	4	5	6	7	10月	40	30	1	2	3	4	5	6
	15	8	9	10	11	12	13	14		41	7	8	9	10	11	12	13
	16	15	16	17	18	19	20	21		42	14	15	16	17	18	19	20
	17	22	23	24	25	26	27	28		43	21	22	23	24	25	26	27
	18	29	30	1	2	3	4	5		44	28	29	30	31	1	2	3
5月	19	6	7	8	9	10	11	12	11月	45	4	5	6	7	8	9	10
	20	13	14	15	16	17	18	19		46	11	12	13	14	15	16	17
	21	20	21	22	23	24	25	26		47	18	19	20	21	22	23	24
	22	27	28	29	30	31	1	2		48	25	26	27	28	29	30	1
6月	23	3	4	5	6	7	8	9	12月	49	2	3	4	5	6	7	8
	24	10	11	12	13	14	15	16		50	9	10	11	12	13	14	15
	25	17	18	19	20	21	22	23		51	16	17	18	19	20	21	22
	26	24	25	26	27	28	29	30		52	23	24	25	26	27	28	29

Ⅱ 感染症発生動向調査結果

Ⅰ 全数把握の対象感染症

(1) 一類感染症

届出なし

(2) 二類感染症

① 結核

結核は、結核菌群による感染症で、主に飛沫核感染により気道を介して感染する。症状は咳、喀痰、微熱が典型的とされており、胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振等を伴うこともあるが、初期には無症状のことも多い。

2024 年は 174 件の届出があり、前年（153 件）に比べ 21 件多かった（図 1）。届出を男女別にみると、男性が 85 件（48.9%）、女性が 89 件（51.1%）であった。

月の報告数は 12～18 件で推移した（図 2）。

類型別にみると、「患者」119 件（前年 121 件）、「無症状病原体保有者」55 件（前年 32 件）であった。男女別の「患者」と「無症状病原体保有者」の件数は、男性では 66 件と 19 件、女性では 53 件と 36 件で、女性の方が無症状病原体保有者の割合が多かった。

届出の年齢は 0 歳～101 歳で、60 歳代以上の届出数が多く、全体の 7 割以上を占めた（図 3）。類型別の年齢内訳は、「患者」では、80 歳以上が最も多く、61%を占めた（図 4）。また、患者、無症状病原体保有者のいずれにおいても、20 歳代が 1 割前後を占めているが、そのうち 8 割以上が留学生や技能実習生等の外国籍の事例であった。

「患者」の職業をみると無職が 75%と最も多く、「無症状病原体保有者」の職業は、医療・介護従事者が 33%、無職が 31%であった（図 5）。

2024 年は集団感染の発生はなかったが、医療機関や介護施設における感染者と従事者や利用者との接触による感染事例が認められた。また、例年と同様に家族内での感染事例が散見された。

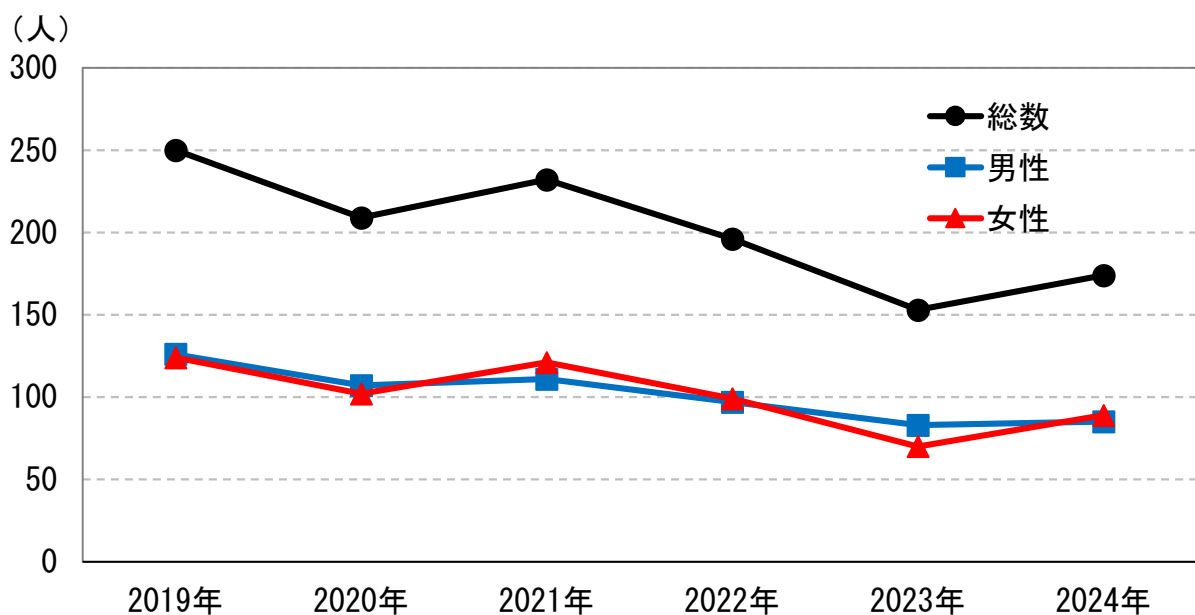


図 1 結核届出件数の推移

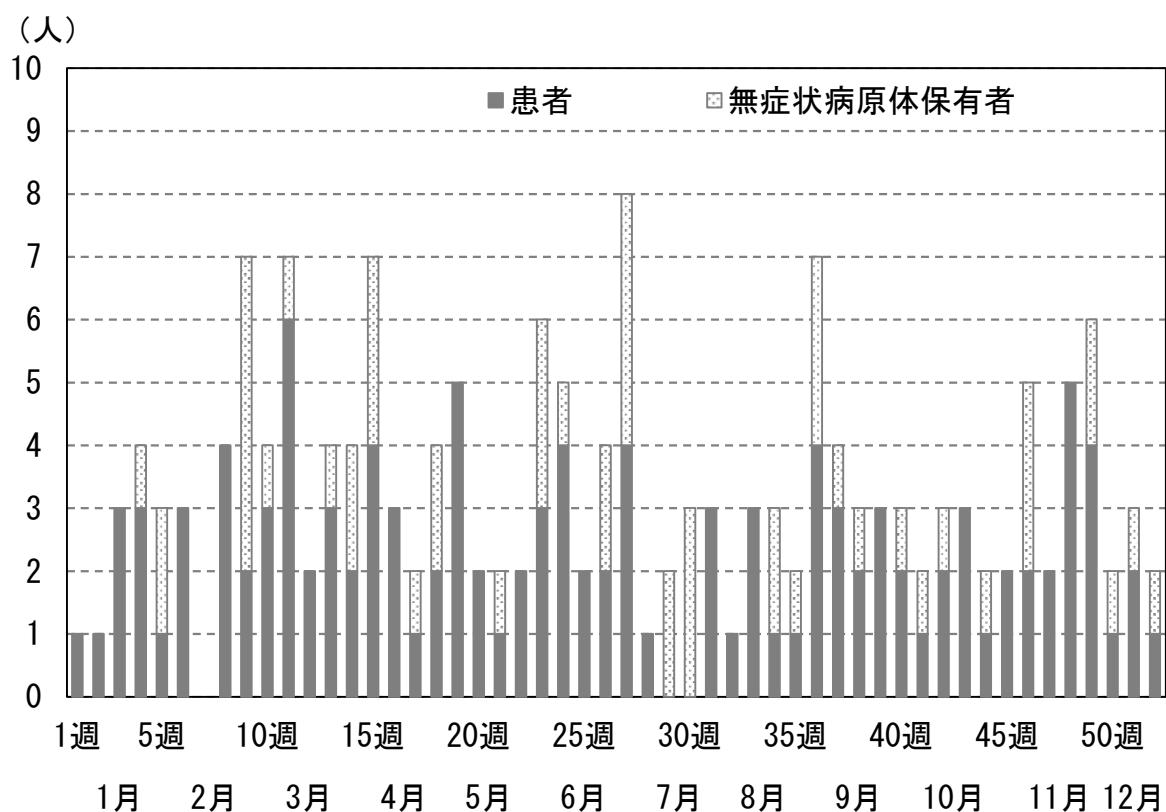


図2 結核 診断週別届出件数

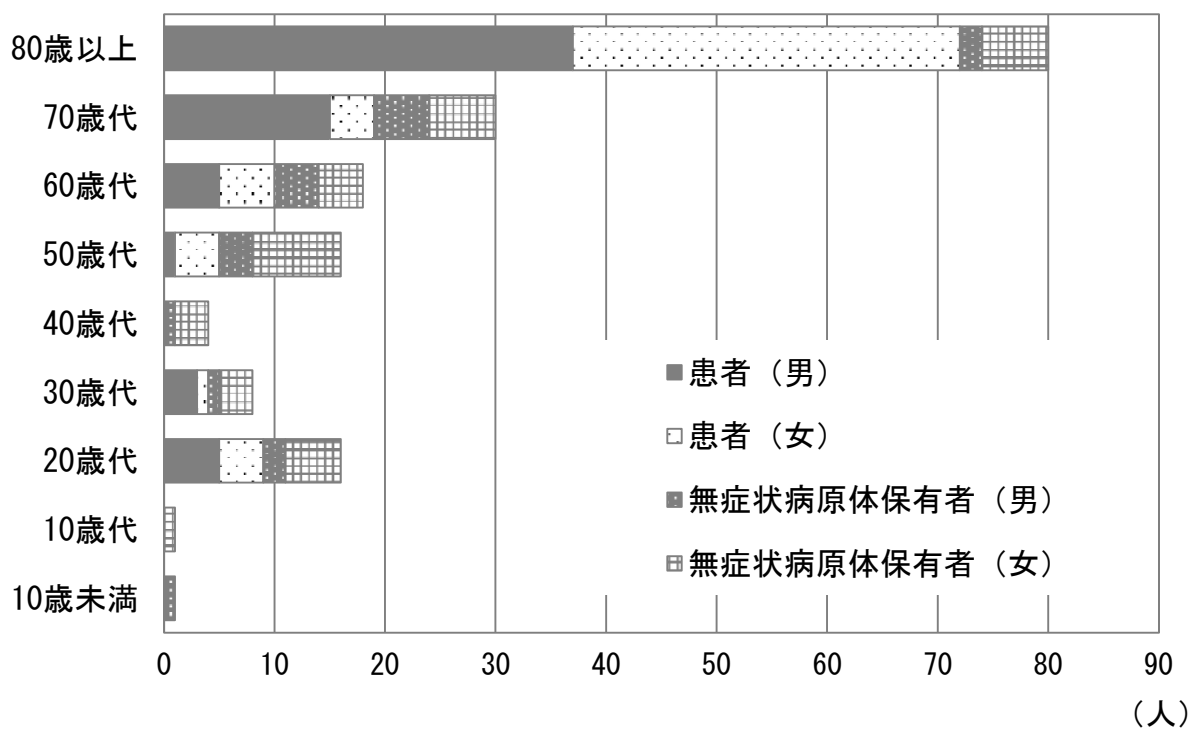
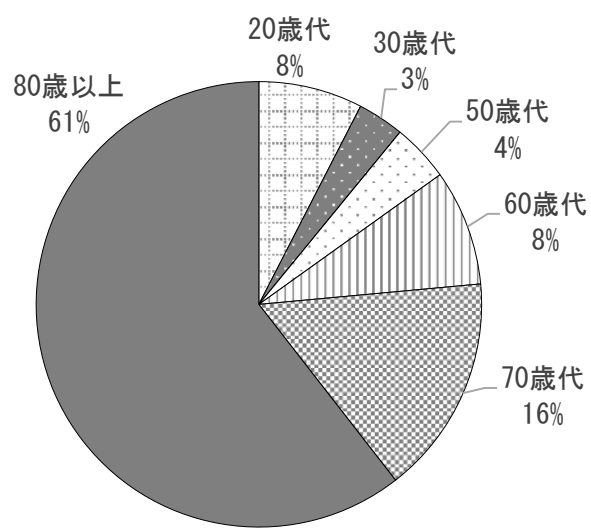
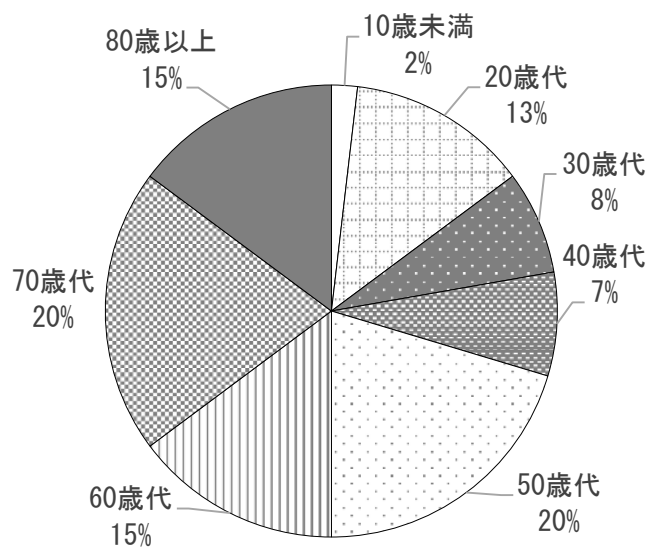


図3 結核 年代・類型別届出件数

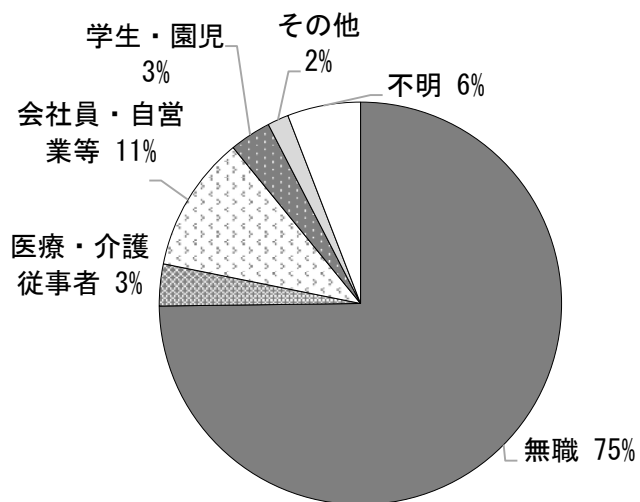


患者（119人）

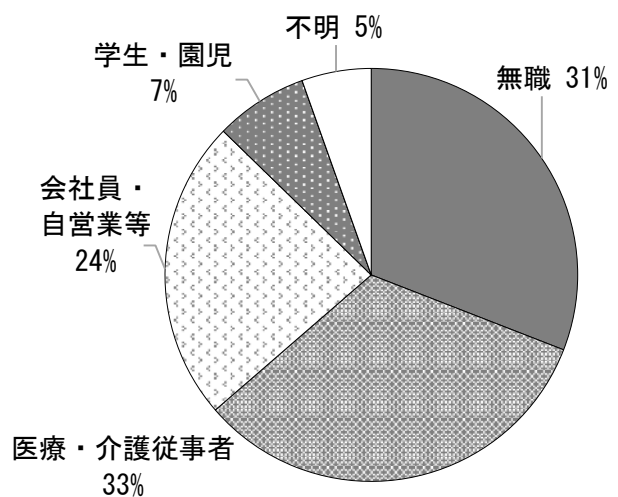


無症状病原体保有者（55人）

図4 結核 年代別割合



患者（119人）



無症状病原体保有者（55人）

図5 結核 職業別割合

(3) 三類感染症

① 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素（Verotoxin=VT）を産生する腸管出血性大腸菌の感染によって起こり、腹痛、水様性下痢及び血便を主症状とする全身性の疾患である。さらに、発症後数日から2週間以内に、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの重篤な合併症を引き起こすことがある。

本疾患の2024年の届出総数は51件で、前年の62件から11件減少した。その内訳は「患者」が40件、「無症状病原体保有者」が11件であった。

それぞれの月別届出件数を表1に示す。

表1 腸管出血性大腸菌感染症 月別届出件数

(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
患者	0	0	5	1	2	2	15	4	2	3	4	2	40
無症状病原体保有者	0	0	2	0	2	3	3	1	0	0	0	0	11
月別合計	0	0	7	1	4	5	18	5	2	3	4	2	51

届出数が最も多かった月は、7月で18件であった。また、病型別に見ると「患者」が最も多かった月は、7月（15件）で、「無症状病原体保有者」が最も多かった月は6月および7月（3件）であった（表1及び図1）。年齢別では、5歳未満の届出が9件と最も多かったが、80歳以上を除くすべての年代で報告があった（図2）。

2024年に集団感染事例の報告はなかったが、家族内や保育園内での感染が疑われる事例が複数報告された。

血清型は、「患者」においてO157が26件と最も多く、次いでO111が10件であった。「無症状病原体保有者」においてもO157が3件と最も多かった（表2）。

表2 腸管出血性大腸菌 血清型別内訳

(件)	O157	O26	O111	O103	その他
患者	26	1	10	0	3
無症状病原体保有者	3	1	2	1	4
合計	29	2	12	1	7

患者における臨床症状と発生割合を表3に示す。

患者の半数以上に認められた症状は、「腹痛」、「水様性下痢」および「血便」で、発生割合はそれぞれ77.5%、85.0%、57.5%であった。重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群を発症した事例は、2.5%であった。

表3 患者における臨床症状発生割合

症状	腹痛	水様性下痢	発熱	血便	嘔吐	溶血性尿毒症症候群	溶血性貧血	急性腎不全	その他
人数	31	34	12	23	5	1	1	0	4
発生割合(%)	77.5	85.0	30.0	57.5	12.5	2.5	2.5	0	10.0

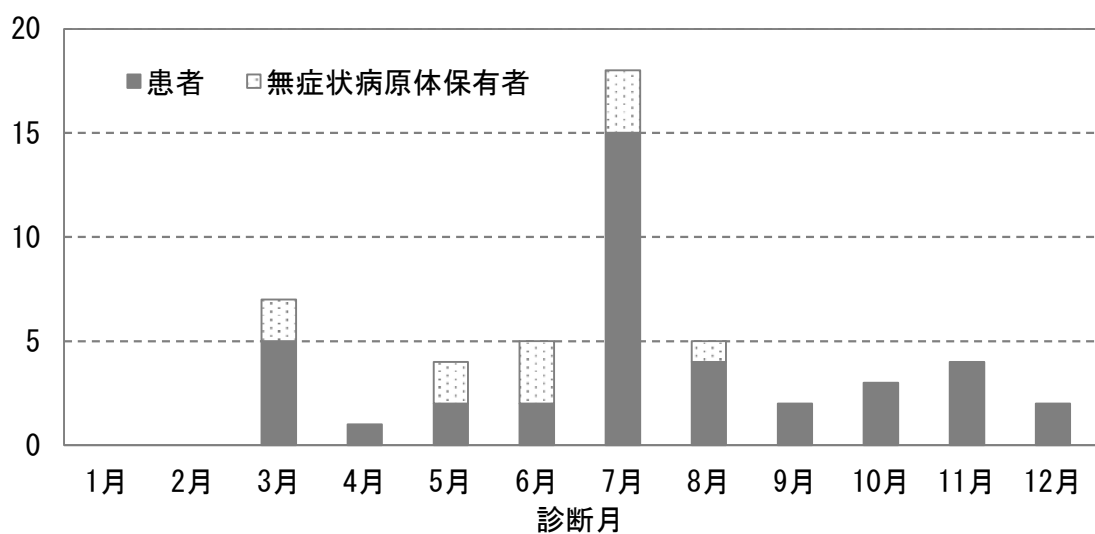


図1 腸管出血性大腸菌感染症 月別届出件数

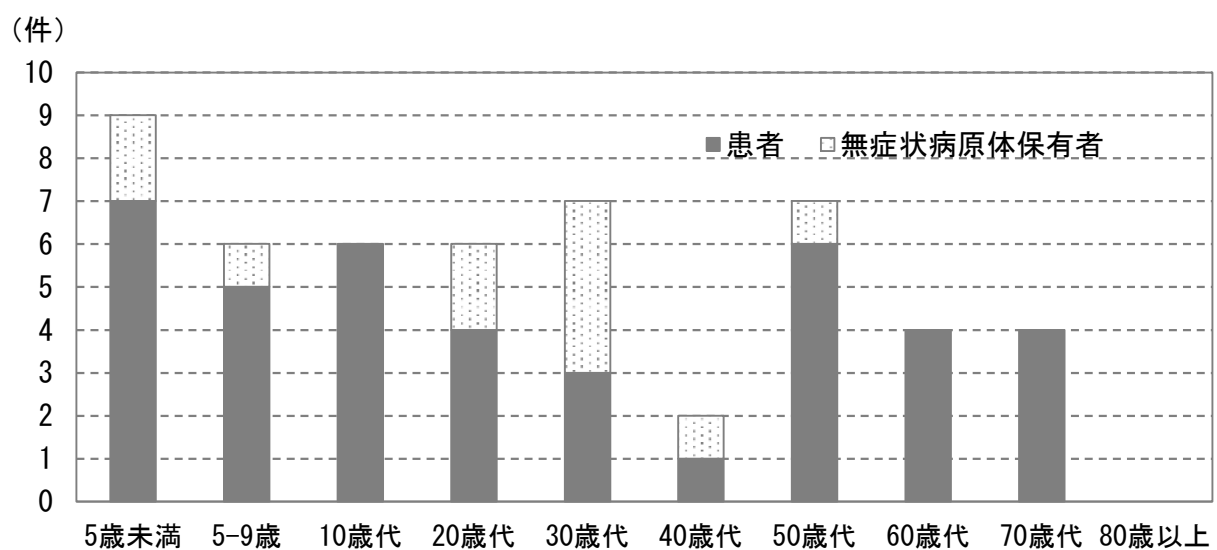


図2 腸管出血性大腸菌感染症 年代別届出件数

(4) 四類感染症

① A型肝炎

A型肝炎は、A型肝炎ウイルスによる感染症で、主な感染経路は糞便中に排泄されたウイルスによる経口（糞口）感染である。2～6週間の潜伏期を経て、発熱、全身倦怠感、悪心、食欲不振などの消化器症状、黄疸などの一過性の急性肝炎を呈する。

2024年は、5月と10月に1件ずつ届出があった。感染経路は、1件が「性的接触（性交・同性間）」と推定され、もう1件は「不明」であった。

A型肝炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第19週 (5月)	長崎市	50歳代 男性	発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常	不明	県内
第44週 (10月)	上五島	20歳代 男性	全身倦怠感	性的接触 (性交・同性間)	県内

② 重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る）

平成25年3月4日から四類感染症として追加された重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS）は、フェヌイウイルス科バンダウイルス属に分類されるウイルスによるダニ媒介性感染症である。感染経路はマダニを介したものが中心だが、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。主な症状は、発熱と消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢）で、ときに頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、痙攣、昏睡）、リンパ節腫脹なども見られる。

2024年は、3～12月にかけて合計13件の届出があった。ほとんどの患者に農作業などのマダニとの接触が疑われる行動歴があった。一部の患者では、野外の活動がなく、接触のあった猫が死亡したという報告もあった。

3～11月にかけては、ウイルスを媒介するマダニの活動が活発になるため、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、マダニによる刺咬に注意が必要である。

また、近年 SFTS を発症したネコ及びイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便から SFTS ウイルスが検出されている。SFTS 以外の感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控えるよう呼びかけが必要である。

重症熱性血小板減少症候群 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第10週 (3月)	長崎市	80歳代 男性	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

重症熱性血小板減少症候群 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第12週 (3月)	長崎市	50歳代 女性	発熱、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (3月に飼い猫に右示指かまれた。外飼い猫で噛んだ当日に猫は死亡。)	県内
第14週 (4月)	西彼	70歳代 男性	発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、その他(肺炎)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第16週 (4月)	西彼	60歳代 女性	発熱、嘔吐、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少	動物・蚊・昆虫等からの感染 (マダニ刺咬：4月にタケノコ掘りに行った際服にダニが付着していた)	県内
第18週 (5月)	上五島	80歳代 男性	発熱、筋肉痛、神経症状、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口	動物・蚊・昆虫等からの感染 (来院2週間前に左手首をダニ咬傷)	県内
第19週 (5月)	五島	60歳代 男性	発熱、腹痛、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、その他(肝機能障害、腎機能障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (藪の草刈り)	県内
第20週 (5月)	五島	70歳代 男性	発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、消化管出血	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第20週 (5月)	五島	80歳代 女性	発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第21週 (5月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、神経症状、血小板減少、白血球減少、その他(意識障害、呼吸不全)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第21週 (5月)	壱岐	60歳代 男性	発熱、頭痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、出血傾向、紫斑、その他(嘔気、腰痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (毎日、農作業で草刈りをしている。作業中にダニに刺された可能性がある。)	県内
第21週 (5月)	五島	70歳代 女性	発熱、食欲不振、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑仕事をしていた。自宅周囲は森。)	県内
第44週 (10月)	長崎市	80歳代 男性	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、その他(肝機能異常)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第51週 (12月)	県南	30歳代 男性	発熱、頭痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

③ つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するダニの一種「つつが虫」に刺咬されることで感染する。5～14日の潜伏期を経て、高熱や全身倦怠感、食欲不振、頭痛を伴って発症し、主要3徴候といわれる発熱、発疹、刺し口が9割以上の患者に認められる。つつが虫によって媒介される疾患であるため刺し口を確認することが診断の助けになる。

2024年は、3～12月に11件の届出があった。8件で刺し口が確認され、ほとんどの患者にマダニとの接触が疑われる行動歴があった。

3～11月にかけては、つつが虫病を媒介するつつが虫が活発になる時期であるため、森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、つつが虫による刺咬に注意が必要である。

つつが虫病 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第10週 (3月)	壱岐	20歳代 男性	リンパ節腫脹、発疹、その他(リンパ節腫大:右鼠径、腹腔内、縦郭、腋窩)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (家庭で犬を飼っている。犬は屋外や野山を駆け回るが、本人が野山に行ったことはない。)	県内
第36週 (9月)	県央	20歳代 女性	頭痛、発熱、発疹、肺炎、その他(腸炎・DIC)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第40週 (9月)	佐世保市	50歳代 男性	発熱、発疹、その他(肝機能障害、腎機能障害:血尿、腎不全)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (草むしり)	県内
第46週 (11月)	県央	60歳代 男性	刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (山、畑で作業)	県内
第46週 (11月)	県央	30歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (山に行った後から発熱、皮疹あり。診察時腹部に痂痂があり。)	県内
第48週 (11月)	壱岐	60歳代 男性	頭痛、発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (日常的に雑草の草刈りをしている。自宅に屋内、屋外で多数の猫を飼っている)	県内
第48週 (11月)	壱岐	70歳代 男性	発熱、刺し口、発疹、その他(倦怠感、咽頭痛、関節痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (左手首内側に小潰瘍、昆虫不明)	県内
第49週 (12月)	長崎市	60歳代 男性	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (イノシシ(死体)の運搬)	県内
第49週 (12月)	西彼	50歳代 男性	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (自宅周辺の竹藪での作業)	県内

つつが虫病 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第49週 (12月)	県北	60歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第50週 (12月)	県北	50歳代 男性	頭痛、発熱、刺し口、発疹、その他(咽頭痛)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (草刈り)	県内

④ 日本紅斑熱

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺咬されることで感染する。2～8日の潜伏期を経て、高熱や全身倦怠感、頭痛を伴って発症し、主要3徴候といわれる発熱、発疹、刺し口が9割以上の患者に認められる。つつが虫病同様、マダニによって媒介される疾患であるため、刺し口を確認することが診断の助けになる。

2024年の届出は24件であった。罹患した年齢層はすべて50歳代以上で、男性8件、女性16件であった。届出のうち19件で刺し口が確認され、ほとんどが野外活動や農作業中の感染と推定された。

森林作業や農作業など山野での作業時あるいは山野草等の採取時に感染する確率が高いことから、山野に出向く機会や農作業の多い中高年者を中心に、長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装での作業を行うなど、マダニによる刺咬に注意が必要である。

日本紅斑熱 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第16週 (4月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、その他(腎機能異常、全身倦怠感)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (虫体は確認できなかったが、左肘部に刺し口あり。)	県内
第17週 (4月)	佐世保市	50歳代 女性	発熱、頭痛、刺し口、DIC、肝機能異常、その他(腎障害)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第17週 (4月)	壱岐	80歳代 男性	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、その他(多臓器不全)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (農作業中のマダニからの感染)	県内
第18週 (5月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第21週 (5月)	県央	70歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (ダニ 左脇付近、左腹部に刺し口あり。)	県内
第23週 (6月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、刺し口、その他(腹痛、下痢)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (ダニ咬傷)	県内

日本紅斑熱 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第23週 (6月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、刺し口、その他(腹痛、下痢)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (ダニ咬傷)	県内
第23週 (6月)	西彼	80歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、その他(血小板減少、白血球減少、低Na血症)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑作業)	県内
第24週 (6月)	長崎市	70歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、その他(全身倦怠感、悪心、嘔吐)	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第24週 (6月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (刺し口あり、マダニに刺されたものと思われる。)	県内
第26週 (6月)	県央	60歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第29週 (7月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (畑仕事をしている際に下肢を刺されたと思われる)	県内
第31週 (8月)	長崎市	70歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第32週 (8月)	佐世保市	80歳代 女性	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染 (自宅室内に犬、猫を複数飼育、外で猟犬、鶏飼育。)	県内
第32週 (8月)	県央	70歳代 女性	発熱、発疹、DIC、肝機能異常、その他(血小板減少)	その他 (農作業)	県内
第35週 (8月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第39週 (9月)	佐世保市	70歳代 女性	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第42週 (10月)	佐世保市	90歳代 女性	発熱、頭痛、刺し口、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第42週 (10月)	五島	90歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第43週 (10月)	西彼	60歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染 (自宅周辺の草刈り、仕事で草むらに入ることあり。猫を多数飼育)	県内

日本紅斑熱 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第45週 (11月)	佐世保市	70歳代 女性	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第45週 (11月)	佐世保市	70歳代 男性	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第45週 (11月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第46週 (11月)	長崎市	90歳代 男性	発熱、刺し口、発疹	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
第47週 (11月)	西彼	70歳代 男性	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常、その他 (全身倦怠感、食欲不振)	動物・蚊・昆虫等からの感染 (伐採・草刈りの仕事)	県内

⑤ レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症である。本菌は、土壌などの自然環境中に存在する細菌であるため、汚染された土壌の砂塵や汚染された水（冷却塔水や給湯水など）のエアロゾルを吸入して空気感染または飛沫感染する。病型は、劇症型の「肺炎型」と一過性の「ポンティアック熱型」がある。肺炎を主徴とする「肺炎型」は、2～10日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒、高熱の急性感染症状に始まり、続いて乾性咳、喀痰、呼吸困難、胸痛などの呼吸器症状が出現する。意識障害や歩行障害などの中枢神経系の症状や腹痛、下痢等の消化器症状も見られる。「ポンティアック熱型」は、12時間から2～3日の潜伏期を経て集団で発症する傾向にあり、発熱を主徴とし、全身倦怠感、悪寒、頭痛、筋肉痛などを伴うが肺炎はみられない。

2024年の届出は18件であった。「病型」は1件が「ポンティアック熱型」で、ほか17件は肺炎を主症状とする「肺炎型」であった。届出患者の年齢層は、50歳代以上で、男性が12件（67%）、女性が6件（33%）であった。

感染地域は、1件がタイでの感染が疑われ、他はすべて「県内」と推定された。推定感染経路は、5件が「水系感染」、1件が「その他」で、ほかの12件は「不明」であった。

レジオネラ症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第5週 (2月)	佐世保市	60歳代 男性	発熱、咳嗽、意識障害、肺炎	不明	県内
第5週 (2月)	佐世保市	90歳代 女性	呼吸困難、肺炎	不明	県内

レジオネラ症 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第8週 (2月)	対馬	50歳代 男性	発熱、咳嗽、肺炎	水系感染 (ホテルの温泉施設利用、溜枳の清掃)	県内
第10週 (3月)	県央	70歳代 女性	咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎	不明	県内
第14週 (4月)	佐世保市	80歳代 男性	発熱	不明	県内
第15週 (4月)	佐世保市	80歳代 男性	発熱、肺炎	不明	県内
第17週 (4月)	西彼	50歳代 男性	発熱、肺炎、その他(頭痛、倦怠感)	不明	国外 タイ
第22週 (5月)	長崎市	60歳代 男性	発熱、咳嗽、肺炎	水系感染 (自宅庭のガーデニング)	県内
第29週 (7月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	水系感染 (冷風機の疑い)	県内
第32週 (8月)	西彼	90歳代 女性	発熱、肺炎	不明	県内
第38週 (9月)	佐世保市	80歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、肺炎	その他 (船のタンクの点検)	県内
第39週 (9月)	県央	80歳代 男性	発熱、呼吸困難、肺炎	不明	県内
第40週 (9月)	県央	80歳代 女性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	水系感染	県内
第40週 (10月)	県央	60歳代 男性	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎、多臓器不全、その他(嘔気・嘔吐、肝機能障害、低ナトリウム血症)	不明	県内
第43週 (10月)	県央	70歳代 男性	発熱、肺炎	不明	県内
第43週 (10月)	県南	70歳代 女性	発熱、腹痛、肺炎、その他(鼻汁)	不明	県内
第50週 (12月)	長崎市	50歳代 男性	発熱、咳嗽、下痢、意識障害、肺炎、多臓器不全	不明	県内
第51週 (12月)	長崎市	80歳代 女性	発熱、呼吸困難、意識障害、肺炎、多臓器不全	水系感染	県内

(5) 五類感染症

① アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は、赤痢アメーバの感染に起因する疾患である。病型は下痢、粘血便、しぶり腹、鼓腸、排便時の下腹部痛などの消化器症状を主症状とする「腸管アメーバ症」と腸管部よりアメーバが血行性に転移することにより、肝膿瘍や高熱、嘔吐、体重減少、全身倦怠感を呈する「腸管外アメーバ症」に大別される。感染経路には、赤痢アメーバに汚染された飲食物などの経口摂取や性的接触がある。

2024 年の届出は 4 件であった。推定される感染原因・感染経路は、いずれも「不明」であった。推定感染地域は、3 件が「県内」で、もう 1 件は「都道府県不明」であった。病型別にみると、「腸管アメーバ症」が 3 件、「腸管アメーバ症および腸管外アメーバ症」が 1 件であった。

アメーバ赤痢 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 6 週 (2 月)	壱岐	50 歳代 男性	粘血便、腹痛、肝膿瘍	不明	県内
第 18 週 (5 月)	佐世保市	40 歳代 男性	発熱、肝膿瘍	不明	県内
第 23 週 (6 月)	西彼	60 歳代 男性	大腸粘膜異常所見	不明	国内 都道府県不明
第 28 週 (7 月)	対馬	60 歳代 男性	下痢	不明	県内

② ウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎は、ウイルス感染を原因とする急性肝炎（B 型肝炎、C 型肝炎、その他のウイルス性肝炎）である。肝炎ウイルスは血液を介して感染し、特に B 型肝炎ウイルスは、母子感染や性感染にも注意が必要である。症状は、一般に全身倦怠感、感冒様症状、食欲不振、悪感、嘔吐などの症状で急性に発症して、数日後に褐色尿や黄疸を伴うことが多い。発熱、肝機能異常、その他の全身症状を呈する発病後間もない時期には、かぜあるいは急性胃腸炎などと類似した症状を示すとされている。

2024 年の届出は 1 月、4 月に 1 件ずつの計 2 件であった。届出の「病型」はいずれも「サイトメガロウイルス」であった。推定感染地域は「県内」が 1 件、「都道府県不明」が 1 件であった。感染原因・感染経路としては、1 件が家庭での感染と推定され、1 件は「不明」であった。

ウイルス性肝炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 5 週 (1 月)	西彼	50 歳代 男性	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、その他 (低タンパク血症)	その他 (孫との接触)	県内
第 16 週 (4 月)	西彼	20 歳代 女性	全身倦怠感、発熱、肝機能異常	不明	国内 都道府県不明

③ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（Carbapenem-Resistant Enterobacterales : CRE）感染症は、メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域β－ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌目細菌による感染症であり、平成 26 年 9 月 19 日の感染症法施行規則の改正に伴い 5 類感染症に追加された。CRE は、菌そのものの病原性は変化していないが、各種抗菌薬を用いた治療に抵抗性を示すため、難治感染を起こしやすく、重症感染に至ると致死率が高まるため注意が必要な疾患である。

2024 年は、年間を通して 35 件の届出があった。患者は、すべて 50 歳以上で、80 歳以上（40%）、70 歳代（34%）が多かった（図 1）。診断の根拠となる検査用検体は、「通常無菌的であるべき」検体（血液、胆汁、腹水等）からの検出が 16 件、「通常無菌的ではない」検体（尿、喀痰等）からの検出が 16 件、「無菌的であるべき」検体および「無菌的でない」検体の両方からの検出が 3 件であった（図 2）。菌種別では、*Klebsiella aerogenes* および *Enterobacter cloacae complex* が最も多かった（図 3）。推定される感染原因・経路は、「以前からの保菌」が最も多く、次いで「医療器具関連感染」が多かった（図 4）。

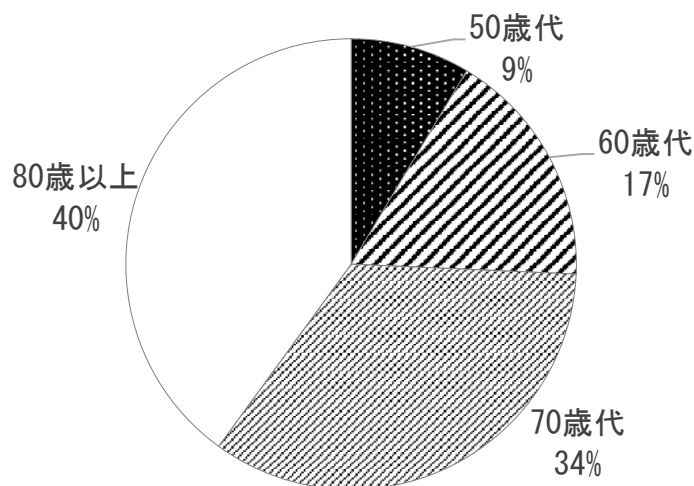


図 1 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 年代別割合

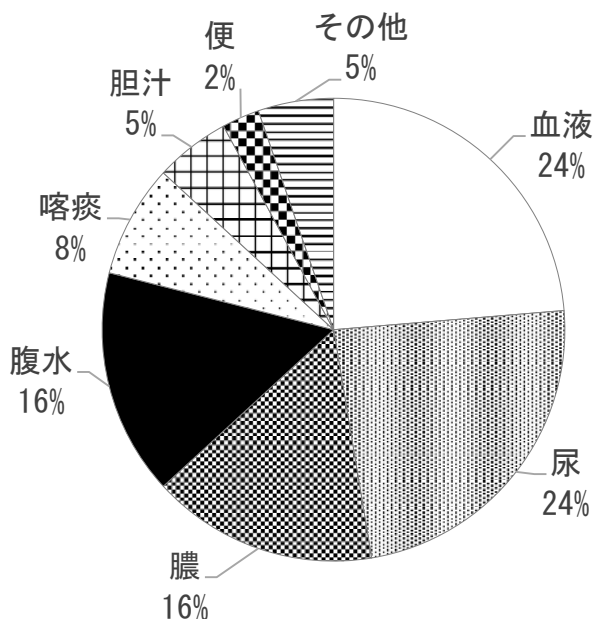


図 2 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 検体内訳

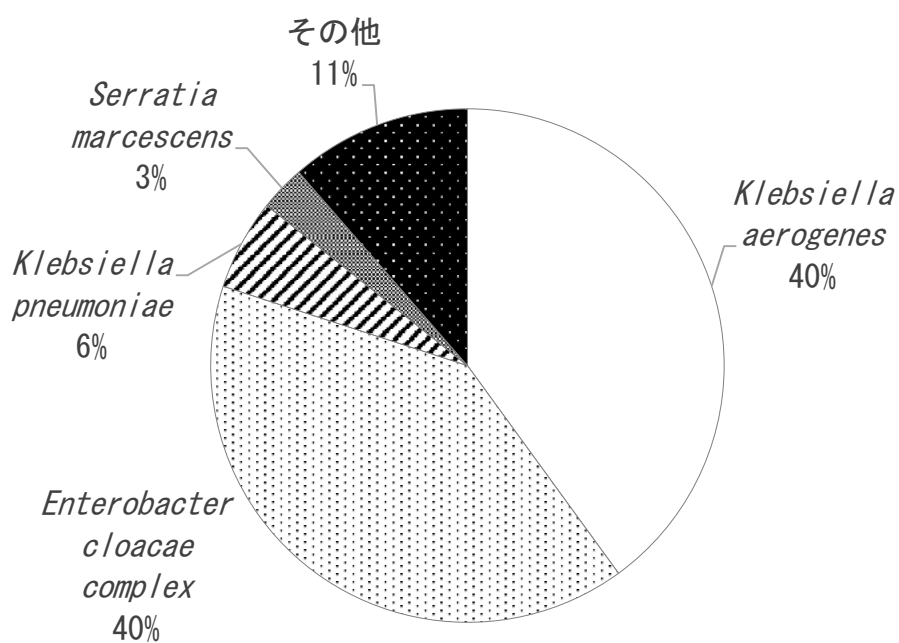


図3 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 菌種別割合

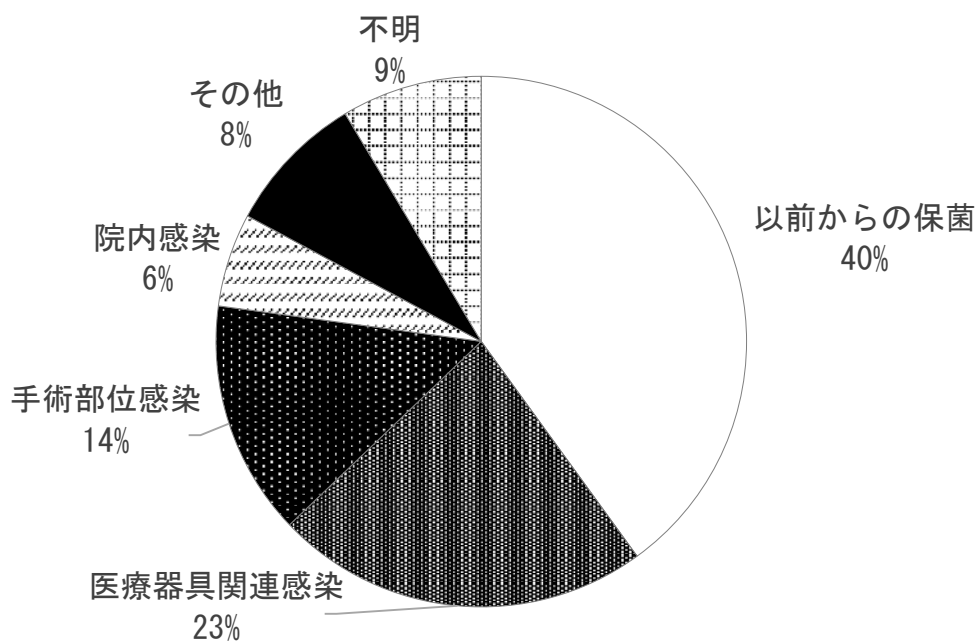


図4 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 感染原因・経路別割合

④ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）

急性脳炎は、ウイルスなど種々の病原体の感染による脳実質の感染症である。多くは何らかの先行感染を伴い、高熱に続き、意識障害や痙攣が突然出現し、持続する。炎症所見が明らかではないが、同様の症状を呈する脳症も含まれる。

2024 年は 6 件の届出があった。病原体は「インフルエンザウイルス B」が 1 件、「その他」が 2 件、「病原体不明」が 3 件であった。感染地域はすべて「県内」で、感染経路は 1 件が「飛沫・飛沫核感染」と推定され、他 5 件は「不明」であった。

急性脳炎 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 6 週 (2 月)	長崎市	10 歳未満 女性	発熱、痙攣、意識障害	飛沫・飛沫核感染	県内
第 9 週 (3 月)	長崎市	10 歳未満 男性	発熱、痙攣、意識障害	不明	県内
第 15 週 (4 月)	長崎市	10 歳未満 女性	発熱、痙攣	不明	県内
第 27 週 (7 月)	長崎市	10 歳未満 男性	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害	不明	県内
第 30 週 (7 月)	長崎市	10 歳未満 男性	発熱、頭痛、嘔吐、髄液細胞数の増加	不明	県内
第 41 週 (10 月)	県央	60 歳代 男性	発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加、その他（異常行動）	不明	県内

⑤ クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は、100 万人に 1 人の割合で孤発性または家族性に生じ、脳組織の海綿（スポンジ）状変性を特徴とする疾患である。感染因子は、異常プリオン蛋白と考えられており、不可逆的な致死性神経障害を生ずる。

2024 年は、3 件の届出があった。病型はいずれも「古典型クロイツフェルト・ヤコブ病」で、診断の確実度は 3 件とも「ほぼ確実」であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 15 週 (4 月)	県央	70 歳代 男性	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状、筋強剛		
第 36 週 (9 月)	長崎市	50 歳代 男性	進行性認知症、ミオクローヌス、無動性無言状態、精神・知能障害		
第 38 週 (9 月)	県央	70 歳代 女性	進行性認知症、ミオクローヌス、無動性無言状態、記憶障害、精神・知能障害		

⑥ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は β 溶血を示すレンサ球菌を原因とし、突発的に発症して急激に進行する敗血症性ショック病態である。皮膚や粘膜から、通常は菌の存在しない筋肉、脂肪組織や血液に溶血性レンサ球菌が侵入することによって発症する。初期症状は咽頭痛、発熱、消化管症状、全身倦怠感、低血圧などの敗血症症状、筋痛などで、後発症状としては軟部組織病変、循環不全、呼吸不全、播種性血管内凝固症候群（DIC）、肝腎症状など多臓器不全をきたし、日常生活を営む状態から 24 時間以内に多臓器不全が完結する程度の進行を示す。

2024 年は 17 件の届出があり、過去 10 年で最も多かった。患者は 40 代から 90 代で、男性が 7 件、女性が 10 件であった。感染経路は、8 件が「創傷感染」、1 件が「飛沫感染および創傷感染」、2 件が「その他」、6 件が「不明」であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 1 週 (1 月)	長崎市	60 歳代 男性	ショック、肝不全、腎不全、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状	創傷感染 (左下肢)	県内
第 2 週 (1 月)	佐世保市	60 歳代 女性	ショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群	不明	県内
第 6 週 (2 月)	県央	40 歳代 女性	ショック、腎不全、DIC	不明	県内
第 6 週 (2 月)	佐世保市	50 歳代 女性	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、中枢神経症状	創傷感染 (右下肢)	県内
第 7 週 (2 月)	長崎市	50 歳代 女性	ショック、腎不全、軟部組織炎	創傷感染 (両下腿に潰瘍)	県内
第 12 週 (3 月)	県央	70 歳代 男性	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎	創傷感染 (右下腿に擦過傷あり。左上肢への血流感染を疑っている)	県内
第 16 週 (4 月)	県央	70 歳代 男性	ショック、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状	創傷感染 (右第 1 足趾)	県内
第 23 週 (6 月)	県央	40 歳代 男性	ショック、腎不全、全身性紅斑性発疹	不明	県内
第 29 週 (7 月)	佐世保市	70 歳代 男性	ショック、DIC、軟部組織炎	創傷感染 (右足趾壊死)	県内
第 29 週 (7 月)	長崎市	90 歳代 男性	ショック、肝不全、腎不全、DIC	不明	県内
第 35 週 (8 月)	五島	60 歳代 女性	ショック、腎不全、軟部組織炎、その他（肺炎）	飛沫感染、創傷感染 (右足関節部の腫脹、熱感、発赤、疼痛あり)	県内
第 36 週 (9 月)	長崎市	40 歳代 女性	ショック、肝不全、腎不全、DIC、軟部組織炎	不明	県内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第41週 (10月)	長崎市	80歳代 女性	ショック、肝不全、腎不全、DIC	その他 (下肢蜂窩織炎)	県内
第41週 (10月)	長崎市	70歳代 男性	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎	創傷感染 (不明)	県内
第42週 (10月)	県南	50歳代 女性	ショック、DIC、軟部組織炎	創傷感染 (左下肢)	県内
第46週 (11月)	長崎市	90歳代 女性	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群	その他 (腹腔内膿瘍からの感染)	県内
第48週 (11月)	県央	80歳代 女性	ショック、腎不全、中枢神経症状	不明	県内

⑦ 後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む）

後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染によって免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態である。HIV に感染した後、無症候性の時期（無治療で約10年以内）を経て、生体が高度の免疫不全症に陥る。主な感染経路には、性的接触、母子感染（経胎盤、経産道、経母乳感染）、血液によるもの（輸血、臓器移植、医療事故、麻薬等の静脈注射など）がある。

届出は、無症状であるがHIVに感染していると診断された場合（＝「無症状病原体保有者」）と、AIDS 指標疾患（日和見疾患等）のうち1つ以上が明らかに認められ、かつHIVに感染していると診断された場合（＝「患者」）に分類されている。

2024 年は、年間を通して9件の届出があった。類型は、「無症状病原体保有者」が3件、「患者」が6件で、「患者」の内訳は、「AIDS」が5件、「その他」が1件であった。すべて男性で日本国籍であった。推定感染経路は「性的接触（異性間）」が2件、「性的接触（同性間）」が5件、「性的接触（同性間・異性間）」が1件、「不明」が1件であった。推定感染地域は8件が「国内」と推定され、残る1件は「不明」であった。

後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む） 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定感染地域 (最近数年間の主な居住地)
第2週 (1月)	長崎市	50歳代 男性	なし	性的接触（同性間）	県内
第13週 (3月)	佐世保市	50歳代 男性	体重減少、視野障害、開口障害	不明	不明
第22週 (5月)	長崎市	40歳代 男性	左上下肢麻痺（右大脳の病変）	性的接触（異性間）	国内 都道府県不明

後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む） 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定感染地域 (最近数年間の主 な居住地)
第 25 週 (6 月)	佐世保市	30 歳代 男性	なし	性的接触（同性間）	県外
第 29 週 (7 月)	県央	50 歳代 男性	呼吸不全、下痢、食欲不振	性的接触（同性間・異性間）	国内 都道府県不明
第 29 週 (7 月)	長崎市	20 歳代 男性	ふらつき	性的接触（同性間）	国内 都道府県不明
第 30 週 (7 月)	佐世保市	30 歳代 男性	なし	性的接触（同性間）	県外
第 36 週 (9 月)	佐世保市	30 歳代 男性	全身倦怠感、下痢、掻痒感	性的接触（同性間）	県内
第 37 週 (9 月)	佐世保市	40 歳代 男性	発熱、倦怠感、呼吸苦、嚥下 時痛	性的接触（異性間）	県外

⑧ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

平成 25 年 4 月 1 日から届出の対象となり、「*Haemophilus influenzae* による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症」と定義されている。発症は一般に突発的であり、上気道炎や中耳炎を伴って発症する場合もある。

2024 年は 1 月から 5 月に 5 件の届出があった。患者は 50 代から 90 代で、感染経路は「飛沫・飛沫核感染」が 3 件、「不明」が 2 件であり、いずれも推定感染地域は「県内」であった。患者のワクチン接種歴は、2 件が「無」、3 件は「不明」であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 2 週 (1 月)	県央	70 歳代 男性	発熱、肺炎、菌血症	不明	県内
第 7 週 (2 月)	佐世保市	80 歳代 女性	発熱、肺炎、菌血症	飛沫・ 飛沫核感染	県内
第 10 週 (3 月)	県南	80 歳代 女性	発熱、肺炎、菌血症	飛沫・ 飛沫核感染	県内
第 16 週 (4 月)	佐世保市	50 代 男性	発熱、菌血症、関節炎	不明	県内
第 21 週 (5 月)	県央	90 歳代 男性	発熱、肺炎、菌血症	飛沫・ 飛沫核感染	県内

⑨ 侵襲性肺炎球菌感染症

平成 25 年 4 月 1 日から届出の対象となり、「*Streptococcus pneumoniae* による侵襲性感染症のうち、本菌が髄液又は血液から検出された感染症」と定義されている。感染経路は飛沫感

染がほとんどで、主な症状は、髄膜炎とそれ以外の菌血症を伴う肺炎や敗血症である。

2024 年は 23 件の届出があった。1～93 歳の報告があり、推定感染地域は 20 件が「県内」で、「県外」が 2 件、「不明」が 1 件であった。患者のワクチン接種歴は、6 件が「有」、6 件が「無」、11 件が「不明」であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 1 週 (1 月)	県央	60 歳代 男性	意識障害、肺炎、菌血症	不明	県内
第 3 週 (1 月)	県北	50 歳代 男性	発熱、咳、全身倦怠感、菌血症	不明	県外
第 6 週 (2 月)	佐世保市	10 歳未満 男性	発熱、咳、菌血症	不明	県内
第 9 週 (2 月)	長崎市	80 歳代 女性	意識障害、肺炎、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第 10 週 (3 月)	長崎市	70 歳代 男性	発熱、咳、意識障害、肺炎、菌血症	不明	県内
第 11 週 (3 月)	県央	60 歳代 女性	菌血症、その他（関節痛：左肩、左股関節）	不明	県内
第 11 週 (3 月)	長崎市	10 歳未満 男性	発熱、咳、肺炎、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第 14 週 (4 月)	佐世保市	20 歳代 男性	発熱、全身倦怠感、肺炎、菌血症	不明	県内
第 15 週 (4 月)	県央	40 歳代 男性	頭痛、発熱、項部硬直、髄膜炎、菌血症	飛沫・飛沫核 感染（同居人 （妻）が感冒 症状あり）	県内
第 16 週 (4 月)	五島	80 歳代 女性	発熱、咳、全身倦怠感、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第 17 週 (4 月)	県央	90 歳代 女性	発熱、全身倦怠感、菌血症	飛沫・飛沫核 感染、接触感 染	県内
第 19 週 (5 月)	県央	80 歳代 女性	発熱、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症	不明	県外
第 23 週 (6 月)	長崎市	10 歳未満 男性	発熱、痙攣、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第 26 週 (6 月)	長崎市	70 歳代 男性	発熱、咳、全身倦怠感、菌血症	不明	県内
第 28 週 (7 月)	長崎市	90 歳代 男性	発熱、嘔吐、肺炎、菌血症	不明	県内
第 32 週 (8 月)	佐世保市	60 歳代 男性	肺炎、菌血症	不明	不明

侵襲性肺炎球菌感染症 届出一覧 つづき

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第40週 (10月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、咳、嘔吐、意識障害、菌血症、その他(下痢)	不明	県内
第43週 (10月)	長崎市	50歳代 女性	発熱、全身倦怠感、菌血症	その他 (尿路感染か咽頭炎)	県内
第44週 (10月)	県央	50歳代 男性	発熱、咳、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第48週 (11月)	長崎市	70歳代 男性	発熱、肺炎、菌血症	その他 (抗がん剤治 療の副作用)	県内
第48週 (11月)	佐世保市	80歳代 男性	全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症	その他 (誤嚥)	県内
第49週 (12月)	佐世保市	80歳代 男性	意識障害、肺炎、菌血症	飛沫・飛沫核 感染	県内
第50週 (12月)	県央	60歳代 女性	発熱、全身倦怠感、中耳炎、菌血症、その他(関節痛、腰部痛)	その他 (中耳炎によ る波及、血流 移行)	県内

⑩ 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る)

平成26年9月19日から届出の対象となり、定義は「水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染による感染症のうち24時間以上入院を必要とするもの(他疾患で入院中に水痘を発症し、かつ、水痘発症後24時間以上経過した例を含む)」である。

2024年は6件の届出があった。推定感染地域はいずれも「県内」で、感染経路は、「接触感染」が1件、「飛沫・飛沫核感染」が2件で、3件は「不明」であった。

水痘(入院例) 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第3週 (1月)	県央	70歳代 男性	発疹	不明	県内
第4週 (1月)	県央	50歳代 女性	発熱、発疹、肺炎	接触感染 (義母(帯状疱疹))	県内
第10週 (3月)	県央	50歳代 男性	発熱、発疹	不明	県内
第19週 (5月)	県央	40歳代 女性	発熱、発疹	飛沫・飛沫核感染 (同居の妹)	県内
第25週 (6月)	佐世保市	10歳代 女性	発熱、発疹	不明	県内
第50週 (12月)	長崎市	10歳未満 男性	発熱、発疹	飛沫・飛沫核感染 (集団保育での発生あり)	県内

⑪ 梅毒

梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症である。感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する経路がある。早期顕症梅毒・Ⅰ期では、感染局所に初期硬結や硬性下疳、無痛性の鼠径部リンパ節腫脹がみられ、早期顕症梅毒・Ⅱ期では、皮膚や粘膜に梅毒性バラ疹や丘疹性梅毒疹、扁平コンジローマなどの特有な発疹が見られる。晩期顕症梅毒としてゴム腫、梅毒によると考えられる心血管症状、神経症状、眼症状などが認められることがある。先天梅毒では、梅毒疹、骨軟骨炎など早期先天梅毒の症状を呈する症例や学童期以後に Hutchinson3 徴候（実質性角膜炎、内耳性難聴、Hutchinson 歯）などの症状を呈する症例がある。

2024 年の届出は、「患者」が 84 件、「無症状病原体保有者」が 27 件の計 111 件あった（図 1）。現行の感染症法が施行された 1999 年以降、最多の報告数であった 2023 年の 147 件に次ぐ報告数であった。

性別は、「男性」が多く、年代別では 20 歳代が最も多かった（図 2、3）。

類型別では、早期顕症梅毒・Ⅰ期が最も多く、晩期顕症梅毒も 3 件報告があった（図 4）。

感染地域は「県内」が 58 件、「県外」が 22 件、「国内（都道府県不明）」が 10 件、「国外」が 1 件、「県内、県外」が 2 件、「県外、国外」が 1 件で、その他 17 件は「不明」と推定された。推定感染経路は、「不明」の 15 件を除き、全てが性的接触であった（図 5）。性的接触のうち、22 件（19.8%）に「性風俗産業の利用歴」、3 件（2.7%）に「性風俗産業の従事歴」があった。

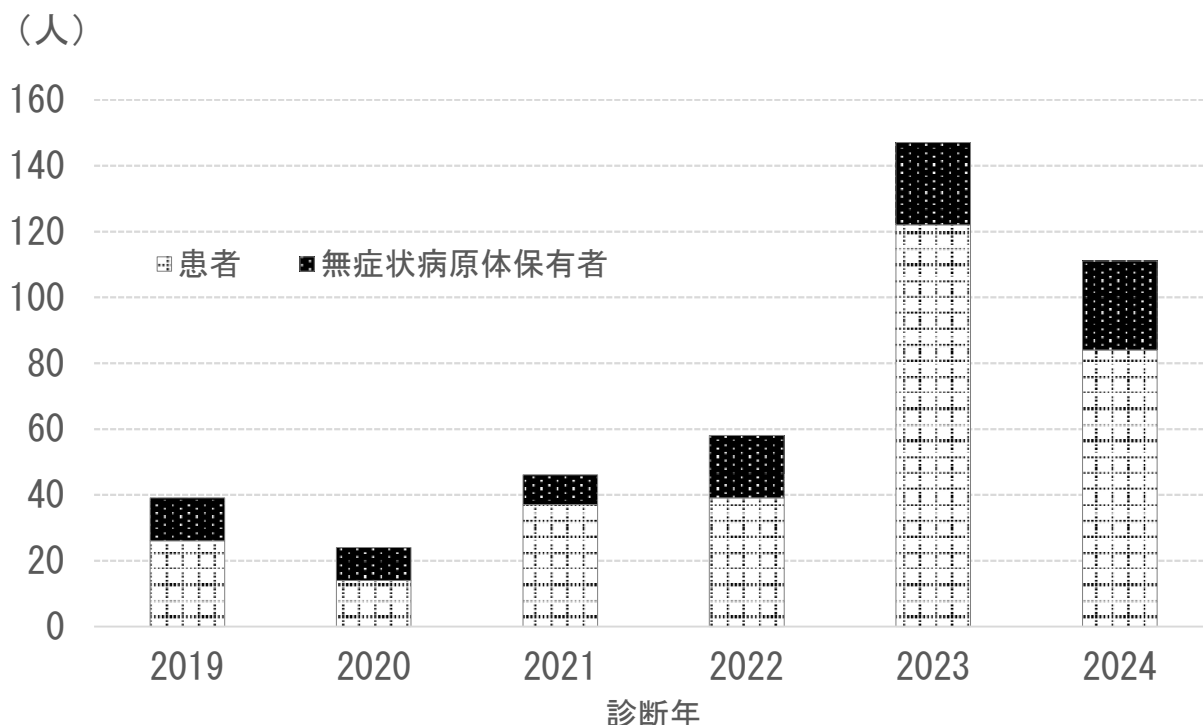


図 1 梅毒 類型別患者報告数推移

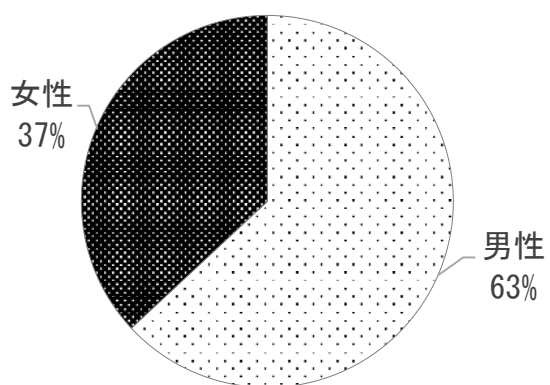


図2 梅毒 性別割合

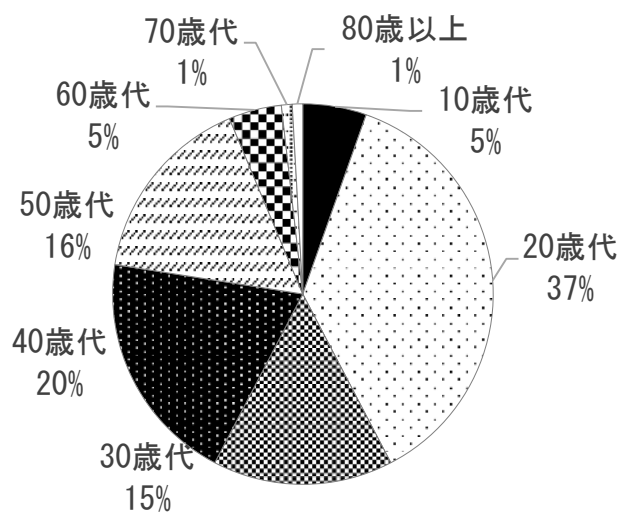


図3 梅毒 年代別割合

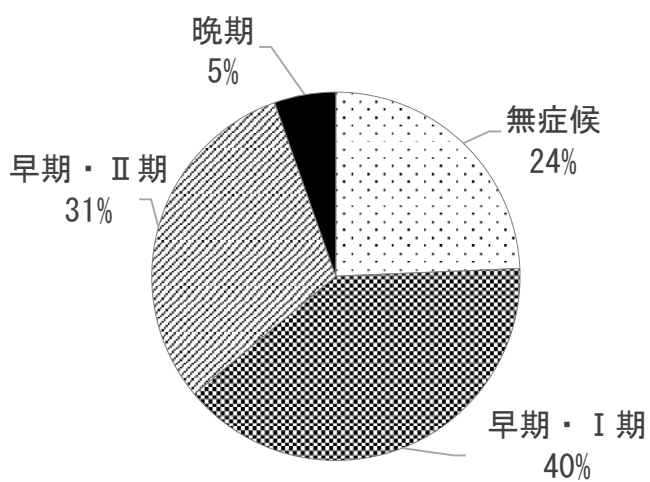


図4 梅毒 類型別割合

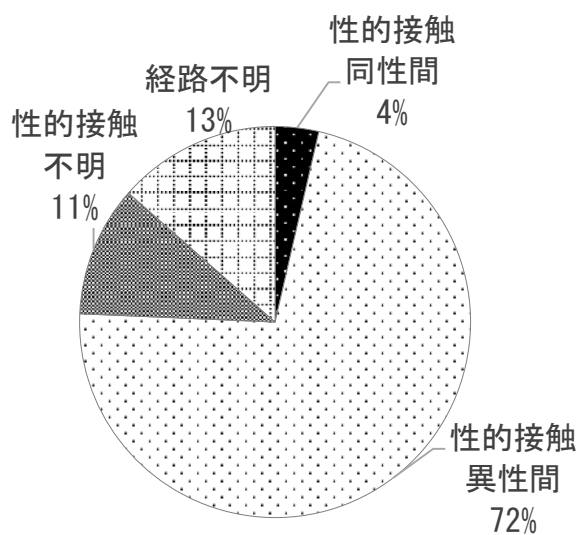


図5 梅毒 推定感染経路別割合

⑫ 播種性クリプトコックス症

Cryptococcus 属真菌による感染症で、ヒト-ヒト感染はなく、土壌など環境中の真菌の吸引により経気道感染する他、皮膚の創傷部位からの感染も起こりうる。糖尿病や HIV 感染、ステロイド剤・免疫抑制剤投与などによる免疫不全状態がリスク要因となるため、基礎疾患の有無は重要な情報となる。呼吸器や皮膚の感染部位から中枢神経系あるいは全身に播種した場合を、播種性クリプトコックス症といい、髄液、血液などの通常無菌的な臨床検体から検出されるか脳脊髄液のクリプトコックス莢膜抗原が陽性となった場合、法に基づく届出対象となる。

2024 年は 1 月、6 月に合計 2 件の届出があった。感染原因・経路は、いずれも「免疫不全」に該当し、1 件は鳥類の糞などとの接触があった。

播種性クリプトコックス症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 3 週 (1 月)	佐世保市	90 歳代 女性	意識障害、胸部異常陰影	鳥類の糞などとの接触 (自宅周囲にハトが多数) 免疫不全 (ステロイド、免疫抑制剤 を使用)	県内
第 25 週 (6 月)	県央	70 歳代 男性	発熱、真菌血症	免疫不全 (長期間化学療法施行中)	県内

⑬ 破傷風

破傷風は、破傷風菌が外傷部位などから組織内に侵入し、嫌気的な環境下で増殖した結果産生される破傷風毒素により、神経刺激伝達障害を起こす。感染巣近傍の筋肉のこわばり、顎から頸部のこわばり、開口障害、四肢の強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）、刺激に対する興奮性の亢進、反弓緊張（opisthotonus）などの症状が出現する。

2024 年の届出は 4 件で、すべて 70 代以上の報告であった。患者では、筋肉のこわばりや開口障害などの破傷風の典型的な症状が認められた。推定感染地域はすべて「県内」で、感染原因・感染経路は、「創傷感染」が 2 件、「その他」が 1 件、「不明」が 1 件であった。聞き取り調査の結果ワクチン接種歴は「無」が 2 件、「不明」が 2 件であった。

破傷風 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 18 週 (5 月)	県央	80 歳代 男性	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣、呼吸困難（痙攣性）、易興奮性	その他 (農家の手伝い。 肩に掻破痕あり)	県内
第 19 週 (5 月)	佐世保市	80 歳代 女性	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害	創傷感染 (左下腿)	県内
第 32 週 (8 月)	長崎市	70 歳代 男性	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、強直性痙攣	不明	県内
第 51 週 (12 月)	長崎市	80 歳代 男性	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害	創傷感染 (頭部)	県内

⑭ バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシンに対して耐性を示す腸球菌（Vancomycin Resistant Enterococci：VRE）による感染症であり、基礎疾患を有する易感染状態の患者において、日和見感染症や術後感染症、カテーテル性敗血症などを引き起こす。発熱やショックなどの症状を呈し、死亡することもある。

2024 年は、10 月に 1 件の届出があった。尿および褥瘡部からの分離菌株で、菌種名は *Enterococcus faecium* および *Enterococcus faecalis* で、耐性遺伝子 *VanA* であった。患者は外国籍で、感染地域も「国外」と推定された。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 44 週 (10 月)	長崎市	50 歳代 女性	発熱、尿路感染症	接触感染	国外 アメリカ

⑮ 百日咳

百日咳は、潜伏期が通常 5～10 日（最大 3 週間程度）であり、かぜ様症状で始まるが、次第に咳が著しくなり、百日咳特有の咳が始まる。乳児（特に新生児や乳児早期）ではまれに咳が先行しない場合がある。典型的な臨床像は、顔を真っ赤にしてコンコンと激しく発作性に咳き込み（スタッカート）、最後にヒューと音を立てて息を吸う発作（ウープ）である。また、嘔吐や無呼吸発作（チアノーゼの有無は問わない）を伴うことがある。血液所見としては、白血球数増多が認められることがある。乳児では重症になり、肺炎、脳症を合併し、まれに致死的となることがある。

2024 年は、4 件の届出があった。いずれも感染地域は「県内」と推測された。感染原因については、すべて「不明」であった。

百日咳 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 29 週 (7 月)	長崎市	10 歳代 男性	持続する咳	不明	県内
第 42 週 (10 月)	県央	70 歳代 男性	持続する咳、夜間の咳き込み、肺炎	不明	県内
第 46 週 (11 月)	佐世保市	10 歳代 男性	持続する咳、夜間の咳き込み	不明	県内
第 48 週 (11 月)	西彼	10 歳未満 男性	持続する咳、その他(咽頭痛、犬吠様咳嗽)	不明	県内

⑯ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

広域 β-ラクタム剤、アミノ配糖体、フルオロキノロンの 3 系統の薬剤に対して耐性を示すアシネトバクター属菌による感染症であり、感染防御機能の低下した患者や抗菌薬長期使用中

の患者に日和見感染する。肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や外傷部位の感染症等、多彩な感染症を起こす。薬剤耐性アシネトバクター感染症は、2014 年 9 月 19 日から 5 類感染症全数把握疾患となった。

2024 年は 1 件の届出があった。喀痰から菌が検出された。推定感染経路は、「以前からの保菌」で、国外で感染したと推定された。

薬剤耐性アシネトバクター感染症 届出一覧

診断週 (月)	管轄 保健所	年齢 性別	症状	推定 感染経路	推定 感染地域
第 36 週 (9 月)	佐世保市	60 歳代 男性	肺炎	以前からの保菌 (ベトナムの病院 入院中の喀痰培養 で検出あり)	国外 ベトナム

週	期 間	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘 瘡	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る） 重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）	鳥インフルエンザ（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キャサナル森林病
1	24.1.1-24.1.7									1																			
2	24.1.8-24.1.14									1																			
3	24.1.15-24.1.21									3																			
4	24.1.22-24.1.28									4																			
5	24.1.29-24.2.4									3																			
6	24.2.5-24.2.11									3																			
7	24.2.12-24.2.18																												
8	24.2.19-24.2.25									4																			
9	24.2.26-24.3.3									7																			
10	24.3.4-24.3.10									4																			
11	24.3.11-24.3.17									7																			
12	24.3.18-24.3.24									2							2												
13	24.3.25-24.3.31									4							5												
14	24.4.1-24.4.7									4																			
15	24.4.8-24.4.14									7																			
16	24.4.15-24.4.21									3																			
17	24.4.22-24.4.28									2							1												
18	24.4.29-24.5.5									4							1												
19	24.5.6-24.5.12									5							1				1								
20	24.5.13-24.5.19									2							1												
21	24.5.20-24.5.26									2							1												
22	24.5.27-24.6.2									2																			
23	24.6.3-24.6.9									6							1												
24	24.6.10-24.6.16									5							2												
25	24.6.17-24.6.23									2							2												
26	24.6.24-24.6.30									4																			
27	24.7.1-24.7.7									8							2												
28	24.7.8-24.7.14									1							2												
29	24.7.15-24.7.21									2							5												
30	24.7.22-24.7.28									3							3												
31	24.7.29-23.8.4									3							7												
32	24.8.5-24.8.11									1																			
33	24.8.12-24.8.18									3																			
34	24.8.19-24.8.25									3							1												
35	24.8.26-24.9.1									2							3												
36	24.9.2-24.9.8									7																			
37	24.9.9-24.9.15									4																			
38	24.9.16-24.9.22									3																			
39	24.9.23-24.9.29									3							2												
40	24.9.30-24.10.6									3							1												
41	24.10.7-24.10.13									2																			
42	24.10.14-24.10.20									3																			
43	24.10.21-24.10.27									3																			
44	24.10.28-24.11.3									2							2				1								
45	24.11.4-24.11.10									2							2												
46	24.11.11-24.11.17									5							1												
47	24.11.18-24.11.24									2																			
48	24.11.25-24.12.1									5							1												
49	24.12.2-24.12.8									6																			
50	24.12.9-24.12.15									2																			
51	24.12.16-24.12.22									3																			
52	24.12.23-24.12.29									2							2												
合 計										174							51				2								

週	期 間	Q 熱	狂 犬 病	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群（病原体が フレボウイルス属SFTSウイルスで あるものに限る）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭 痘	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻 痘	ブルセラ症	ベネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発疹チフス	ボツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症
1	24.1.1-24.1.7																													
2	24.1.8-24.1.14																													
3	24.1.15-24.1.21																													
4	24.1.22-24.1.28																													
5	24.1.29-24.2.4																													
6	24.2.5-24.2.11																													
7	24.2.12-24.2.18																													
8	24.2.19-24.2.25																													
9	24.2.26-24.3.3																													
10	24.3.4-24.3.10					1					1																			
11	24.3.11-24.3.17																													
12	24.3.18-24.3.24					1																								
13	24.3.25-24.3.31																													
14	24.4.1-24.4.7					1																								
15	24.4.8-24.4.14																													
16	24.4.15-24.4.21					1											1													
17	24.4.22-24.4.28																2													
18	24.4.29-24.5.5					1											1													
19	24.5.6-24.5.12					1																								
20	24.5.13-24.5.19					2																								
21	24.5.20-24.5.26					3										1														
22	24.5.27-24.6.2																													
23	24.6.3-24.6.9																2													
24	24.6.10-24.6.16																2													
25	24.6.17-24.6.23																													
26	24.6.24-24.6.30																1													
27	24.7.1-24.7.7																													
28	24.7.8-24.7.14																													
29	24.7.15-24.7.21																1													
30	24.7.22-24.7.28																													
31	24.7.29-23.8.4																1													
32	24.8.5-24.8.11																2													
33	24.8.12-24.8.18																													
34	24.8.19-24.8.25																													
35	24.8.26-24.9.1																1													
36	24.9.2-24.9.8											1																		
37	24.9.9-24.9.15																													
38	24.9.16-24.9.22																													
39	24.9.23-24.9.29																1													
40	24.9.30-24.10.6											1																		
41	24.10.7-24.10.13																													
42	24.10.14-24.10.20																2													
43	24.10.21-24.10.27																1													
44	24.10.28-24.11.3					1																								
45	24.11.4-24.11.10																3													
46	24.11.11-24.11.17											2					1													
47	24.11.18-24.11.24																1													
48	24.11.25-24.12.1											2																		
49	24.12.2-24.12.8											3																		
50	24.12.9-24.12.15											1																		
51	24.12.16-24.12.22					1																								
52	24.12.23-24.12.29																													
合 計						13						11				24														

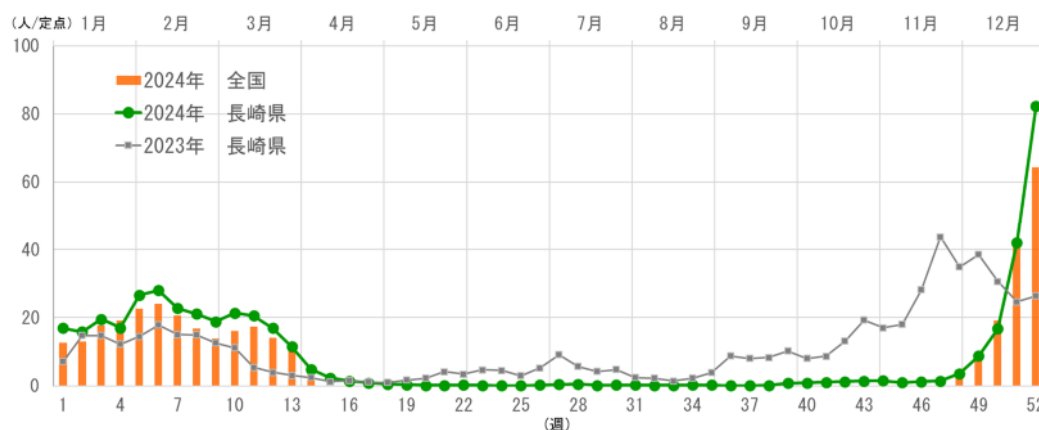
週	期 間	リフトバレー熱	類鼻痘	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキーマウンテン紅斑熱	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎およびA型肝炎を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限り）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネタクター感染症
1	24.1.1-24.1.7													1					1			2								
2	24.1.8-24.1.14								1					1	1		1				2									
3	24.1.15-24.1.21																	1	1		3	1								
4	24.1.22-24.1.28								2										1		1									
5	24.1.29-24.2.4			2				1													4									
6	24.2.5-24.2.11						1		1		1			2				1			2									
7	24.2.12-24.2.18							1						1			1				1									
8	24.2.19-24.2.25			1					1																					
9	24.2.26-24.3.3								1		1							1			4									
10	24.3.4-24.3.10			1													1	1	1		2									
11	24.3.11-24.3.17																	2			1									
12	24.3.18-24.3.24												1								6									
13	24.3.25-24.3.31													1																
14	24.4.1-24.4.7			1														1			2									
15	24.4.8-24.4.14			1					1		1		1					1			2									
16	24.4.15-24.4.21							1	1					1			1	1			2									
17	24.4.22-24.4.28			1													1				1									
18	24.4.29-24.5.5						1														1		1							
19	24.5.6-24.5.12							2										1	1		1		1							
20	24.5.13-24.5.19							2													2									
21	24.5.20-24.5.26															1					1									
22	24.5.27-24.6.2			1				1							1						3									
23	24.6.3-24.6.9						1							1				1			1									
24	24.6.10-24.6.16							3													2									
25	24.6.17-24.6.23							1							1				1		6	1								
26	24.6.24-24.6.30																	1			6									
27	24.7.1-24.7.7							1			1										3									
28	24.7.8-24.7.14						1											1			4									
29	24.7.15-24.7.21			1										2	2						3						1			
30	24.7.22-24.7.28										1				1						5									
31	24.7.29-23.8.4							1													2									
32	24.8.5-24.8.11			1														1			3		1							
33	24.8.12-24.8.18							3																						
34	24.8.19-24.8.25							1													3									
35	24.8.26-24.9.1							2																						
36	24.9.2-24.9.8												1	1	1						2									1
37	24.9.9-24.9.15														1						2									
38	24.9.16-24.9.22			1									1								5									
39	24.9.23-24.9.29			1				1													1									
40	24.9.30-24.10.6			2				1										1			1									
41	24.10.7-24.10.13										1			2							3									
42	24.10.14-24.10.20													1														1		
43	24.10.21-24.10.27			2														1			2									
44	24.10.28-24.11.3							1										1			1				1					
45	24.11.4-24.11.10																													
46	24.11.11-24.11.17							1						1							2							1		
47	24.11.18-24.11.24							1																						
48	24.11.25-24.12.1													1				2			3						1			
49	24.12.2-24.12.8							1										1												
50	24.12.9-24.12.15			1				1										1	1		2									
51	24.12.16-24.12.22			1																	3		1							
52	24.12.23-24.12.29							1													3									
合 計				18			4	2	35		6		3	17	9	5	23	6		11	1	2	4		1	4				1

2 定点把握の対象感染症

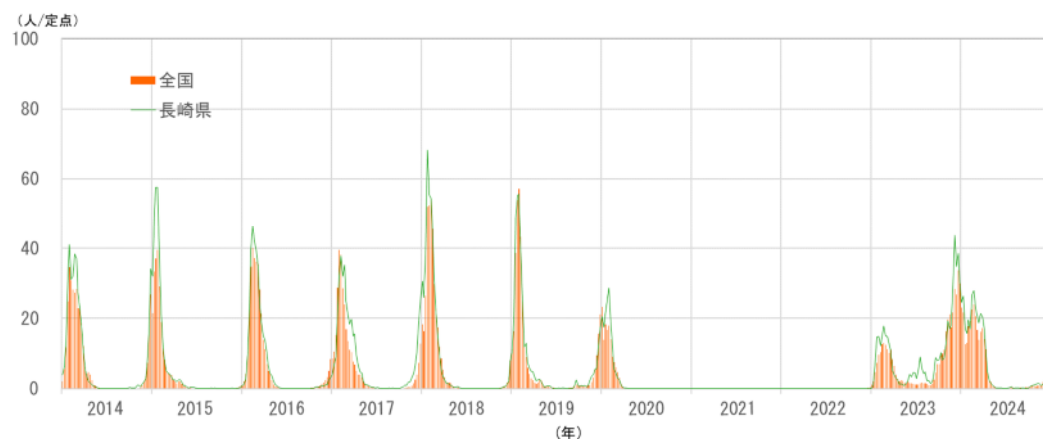
(1) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）

2024 年の年間患者報告数は 30,339 人で、前年（39,616 人）より減少した。2024/2025 シーズンは第 41 週に流行期入りし、第 50 週に注意報レベル、第 51 週に警報レベルの報告数となった。第 52 週には、現行の調査方法となった 1999 年以降で最多の定点当たり報告数「82.27」となった。

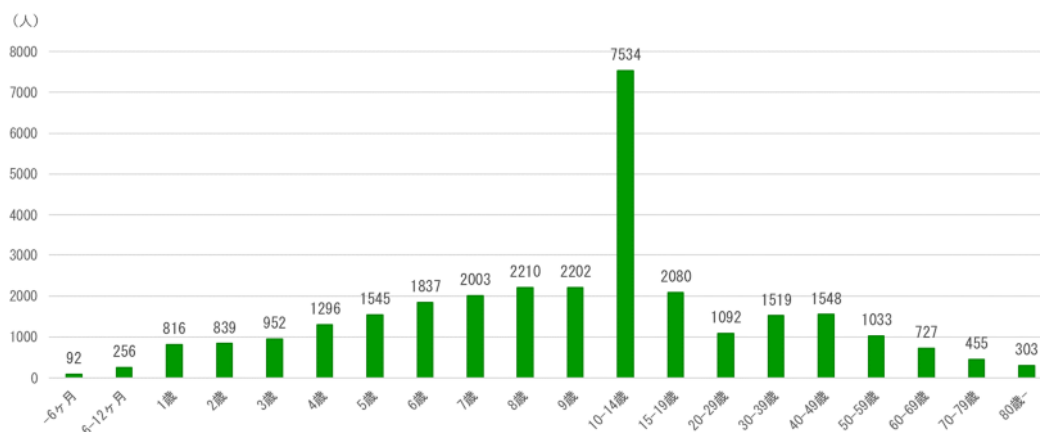
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）



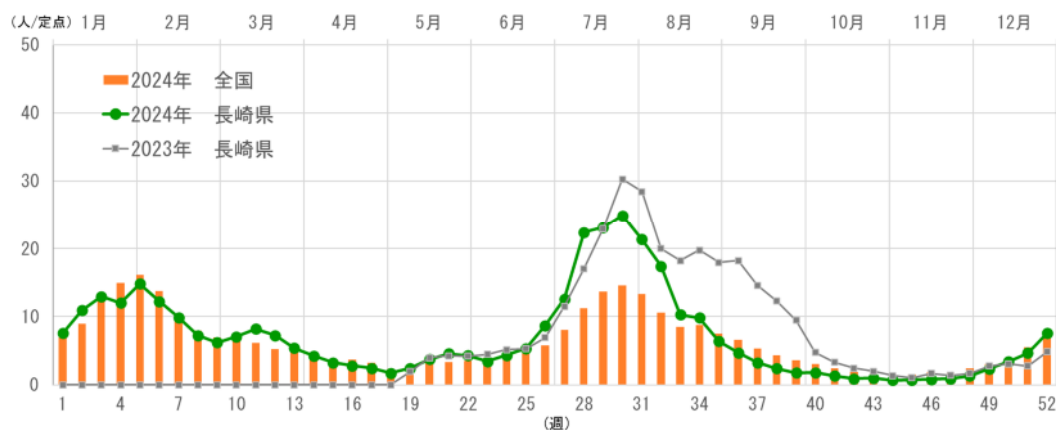
(2) 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月 8 日より定点把握の 5 類感染症に位置づけられた。

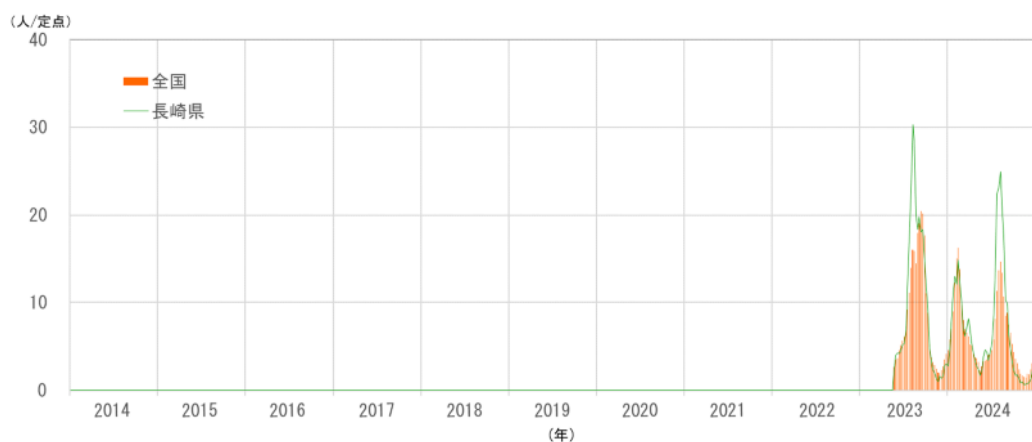
2024 年の年間患者報告数は 25,151 人であった。県内では 7 月に報告数の増加がみられ、第 30 週にピーク「24.94」を迎えた。

年齢階級別にみると、20 代以上の報告はインフルエンザより多かった。

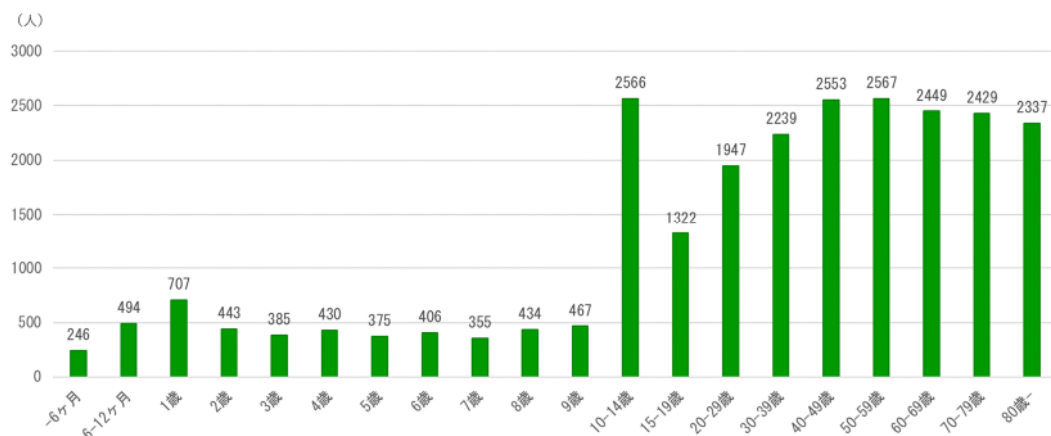
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）

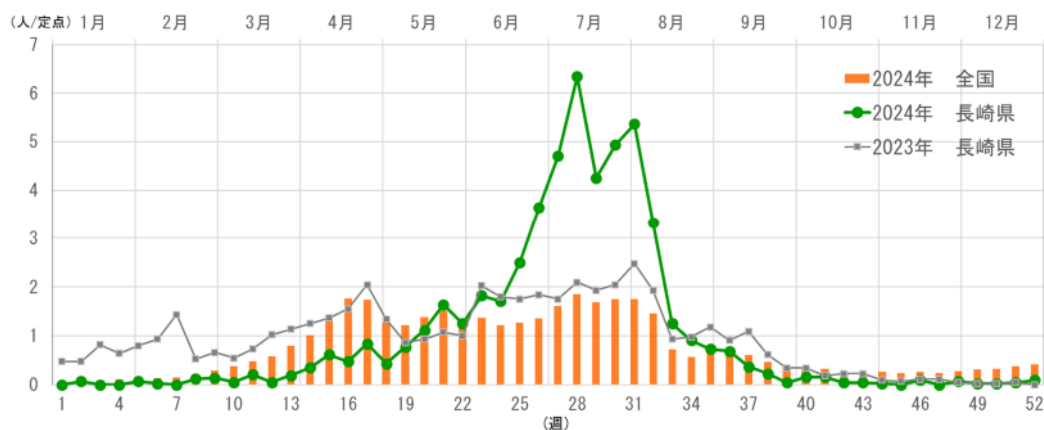


(3) RS ウイルス感染症

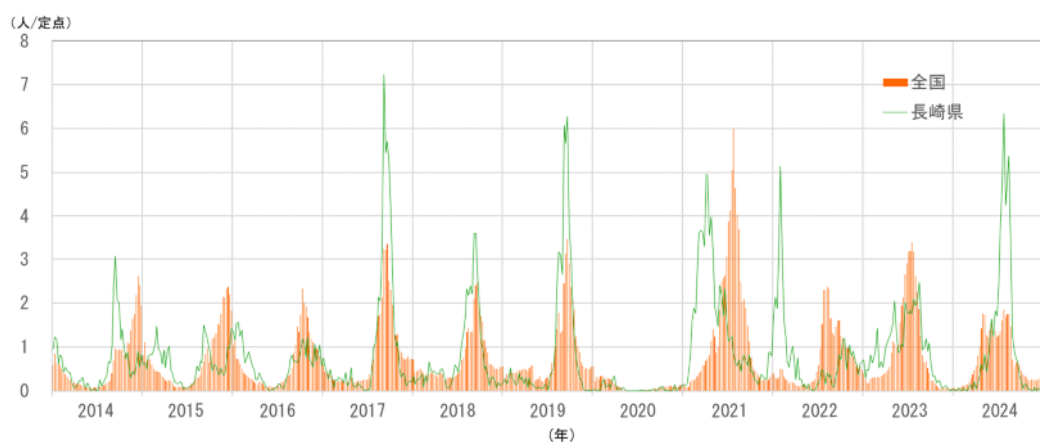
2024年の年間患者報告数は2,276人で、前年(2,146人)より増加した。6月から8月に患者数が多く全国より高い値で推移した。

年齢階級別では、1歳が最も多く、2歳以下で8割以上を占めた。

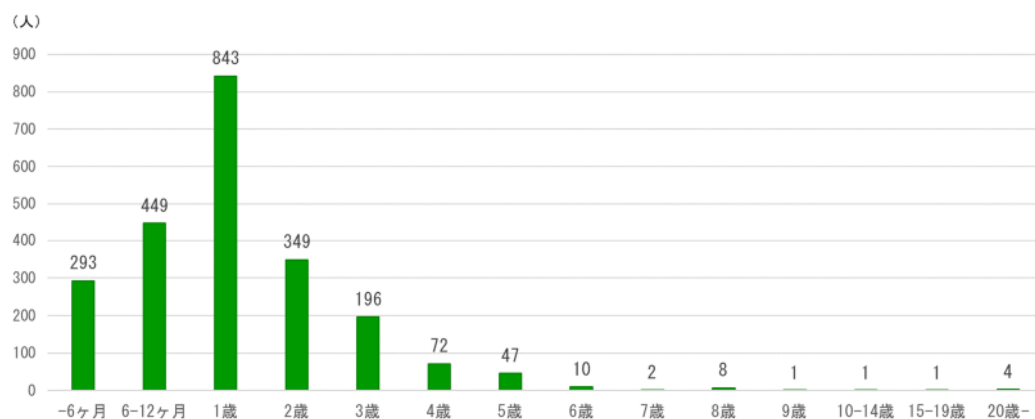
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2014年～2024年)



年齢階級別患者報告数 (2024年)

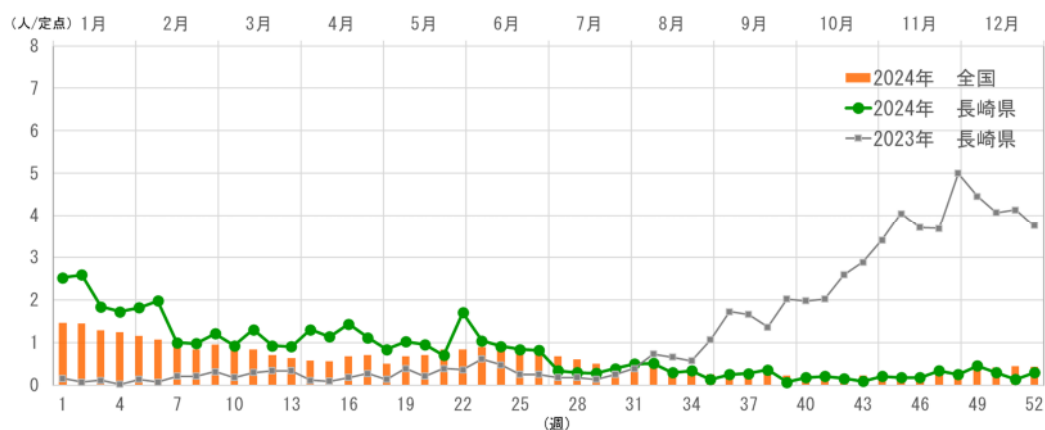


(4) 咽頭結膜熱

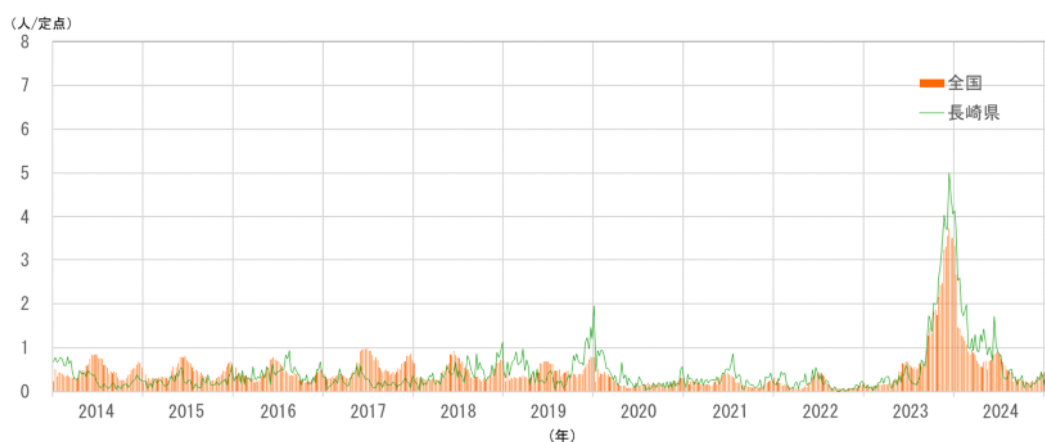
2024 年の年間患者報告数は 1,776 人で、前年（2,765 人）より減少した。2023 年第 44 週から警報レベルとなり、2024 年第 7 週まで継続した。6 月以降は、全国と同様の傾向で推移した。

年齢階級別では、1 歳が最も多かった。

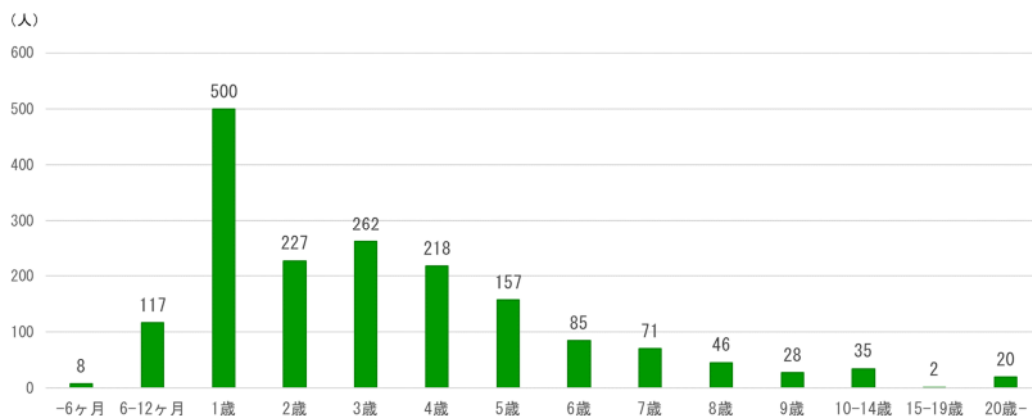
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）

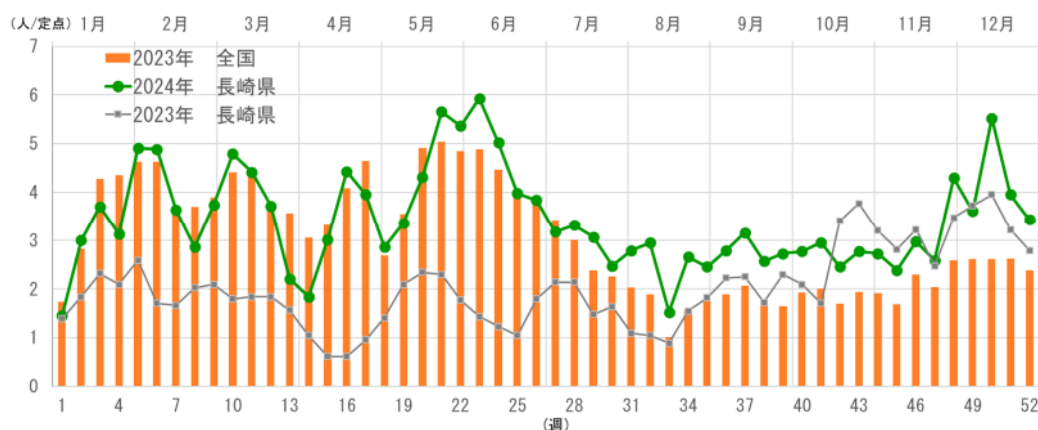


(5) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

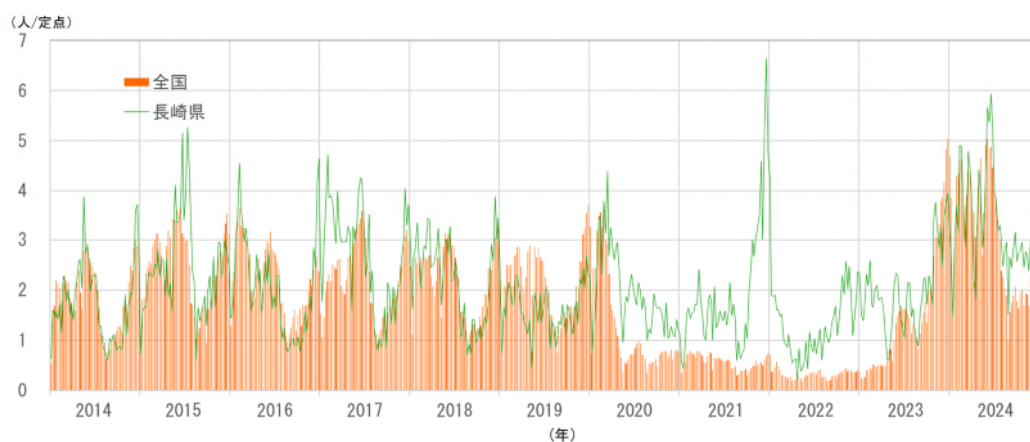
2024 年の年間患者報告数は 7,807 人で、前年（4,644 人）より増加した。年間を通して患者の報告があり、警報レベルの週はなかったが、全国より概ね高い値で推移していた。

年齢階級別では、10-14 歳が最も多く、20 歳以上の報告も前年（56 人）に比べて多かった。

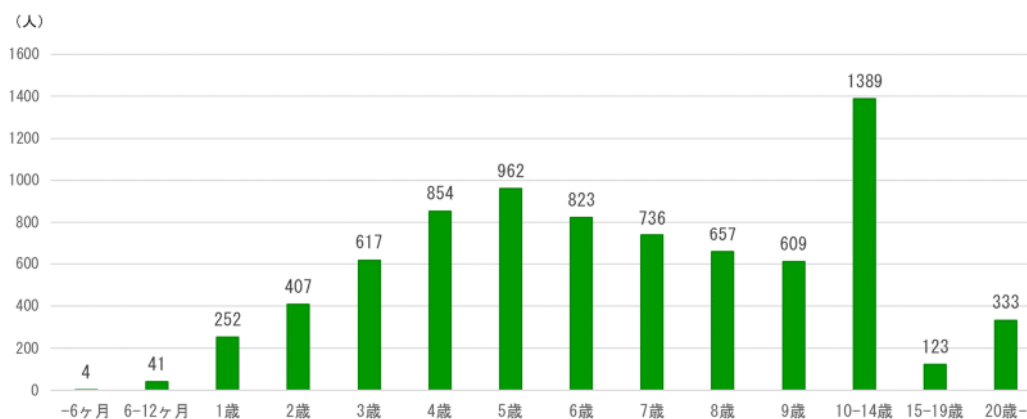
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）

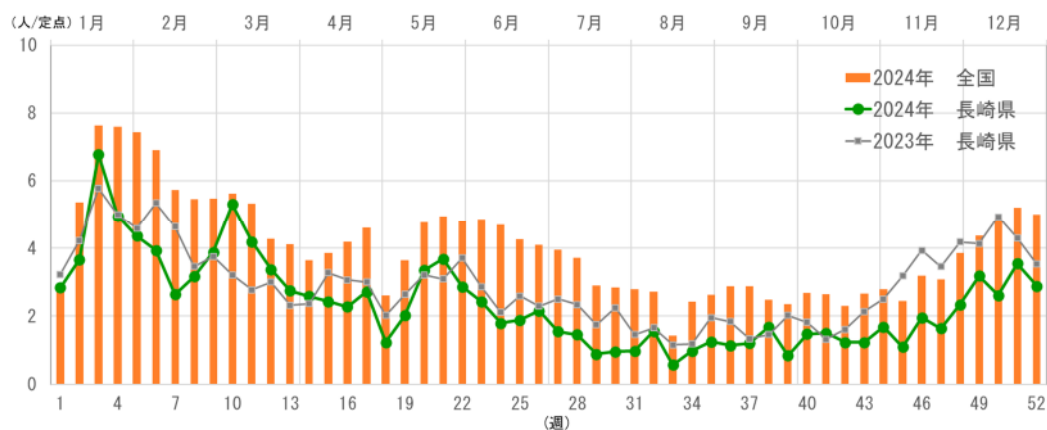


(6) 感染性胃腸炎

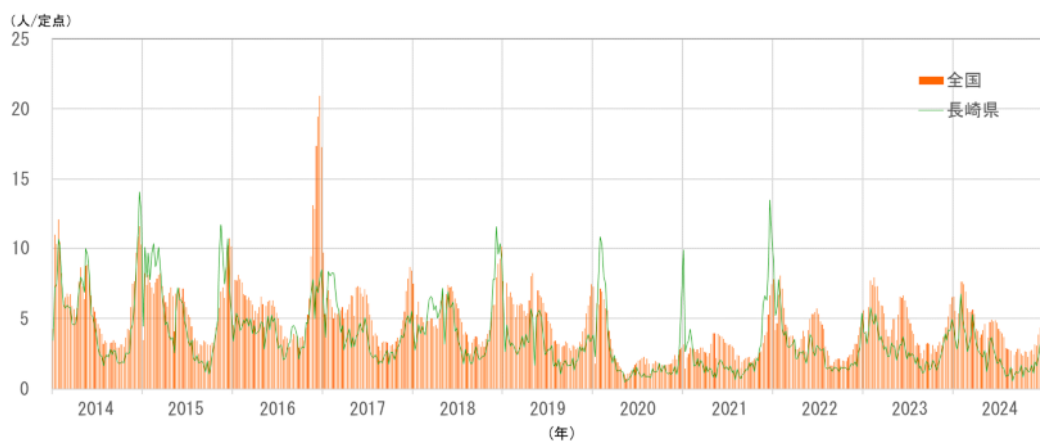
2024年の年間患者報告数は5,453人で、前年(6,664人)より減少した。年間を通して患者の報告があり、1月に患者数が増加したが、警報レベル開始基準値の「20」を超えた週はなかった。

年齢階級別では、10-14歳最も多く、1割以上を占め、前年より増加した。

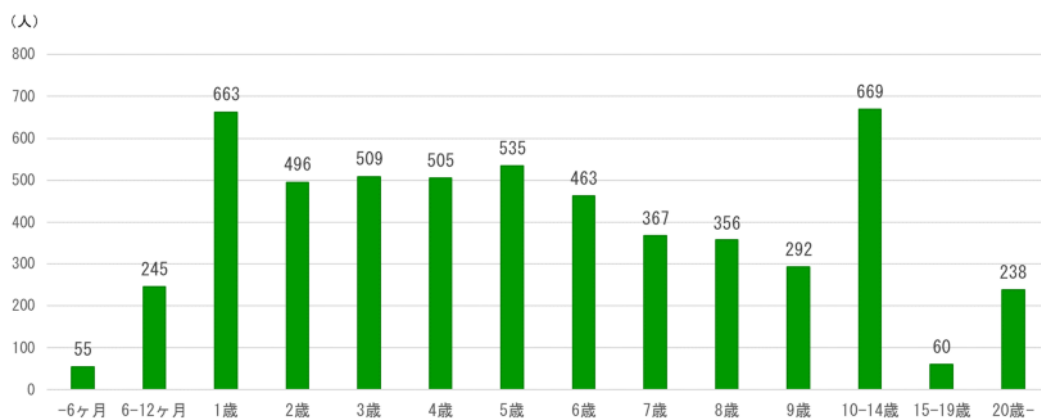
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移 (2014年～2024年)



年齢階級別患者報告数 (2024年)

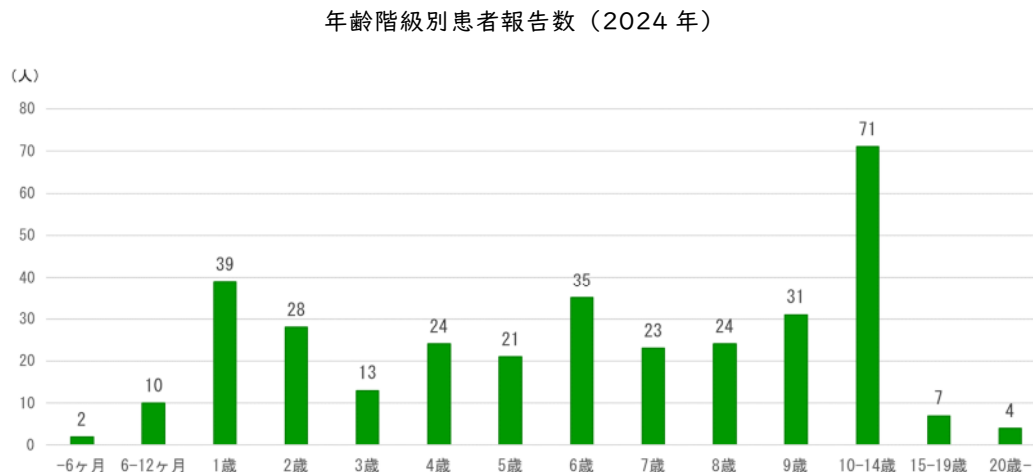
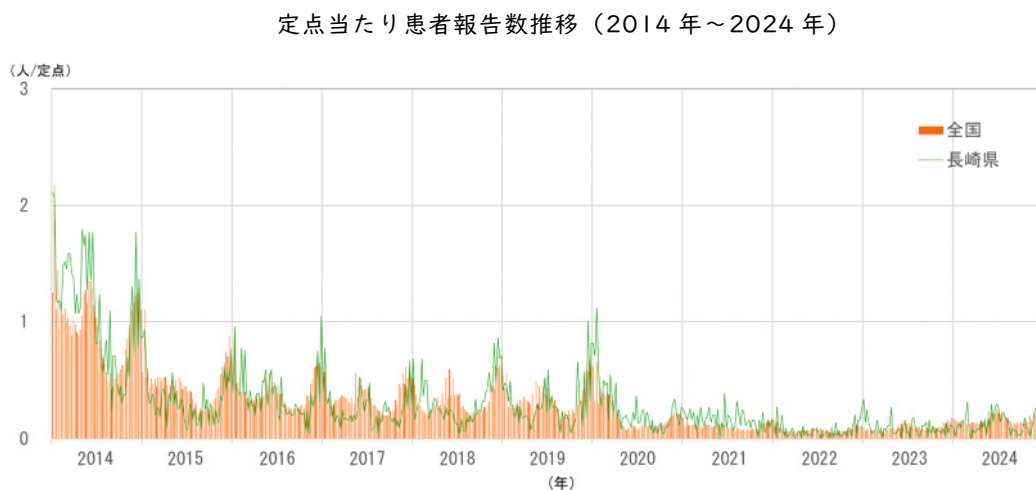
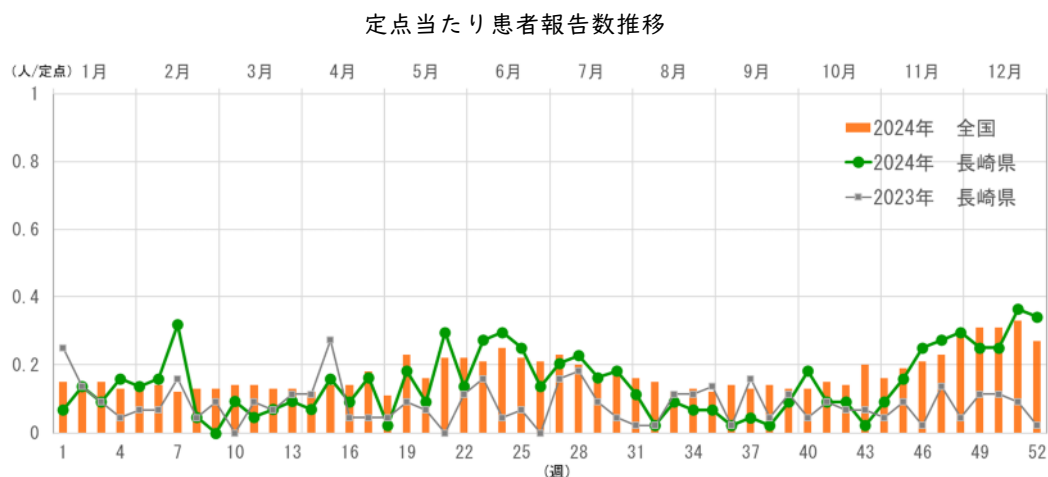


(7) 水痘

2024年の年間患者報告数は332人で、前年（197人）より増加した。県内、全国ともに大きな流行はなく、年間を通して低い値で推移した。

過去10年で比較すると、水痘ワクチンが2014年に定期予防接種に追加された翌年以降、年間患者数の減少傾向が顕著に認められる。

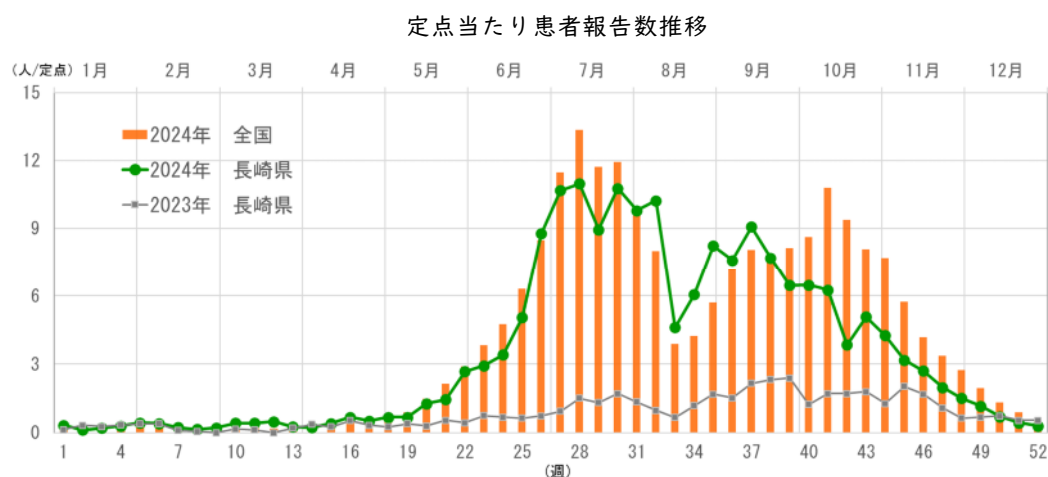
年齢階級別では、10～14歳が最も多かった。



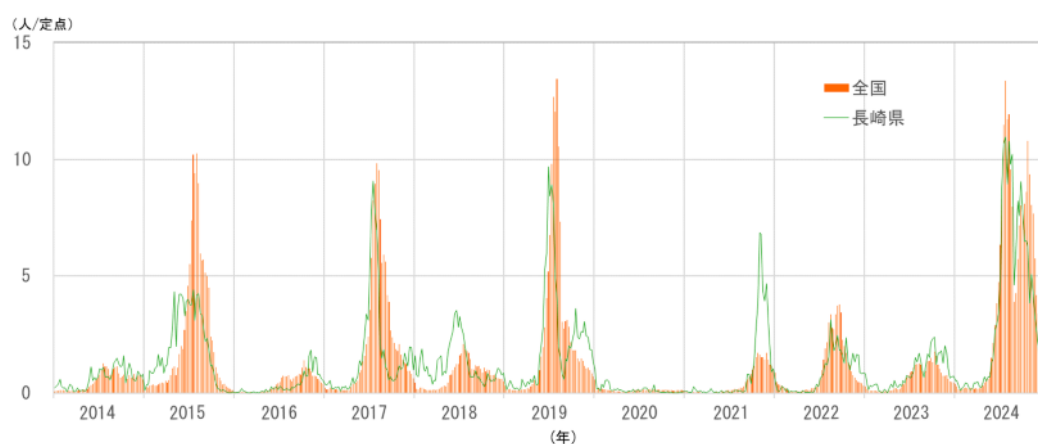
(8) 手足口病

2024 年の年間患者報告数は 7,971 人で、前年（1,933 人）より大きく増加した。県内では、5 月下旬から患者数の増加がみられ、12 月まで患者報告があった。第 25 週（5.05）に警報レベル基準値「5.0」を超え、警報レベルが 22 週間継続した。

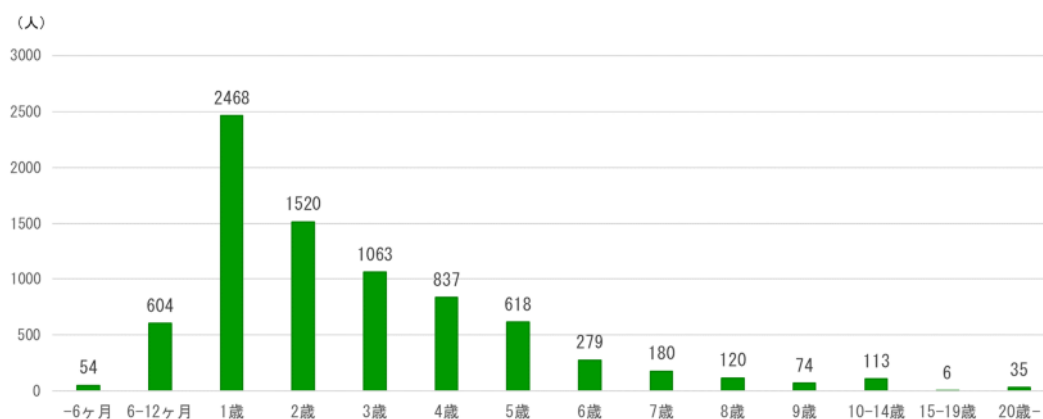
年齢階級別では、1 歳が最も多く、2 歳以下で全体の約 6 割を占めた。



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）

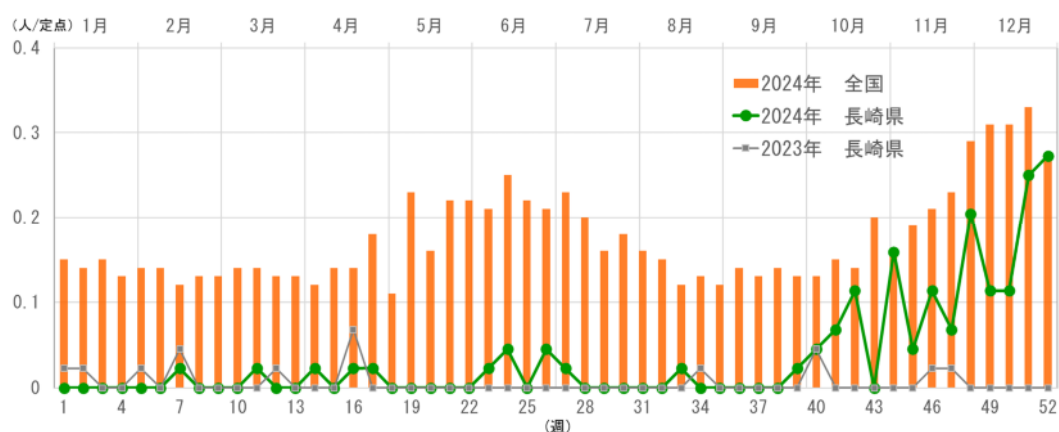


(9) 伝染性紅斑

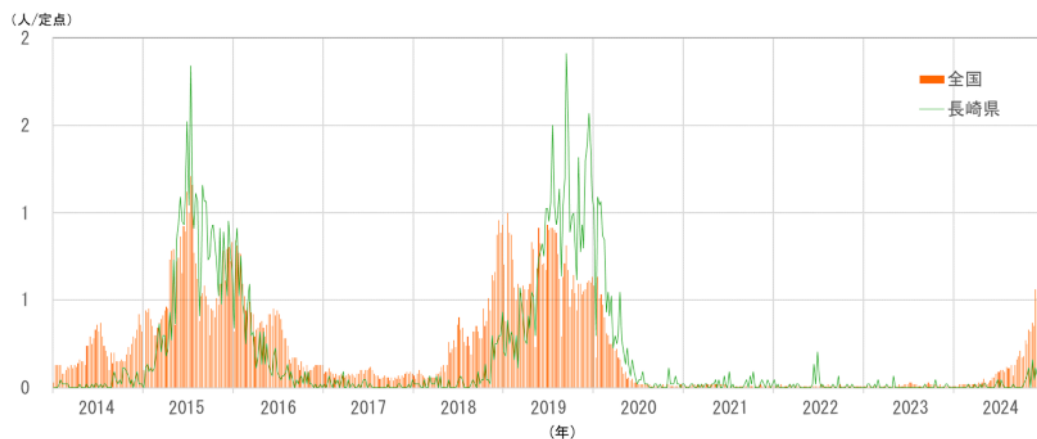
2024 年の年間患者報告数は 82 人で、前年（14 人）より増加した。11 月から 12 月にかけて患者数の増加が見られたが、年間を通じて全国より低い値で推移した。

年齢階級別では、1 歳以上で幅広い年齢で報告があった。

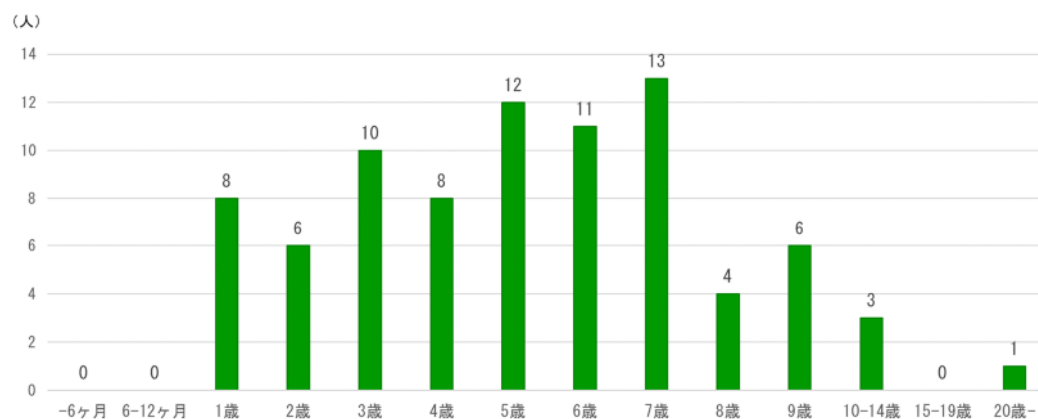
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）

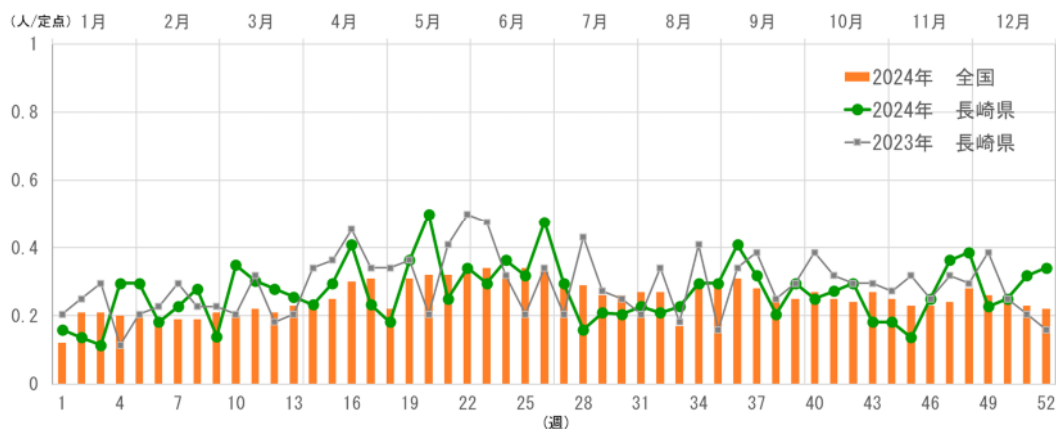


(10) 突発性発しん

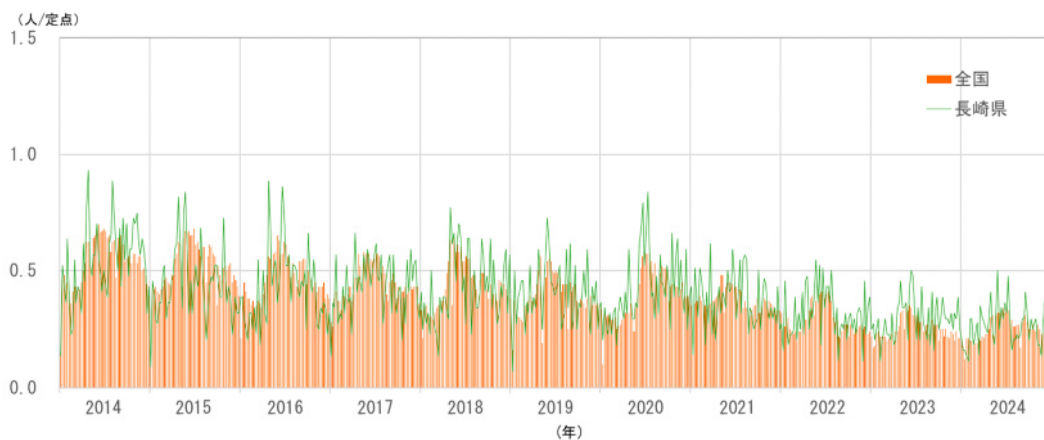
2024 年の年間患者報告数は 617 人で、前年（664 人）より減少した。年間を通じて増減を繰り返しながら推移した。

年齢階級別では、1 歳が最も多く約 6 割を占めた。

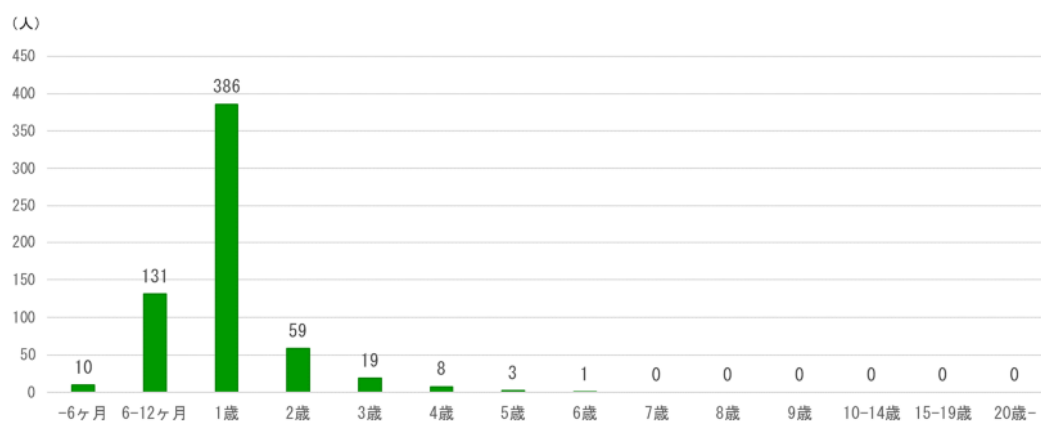
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）

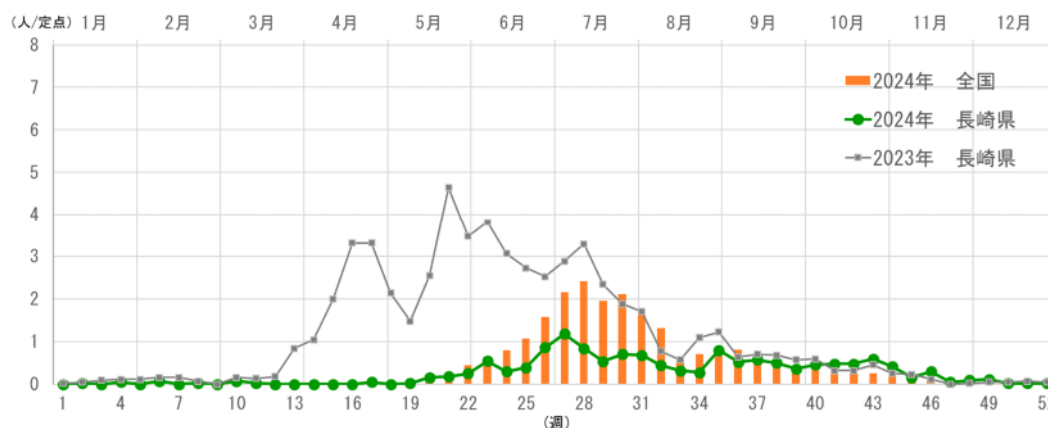


(11) ヘルパンギーナ

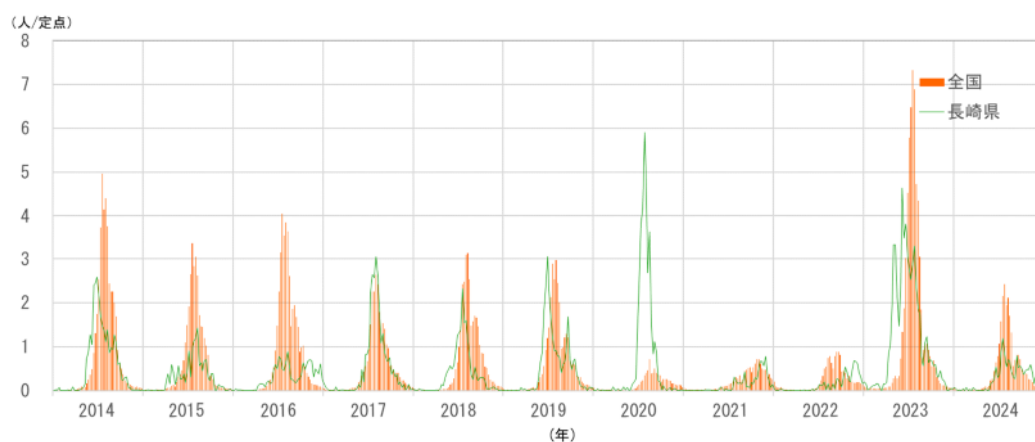
2024 年の年間患者報告数は 611 人で、前年（2,598 人）より大きく減少した。県内では、6 月から患者の増加がみられたが、全国より低い値で推移した。全国、長崎県ともに警報レベルを超える週はなかった。

年齢階級別では、1 歳が最も多かった。

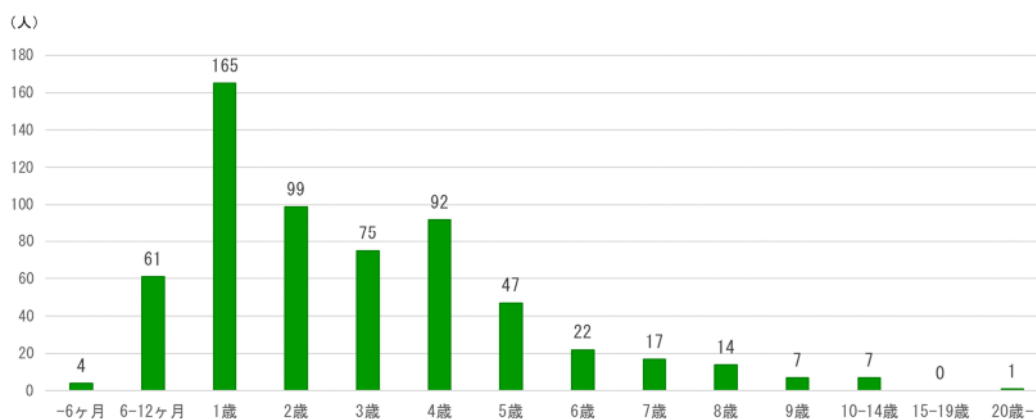
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）

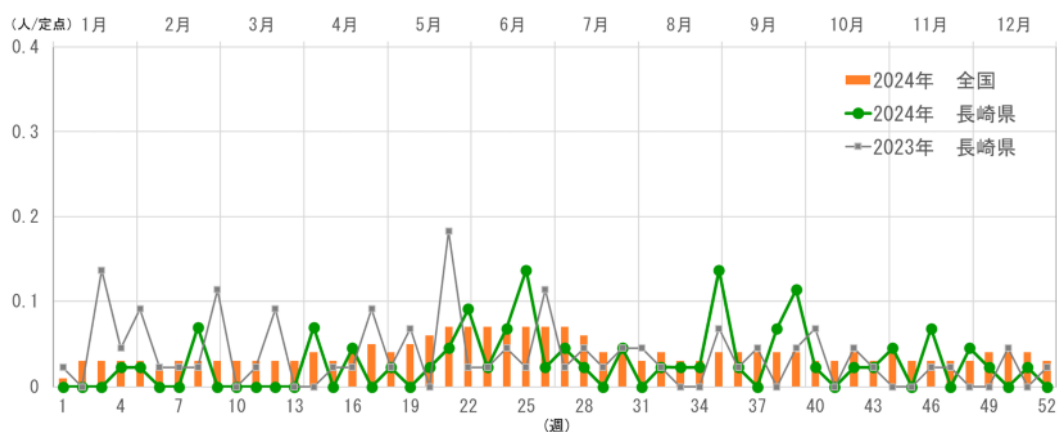


(12) 流行性耳下腺炎

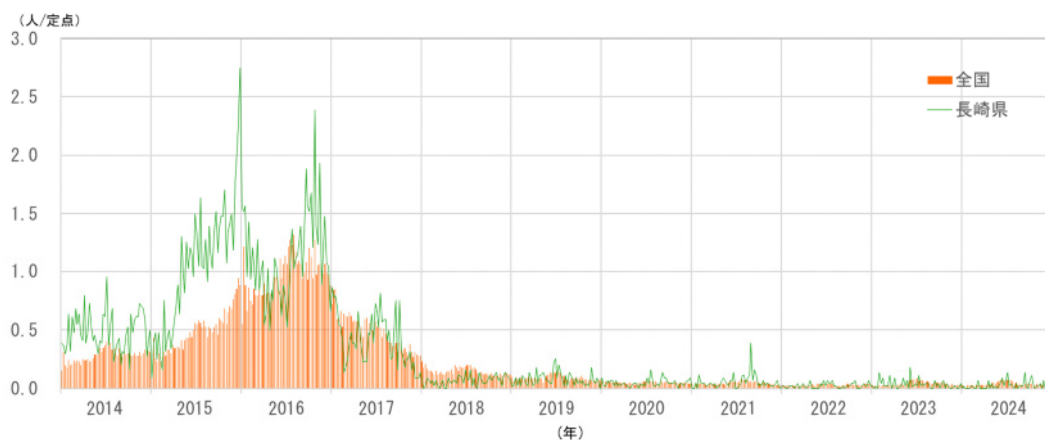
2024 年の年間患者報告数は 64 人で、前年（82 人）より減少した。年間を通じて概ね全国と同様、低い値で推移した。

年齢階級別では、2 歳以上の幅広い階級で患者の報告があった。

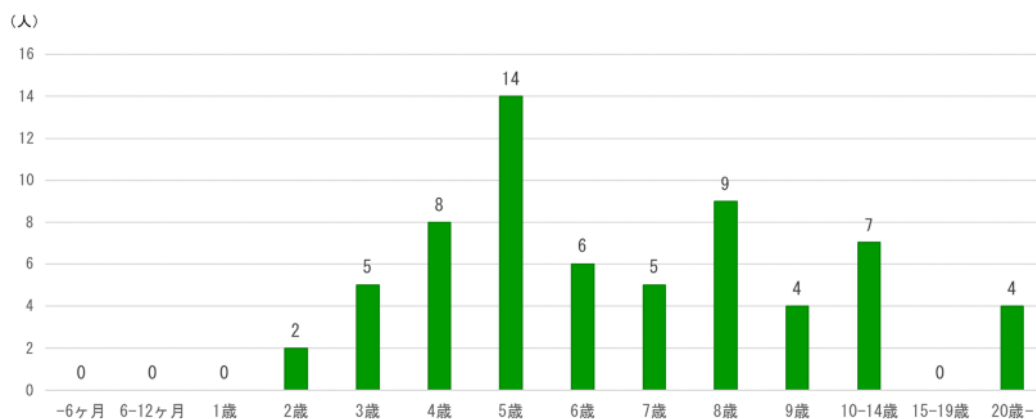
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



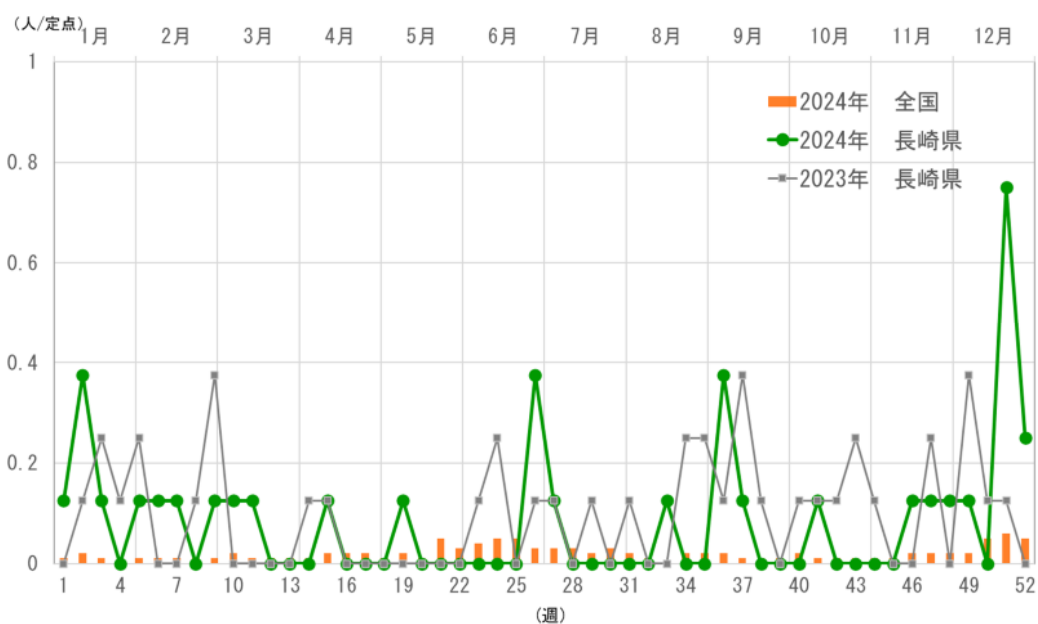
年齢階級別患者報告数（2024 年）



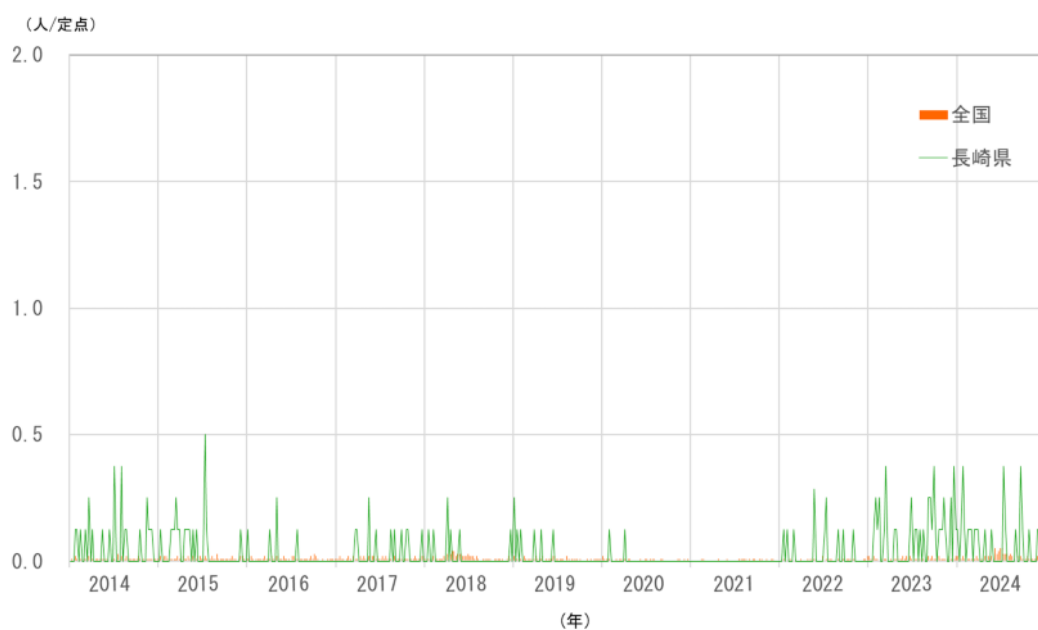
(13) 急性出血性結膜炎

2024 年の年間患者報告数は 35 人で、前年（41 人）より減少した。年間を通して、全国よりも高い値で推移した。9 割以上が県南保健所管内からの報告であった。

定点当たり患者報告数推移



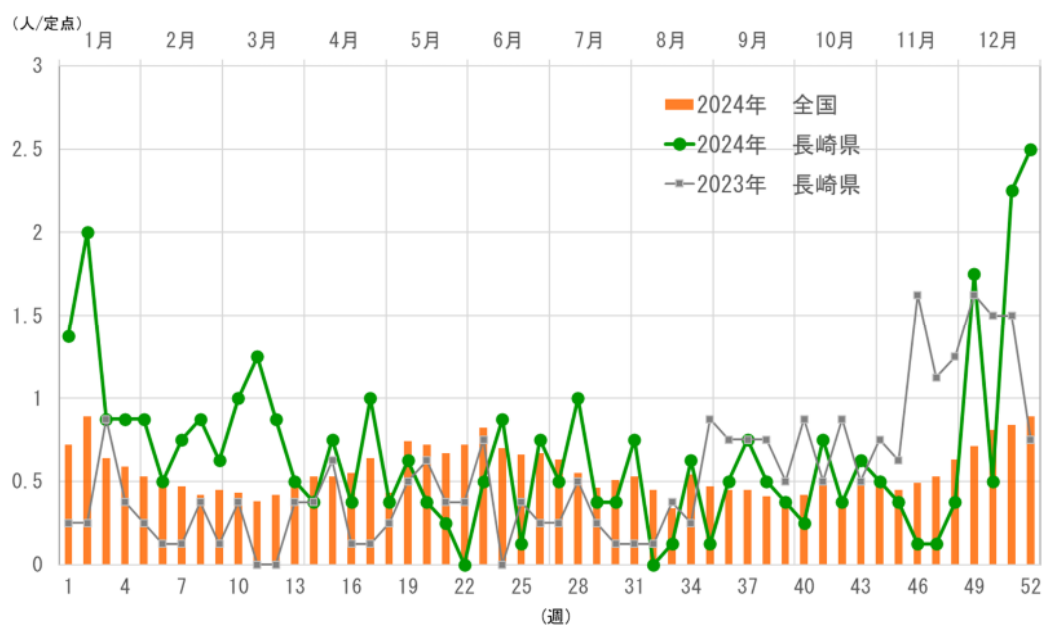
定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



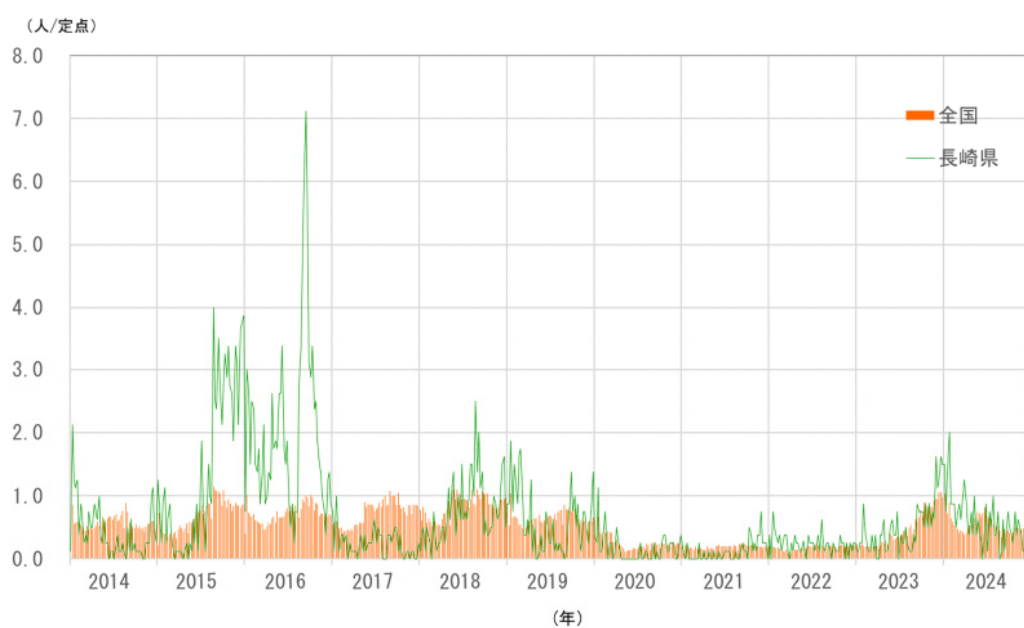
(14) 流行性角結膜炎

2024年の年間患者報告数は282人で、前年(219人)より増加した。12月に報告数が増加した。約7割が県南保健所管内からの報告であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移(2014年～2024年)

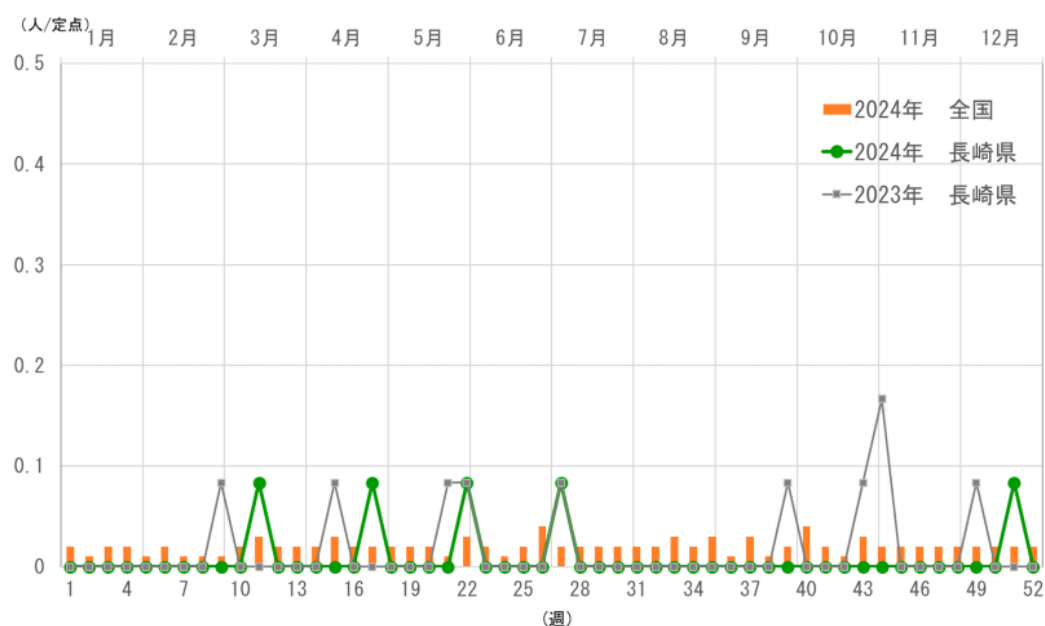


(15) 細菌性髄膜炎

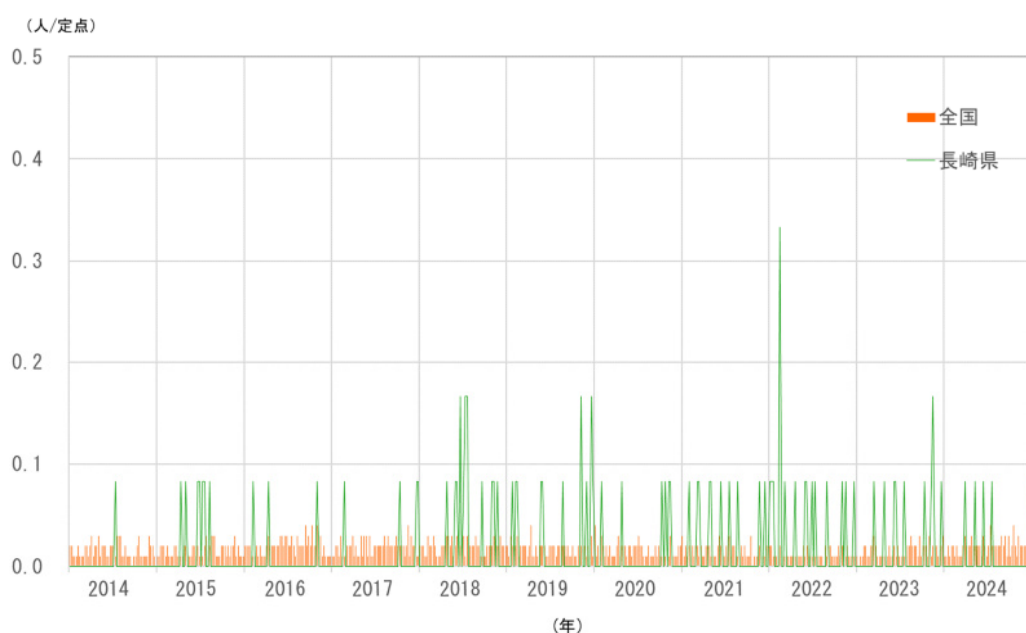
2024 年の年間患者報告数は 5 人で、前年（10 人）より減少した。検査結果として、「*Klebsiella pneumoniae*」が 2 件、「*Staphylococcus aureus*」、「*Staphylococcus capitis*」が各 1 件報告された。もう 1 件は、報告時点で病原体の検出はないが、届出のために必要な検査所見を満たすものであった。

報告患者の年齢は、1～67 歳であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）

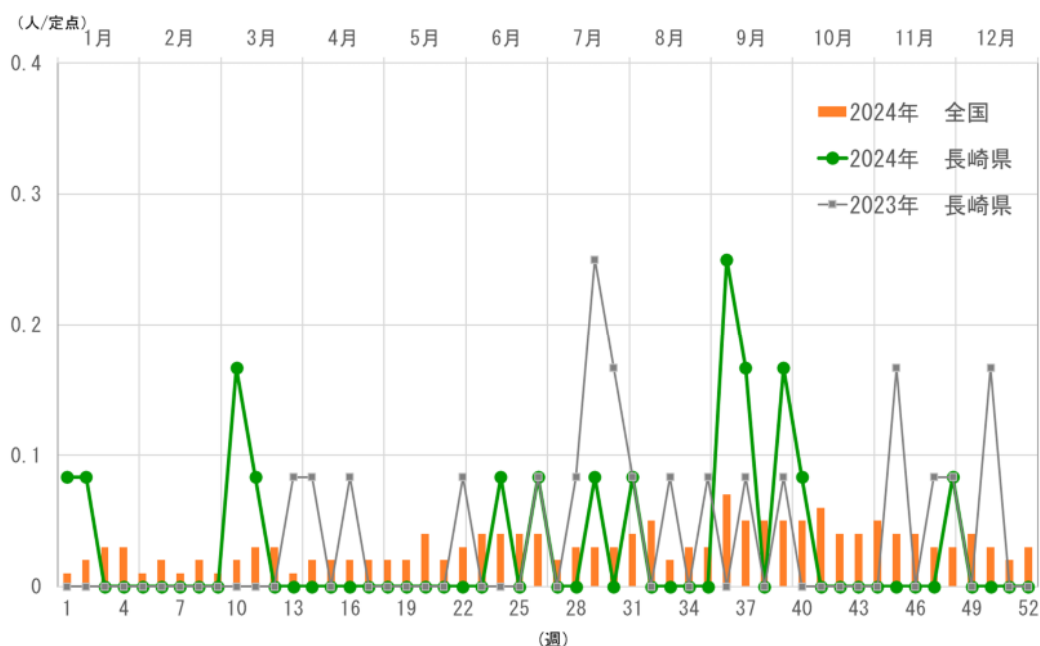


(16) 無菌性髄膜炎

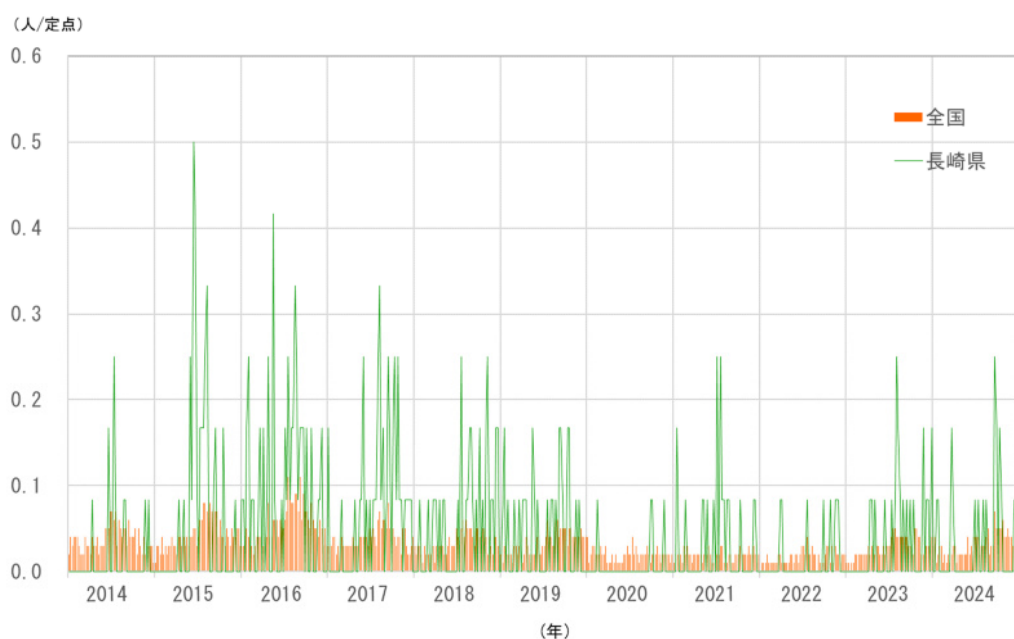
2024 年の年間患者報告数は 18 人で、前年（22 人）より減少した。本疾患の原因については、水痘・帯状疱疹ウイルスが 6 件、エンテロウイルスが 2 件、ヘルペスウイルスが 1 件検出され、その他については、検体から細菌が見出されないことによる「菌の不検出」であった。

報告のあった患者の年齢は、0～85 歳であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）

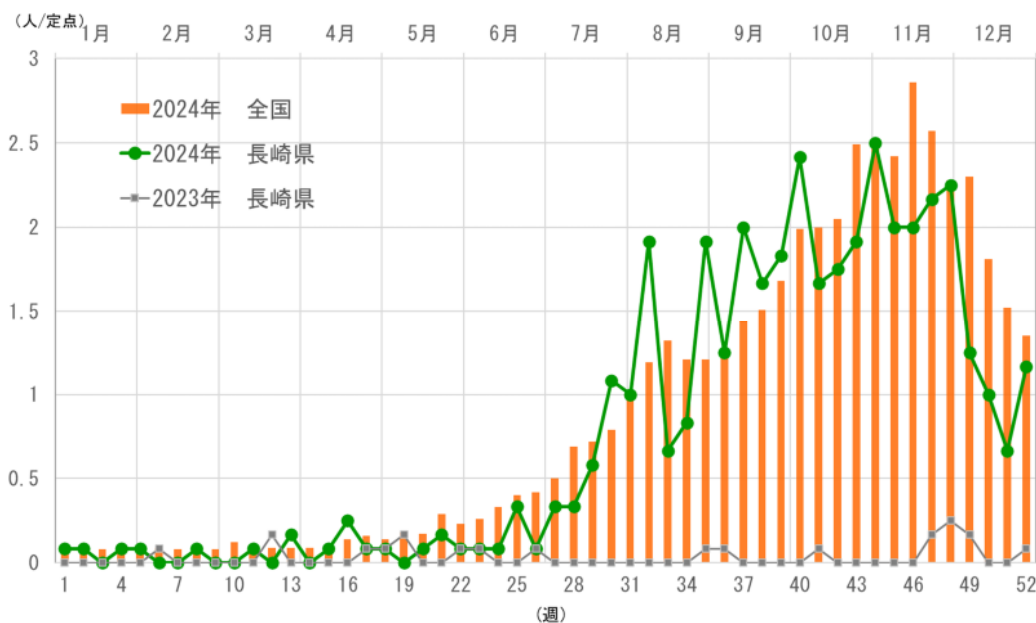


(17) マイコプラズマ肺炎

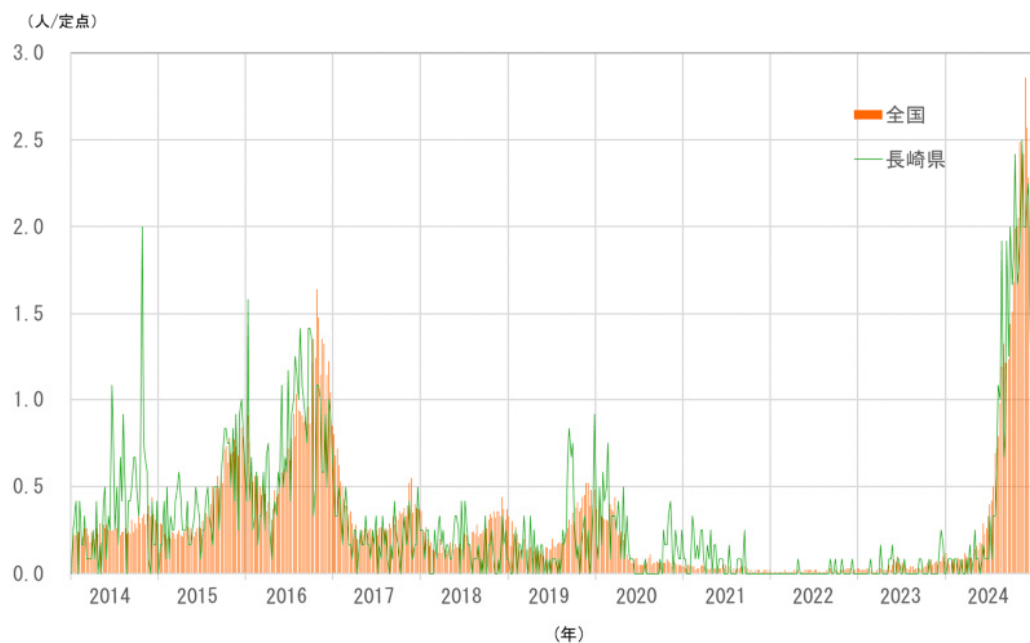
2024 年の年間患者報告数は 483 人で、前年（21 人）より大きく増加した。6 月下旬から増加しはじめ、11 月まで増加傾向が続いた。第 44 週には、現行の調査方法となった 1999 年以降で過去最多の定点当たり報告数「2.50」となった。

報告患者の年齢は、0～90 歳であった。

定点当たり患者報告数推移



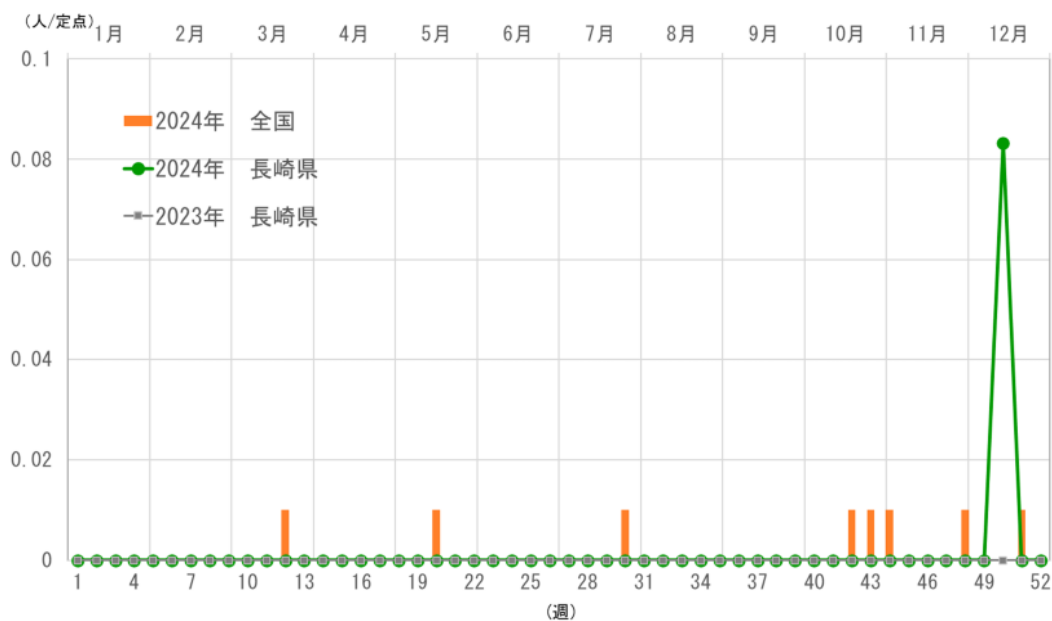
定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



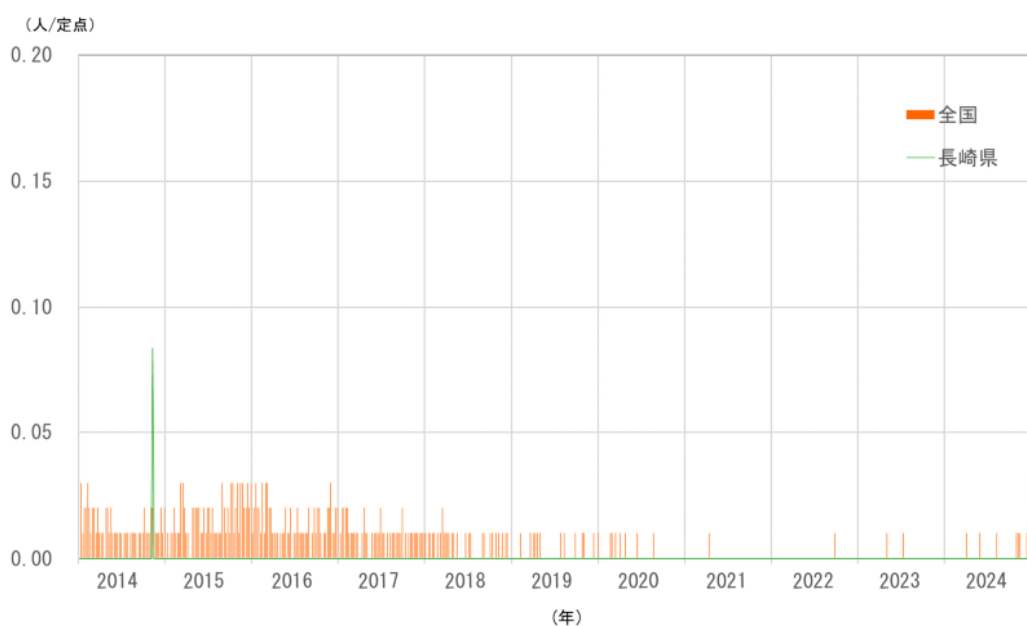
(18) クラミジア肺炎（オウム病は除く）

2024 年の年間患者報告数は 1 人であった。10 歳未満の患者で、2014 年以来 10 年ぶりの患者報告となった。全国でも年間報告数は 72 人で、定点当たり患者数 0～0.01 人と低い値で推移した。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）

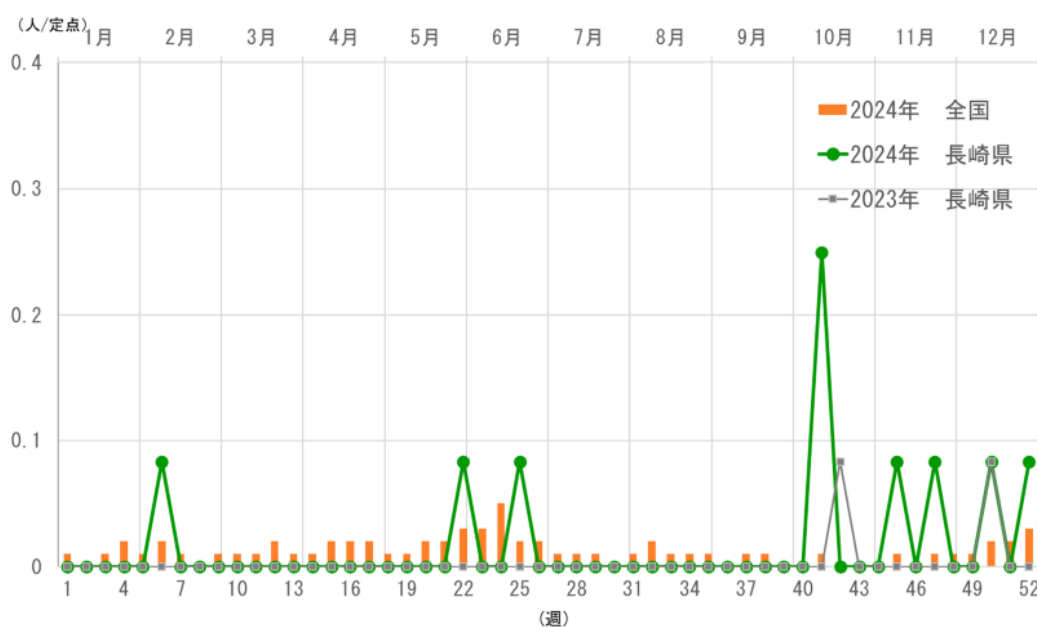


(19) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）

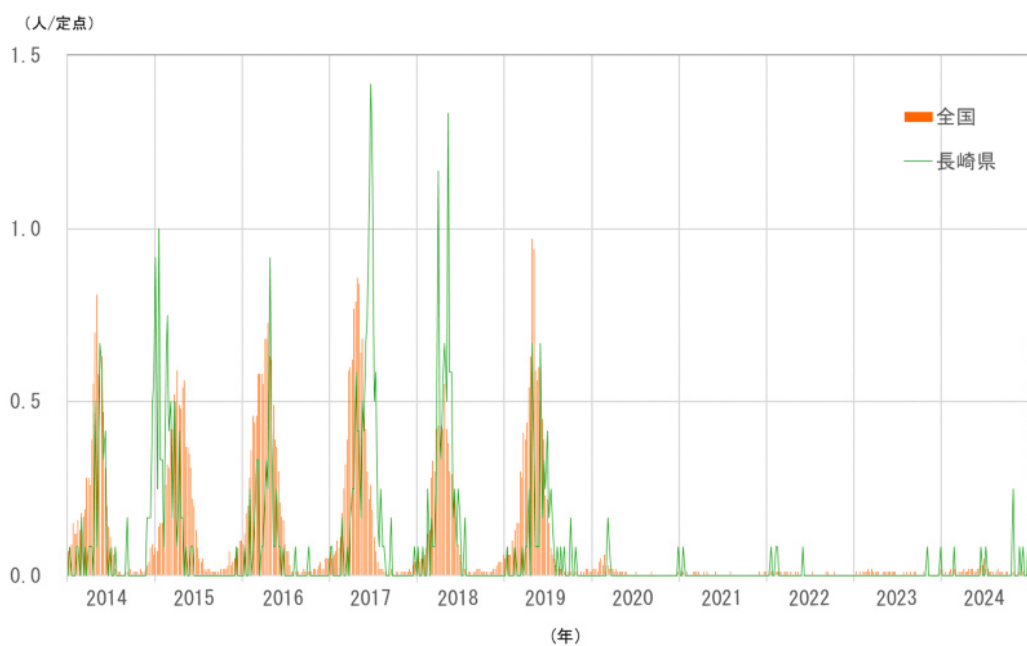
2024 年の年間患者報告数は 10 人で、前年（2 人）より増加した。全国の年間患者報告数は 335 人で、前年（152 人）から倍増した。

報告患者の年齢は、0～45 歳であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）

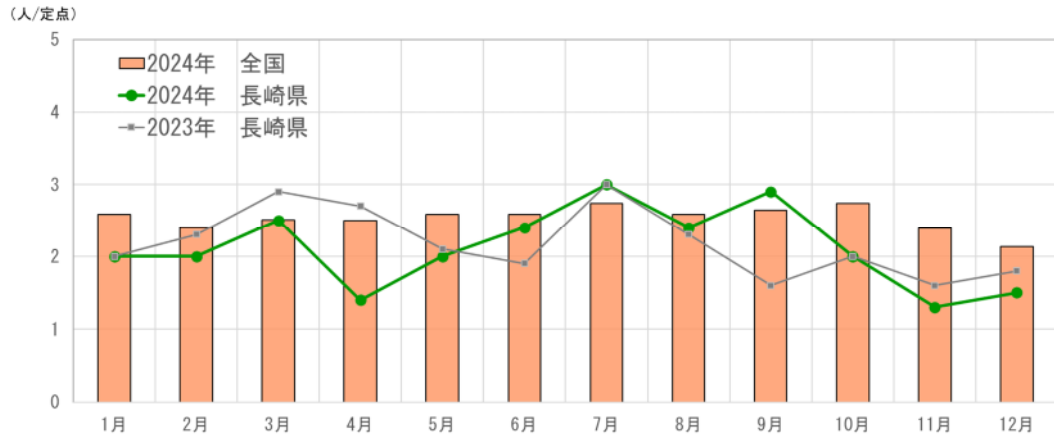


3 STD 定点報告の対象感染症

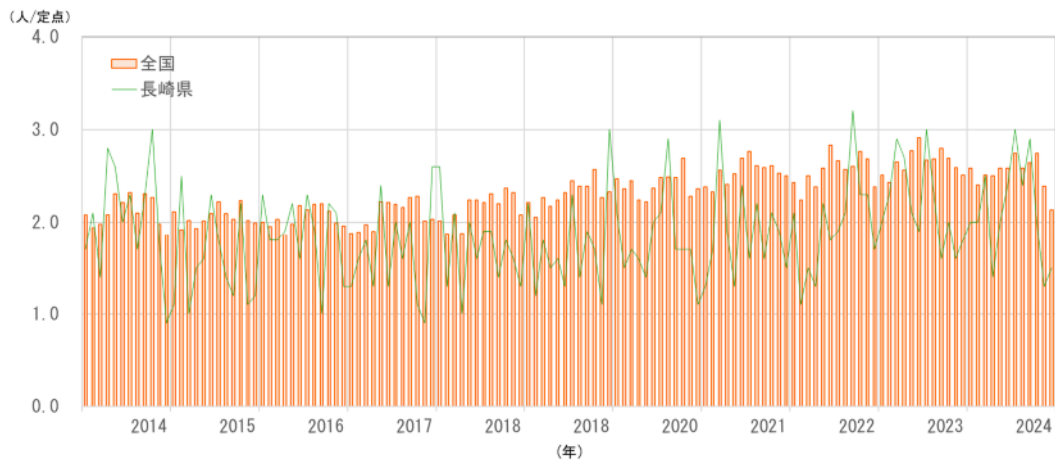
(1) 性器クラミジア感染症

2024 年の年間患者報告数は 254 人で、前年（262 人）より減少した。男女比は男性 35.8%（91 人）、女性 64.2%（163 人）と、女性の割合が多かった。年齢階級別では、男女とも 20～24 歳が最も多かった。

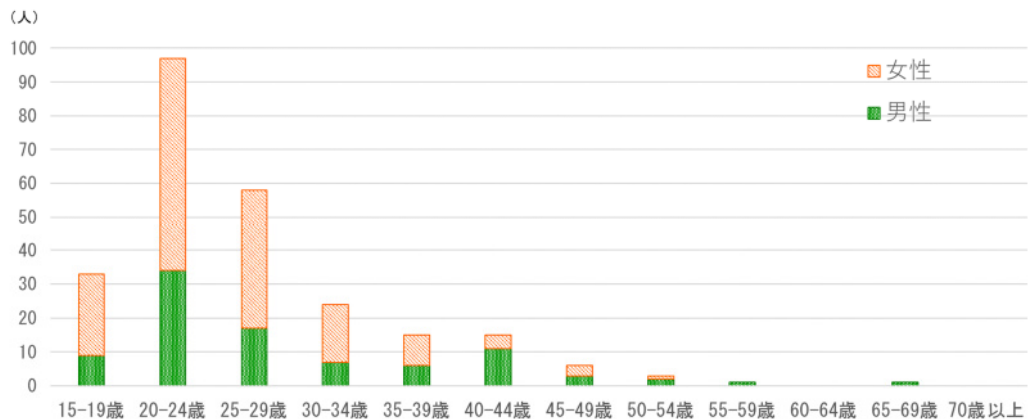
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



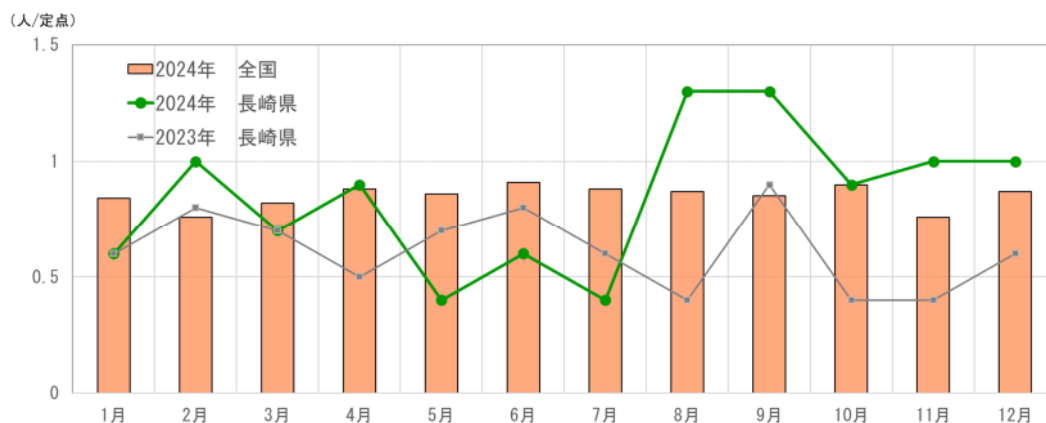
年齢階級別患者報告数（2024 年）



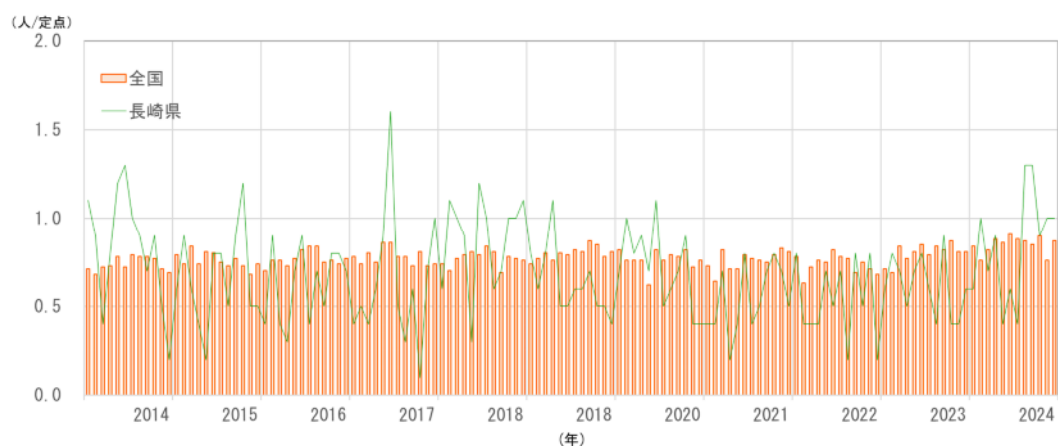
(2) 性器ヘルペスウイルス感染症

2024年の年間患者報告数は101人で、前年（74人）より増加した。男女比は男性7.9%（8人）、女性92.1%（93人）と、女性の割合が多かった。年齢階級別では、男女とも20～24歳が最も多かった。

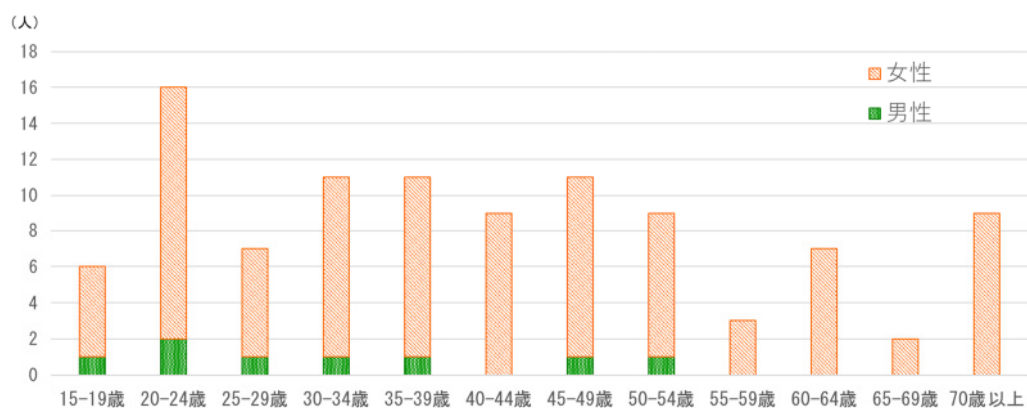
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014年～2024年）



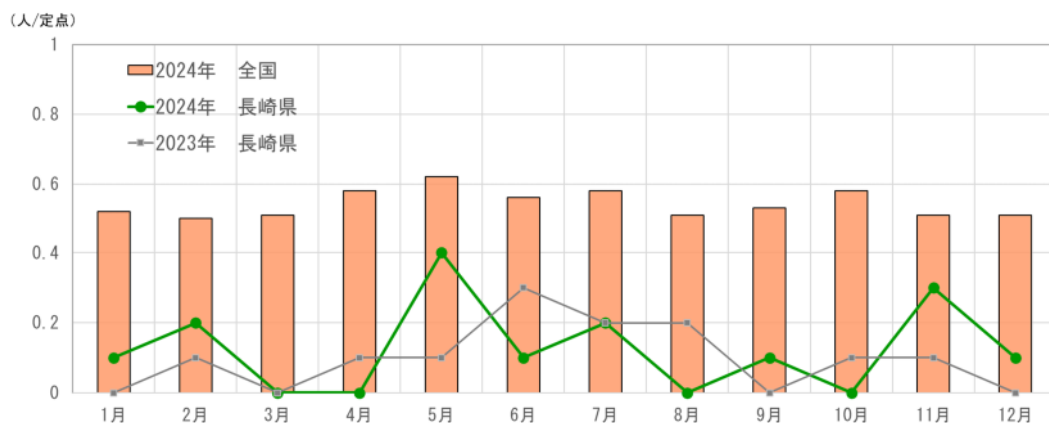
年齢階級別患者報告数（2024年）



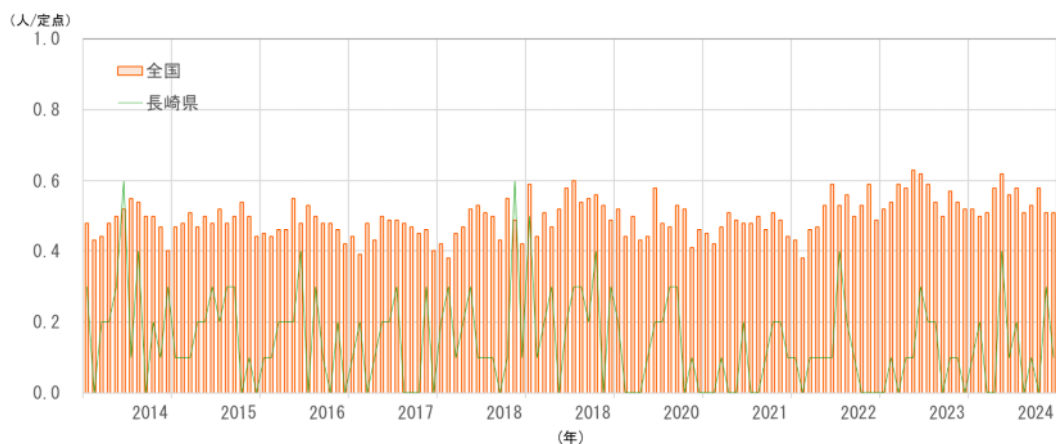
(3) 尖圭コンジローマ

2024 年の年間患者報告数は 15 人で、前年（12 人）より多かった。男女比は男性 6.7%（1 人）、女性 93.3%（14 人）と、女性の割合が多かった。年齢階級別では、20～24 歳が最も多かった。

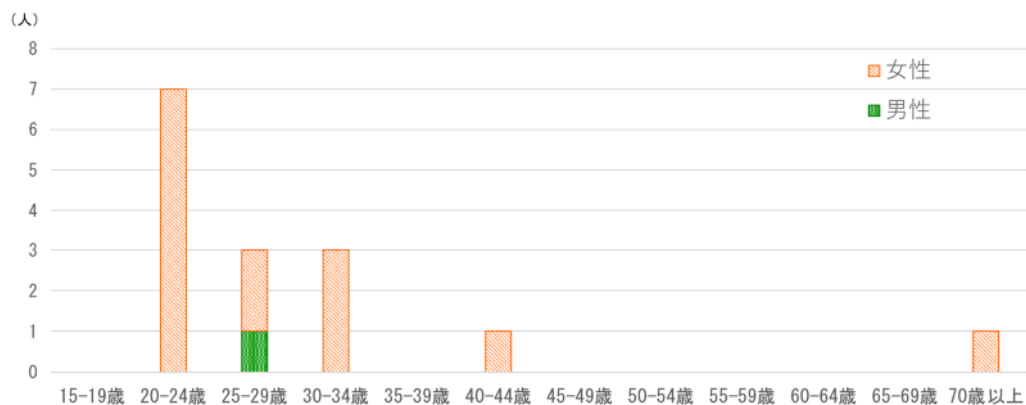
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



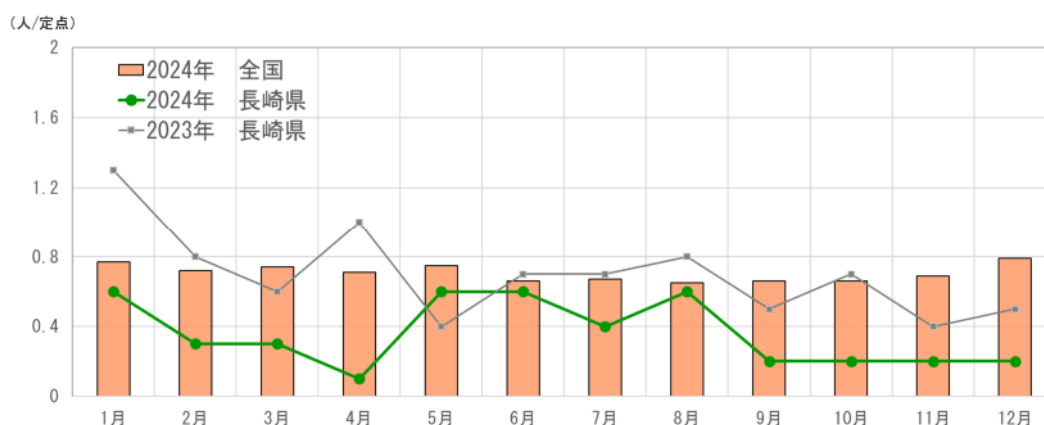
年齢階級別患者報告数（2024 年）



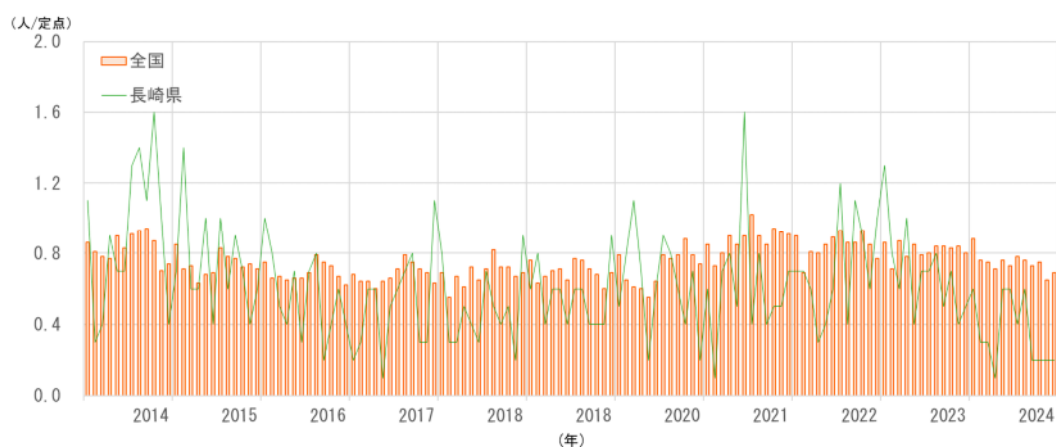
(4) 淋菌感染症

2024 年の年間患者報告数は 43 人で、前年（84 人）より減少した。男女比は男性 58.1%（25 人）、女性 41.9%（18 人）と、男性が多かったが、例年より女性の割合が多かった。年齢階級別では、男性では 15～19 歳、女性では 20～24 歳が最も多かった。

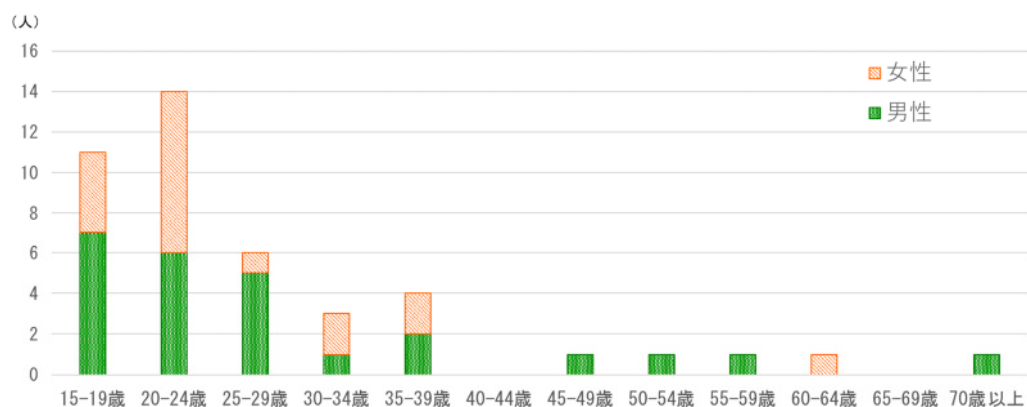
定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



年齢階級別患者報告数（2024 年）



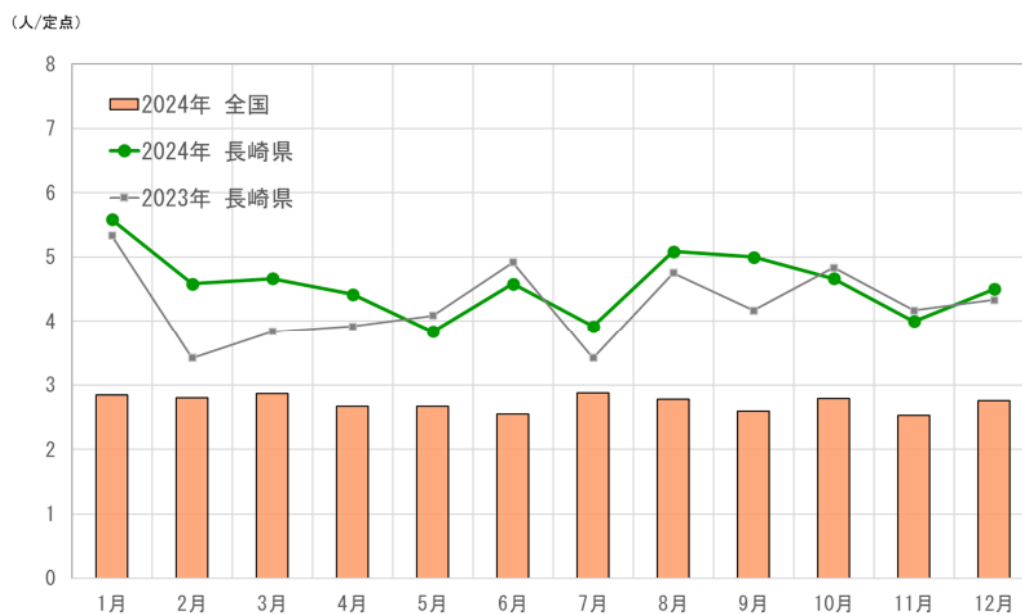
4 基幹定点報告の対象感染症

(1) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

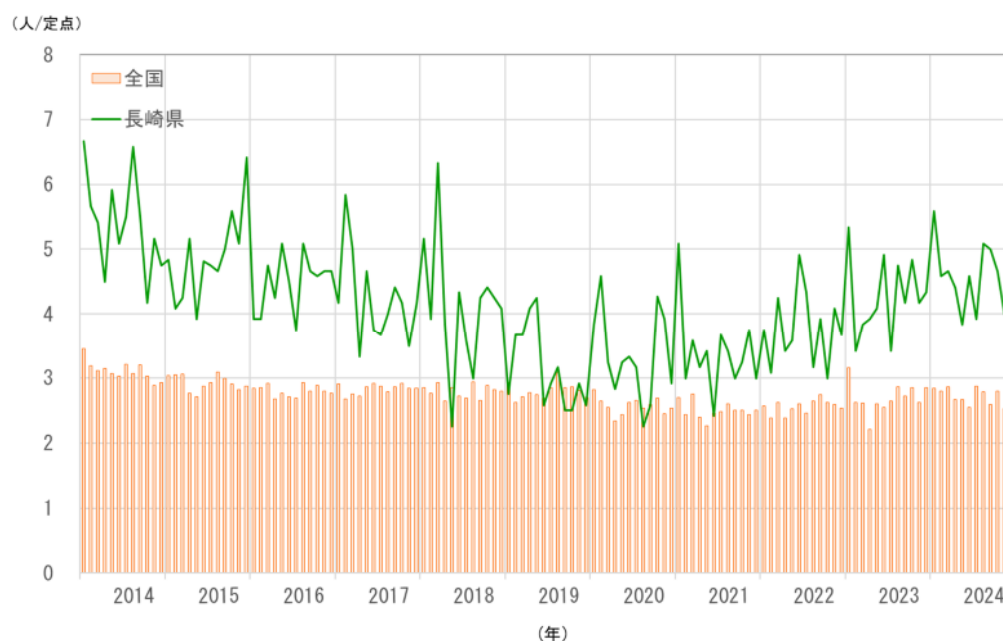
2024 年の年間患者報告数は 652 人で、前年（614 人）より増加した。年間を通して、全国より高い値で推移した。

過去 10 年をみると、全国平均を上回って推移し、2014 年をピークに減少傾向であったが、2020 年からは増加傾向が続いている。

定点当たり患者報告数推移



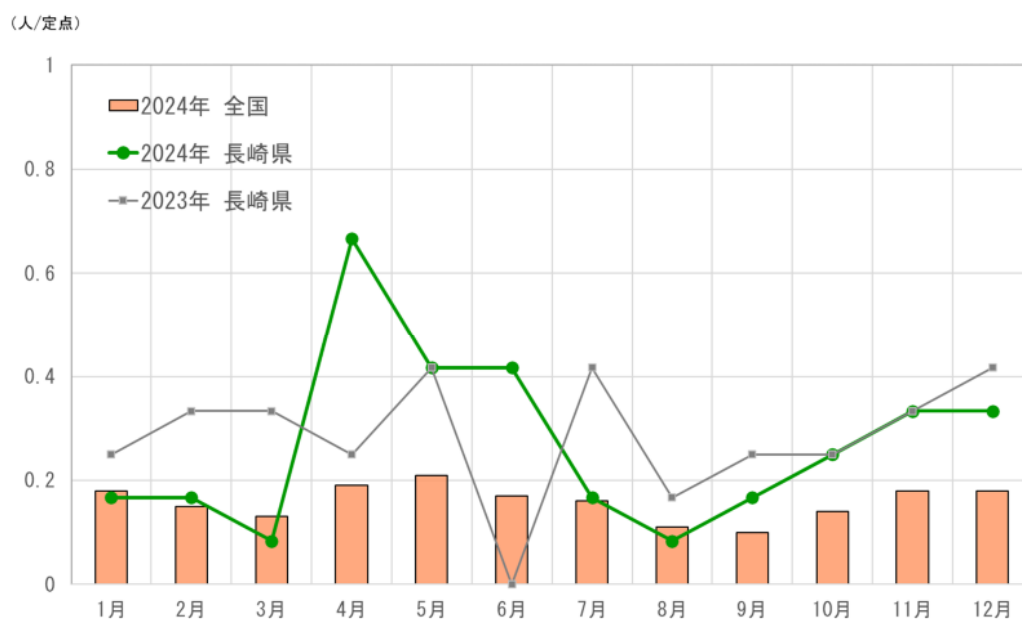
定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



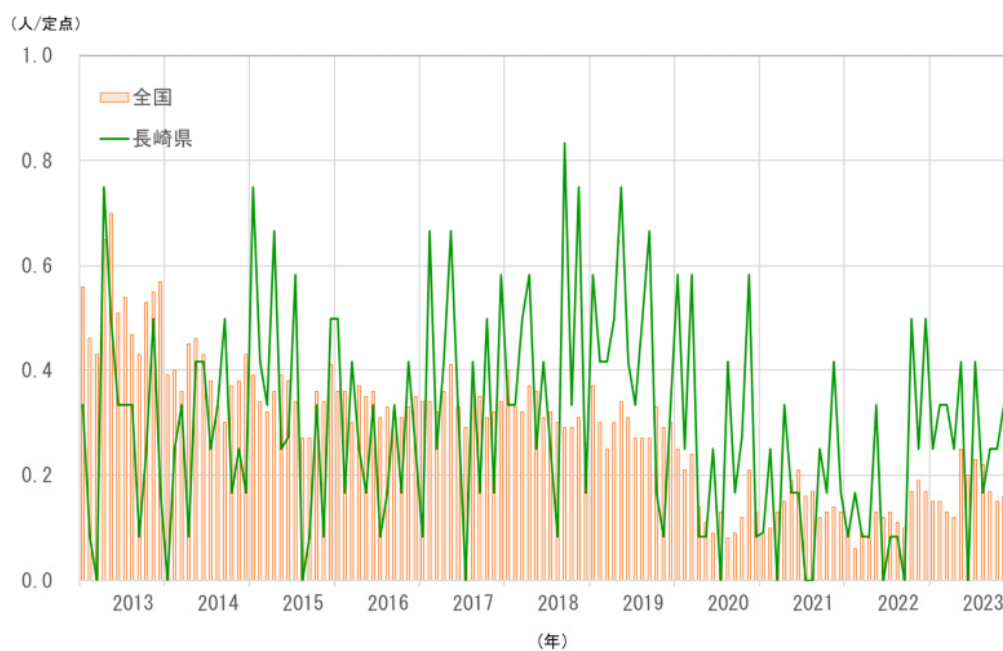
(2) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2024 年の年間患者報告数は 39 人で、前年（41 人）より少なかった。すべての月で報告があった。

定点当たり患者報告数推移



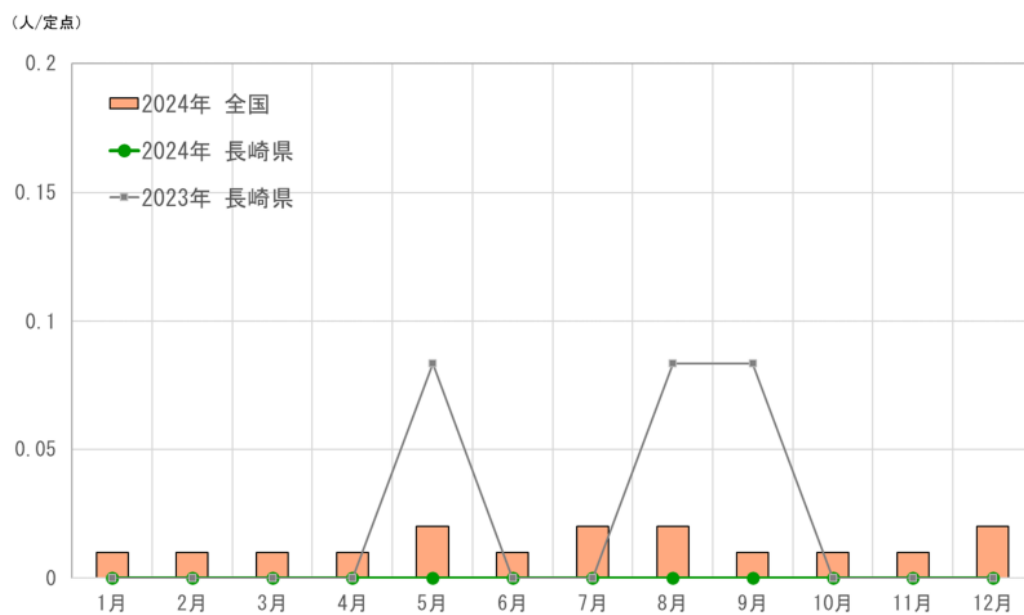
定点当たり患者報告数推移（2014 年～2024 年）



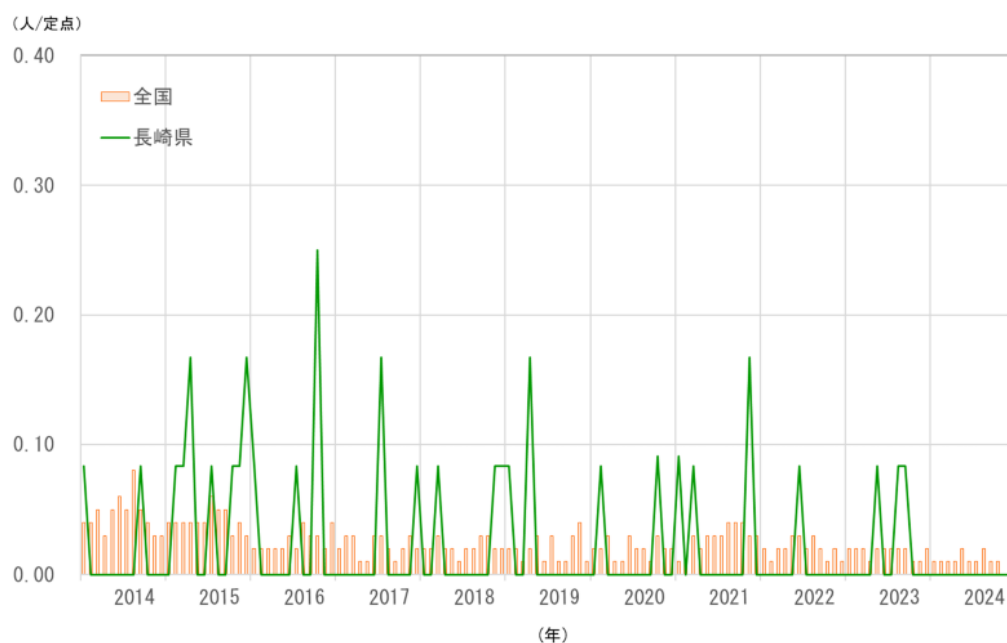
(3) 薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年に患者報告はなく、前年(3人)から減少した。全国の年間患者報告数は335人で、定点当たり報告数は0~0.02人であった。

定点当たり患者報告数推移



定点当たり患者報告数推移(2014年~2024年)



感染症週報（定点把握の感染症）推移表 患者報告数 長崎県（2024 年）

1/2

		定点数				疾患名								
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	インフル エンザ	新型コロナ ウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑
1	24.1.1-24.1.7	70	44	8	12	1,186	528	0	111	64	125	3	14	0
2	24.1.8-24.1.14	70	44	8	12	1,107	763	3	114	132	161	6	5	0
3	24.1.15-24.1.21	70	44	8	12	1,372	908	0	81	163	298	4	9	0
4	24.1.22-24.1.28	70	44	8	12	1,190	841	0	76	138	218	7	13	0
5	24.1.29-24.2.4	70	44	8	12	1,868	1,036	3	80	216	192	6	19	0
6	24.2.5-24.2.11	70	44	8	12	1,961	857	1	87	215	173	7	18	0
7	24.2.12-24.2.18	70	44	8	12	1,592	691	0	44	160	116	14	10	1
8	24.2.19-24.2.25	69	43	8	12	1,454	501	5	42	123	136	2	6	0
9	24.2.26-24.3.3	69	43	8	12	1,299	427	6	52	161	167	0	9	0
10	24.3.4-24.3.10	69	43	8	12	1,478	488	2	40	206	228	4	18	0
11	24.3.11-24.3.17	69	43	8	12	1,420	564	9	56	190	180	2	18	1
12	24.3.18-24.3.24	69	43	8	12	1,169	499	2	40	160	145	3	21	0
13	24.3.25-24.3.31	69	43	8	12	796	373	8	39	95	118	4	11	0
14	24.4.1-24.4.7	69	43	8	12	336	292	15	56	79	111	3	10	1
15	24.4.8-24.4.14	70	44	8	12	161	228	27	50	133	107	7	18	0
16	24.4.15-24.4.21	70	44	8	12	98	196	21	63	195	100	4	30	1
17	24.4.22-24.4.28	69	43	8	12	62	167	36	48	170	117	7	22	1
18	24.4.29-24.5.5	70	44	8	12	37	118	19	37	126	54	1	30	0
19	24.5.6-24.5.12	70	44	8	12	21	170	34	45	148	89	8	30	0
20	24.5.13-24.5.19	70	44	8	12	12	262	49	42	190	147	4	56	0
21	24.5.20-24.5.26	70	44	8	12	11	321	72	31	249	162	13	64	0
22	24.5.27-24.6.2	70	44	8	12	20	302	55	75	236	126	6	118	0
23	24.6.3-24.6.9	70	44	8	12	8	239	80	46	261	107	12	129	1
24	24.6.10-24.6.16	70	44	8	12	6	305	75	40	221	79	13	150	2
25	24.6.17-24.6.23	70	44	8	12	3	375	110	37	175	83	11	222	0
26	24.6.24-24.6.30	70	44	8	12	14	610	160	36	169	95	6	386	2
27	24.7.1-24.7.7	70	44	8	12	27	883	207	15	140	68	9	470	1
28	24.7.8-24.7.14	70	44	8	12	39	1,568	279	13	146	64	10	483	0
29	24.7.15-24.7.21	69	43	8	12	9	1,596	183	12	132	38	7	385	0
30	24.7.22-24.7.28	70	44	8	12	18	1,746	217	17	109	42	8	474	0
31	24.7.29-23.8.4	70	44	8	12	16	1,494	236	22	123	43	5	431	0
32	24.8.5-24.8.11	69	43	8	12	11	1,200	143	22	127	67	1	440	0
33	24.8.12-24.8.18	70	44	8	12	9	720	55	13	67	25	4	203	1
34	24.8.19-24.8.25	70	44	8	12	19	687	40	15	117	43	3	266	0
35	24.8.26-24.9.1	70	44	8	12	15	447	32	6	108	55	3	362	0
36	24.9.2-24.9.8	70	44	8	12	4	328	30	11	123	50	1	334	0
37	24.9.9-24.9.15	70	44	8	12	4	226	16	12	139	53	2	399	0
38	24.9.16-24.9.22	70	44	8	12	13	166	10	16	113	74	1	339	0
39	24.9.23-24.9.29	70	44	8	12	53	122	2	3	120	37	4	284	1
40	24.9.30-24.10.6	70	44	8	12	60	127	7	8	122	65	8	285	2
41	24.10.7-24.10.13	70	44	8	12	77	90	7	9	130	66	4	275	3
42	24.10.14-24.10.20	70	44	8	12	86	61	2	7	108	54	4	169	5
43	24.10.21-24.10.27	70	44	8	12	101	69	2	4	122	54	1	223	0
44	24.10.28-24.11.3	70	44	8	12	107	48	1	9	120	74	4	187	7
45	24.11.4-24.11.10	70	44	8	12	68	49	0	8	105	48	7	140	2
46	24.11.11-24.11.17	70	44	8	12	84	56	4	8	131	86	11	119	5
47	24.11.18-24.11.24	70	44	8	12	101	61	0	15	114	72	12	87	3
48	24.11.25-24.12.1	70	44	8	12	255	91	3	11	189	103	13	66	9
49	24.12.2-24.12.8	70	44	8	12	615	165	1	20	159	140	11	51	5
50	24.12.9-24.12.15	70	44	8	12	1,171	236	1	13	243	115	11	31	5
51	24.12.16-24.12.22	70	44	8	12	2,937	325	2	6	174	156	16	19	11
52	24.12.23-24.12.29	70	44	8	12	5,759	529	4	13	151	127	15	13	12
合 計						30,339	25,151	2,276	1,776	7,807	5,453	332	7,971	82

感染症週報（定点把握の感染症）推移表 患者報告数 長崎県（2024 年）

2/2

		定点数				疾患名									
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性胃腸 炎（ロタウ イルス）
1	24.1.1-24.1.7	70	44	8	12	7	0	0	1	11	0	1	1	0	0
2	24.1.8-24.1.14	70	44	8	12	6	1	0	3	16	0	1	1	0	0
3	24.1.15-24.1.21	70	44	8	12	5	0	0	1	7	0	0	0	0	0
4	24.1.22-24.1.28	70	44	8	12	13	2	1	0	7	0	0	1	0	0
5	24.1.29-24.2.4	70	44	8	12	13	0	1	1	7	0	0	1	0	0
6	24.2.5-24.2.11	70	44	8	12	8	3	0	1	4	0	0	0	0	1
7	24.2.12-24.2.18	70	44	8	12	10	0	0	1	6	0	0	0	0	0
8	24.2.19-24.2.25	69	43	8	12	12	1	3	0	7	0	0	1	0	0
9	24.2.26-24.3.3	69	43	8	12	6	0	0	1	5	0	0	0	0	0
10	24.3.4-24.3.10	69	43	8	12	15	3	0	1	8	0	2	0	0	0
11	24.3.11-24.3.17	69	43	8	12	13	1	0	1	10	1	1	1	0	0
12	24.3.18-24.3.24	69	43	8	12	12	0	0	0	7	0	0	0	0	0
13	24.3.25-24.3.31	69	43	8	12	11	0	0	0	4	0	0	2	0	0
14	24.4.1-24.4.7	69	43	8	12	10	0	3	0	3	0	0	0	0	0
15	24.4.8-24.4.14	70	44	8	12	13	0	0	1	6	0	0	1	0	0
16	24.4.15-24.4.21	70	44	8	12	18	0	2	0	3	0	0	3	0	0
17	24.4.22-24.4.28	69	43	8	12	10	2	0	0	8	1	0	1	0	0
18	24.4.29-24.5.5	70	44	8	12	8	0	1	0	3	0	0	1	0	0
19	24.5.6-24.5.12	70	44	8	12	16	1	0	1	5	0	0	0	0	0
20	24.5.13-24.5.19	70	44	8	12	22	7	1	0	3	0	0	1	0	0
21	24.5.20-24.5.26	70	44	8	12	11	8	2	0	2	0	0	2	0	0
22	24.5.27-24.6.2	70	44	8	12	15	11	4	0	0	1	0	1	0	1
23	24.6.3-24.6.9	70	44	8	12	13	24	1	0	4	0	0	1	0	0
24	24.6.10-24.6.16	70	44	8	12	16	13	3	0	7	0	1	1	0	0
25	24.6.17-24.6.23	70	44	8	12	14	17	6	0	1	0	0	4	0	1
26	24.6.24-24.6.30	70	44	8	12	21	38	1	3	6	0	1	1	0	0
27	24.7.1-24.7.7	70	44	8	12	13	52	2	1	4	1	0	4	0	0
28	24.7.8-24.7.14	70	44	8	12	7	37	1	0	8	0	0	4	0	0
29	24.7.15-24.7.21	69	43	8	12	9	23	0	0	3	0	1	7	0	0
30	24.7.22-24.7.28	70	44	8	12	9	31	2	0	3	0	0	13	0	0
31	24.7.29-23.8.4	70	44	8	12	10	30	0	0	6	0	1	12	0	0
32	24.8.5-24.8.11	69	43	8	12	9	19	1	0	0	0	0	23	0	0
33	24.8.12-24.8.18	70	44	8	12	10	14	1	1	1	0	0	8	0	0
34	24.8.19-24.8.25	70	44	8	12	13	12	1	0	5	0	0	10	0	0
35	24.8.26-24.9.1	70	44	8	12	13	35	6	0	1	0	0	23	0	0
36	24.9.2-24.9.8	70	44	8	12	18	23	1	3	4	0	3	15	0	0
37	24.9.9-24.9.15	70	44	8	12	14	25	0	1	6	0	2	24	0	0
38	24.9.16-24.9.22	70	44	8	12	9	22	3	0	4	0	0	20	0	0
39	24.9.23-24.9.29	70	44	8	12	13	16	5	0	3	0	2	22	0	0
40	24.9.30-24.10.6	70	44	8	12	11	20	1	0	2	0	1	29	0	0
41	24.10.7-24.10.13	70	44	8	12	12	21	0	1	6	0	0	20	0	3
42	24.10.14-24.10.20	70	44	8	12	13	21	1	0	3	0	0	21	0	0
43	24.10.21-24.10.27	70	44	8	12	8	26	1	0	5	0	0	23	0	0
44	24.10.28-24.11.3	70	44	8	12	8	18	2	0	4	0	0	30	0	0
45	24.11.4-24.11.10	70	44	8	12	6	7	0	0	3	0	0	24	0	1
46	24.11.11-24.11.17	70	44	8	12	11	13	3	1	1	0	0	24	0	0
47	24.11.18-24.11.24	70	44	8	12	16	2	0	1	1	0	0	26	0	1
48	24.11.25-24.12.1	70	44	8	12	17	4	2	1	3	0	1	27	0	0
49	24.12.2-24.12.8	70	44	8	12	10	5	1	1	14	0	0	15	0	0
50	24.12.9-24.12.15	70	44	8	12	11	1	0	0	4	0	0	12	1	1
51	24.12.16-24.12.22	70	44	8	12	14	1	1	6	18	1	0	8	0	0
52	24.12.23-24.12.29	70	44	8	12	15	1	0	2	20	0	0	14	0	1
合 計						617	611	64	35	282	5	18	483	1	10

		定点数				疾患名								
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	インフル エンザ	新型コロナ ウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑
1	24.1.1-24.1.7	70	44	8	12	16.94	7.54	0.00	2.52	1.45	2.84	0.07	0.32	0.00
2	24.1.8-24.1.14	70	44	8	12	15.81	10.90	0.07	2.59	3.00	3.66	0.14	0.11	0.00
3	24.1.15-24.1.21	70	44	8	12	19.60	12.97	0.00	1.84	3.70	6.77	0.09	0.20	0.00
4	24.1.22-24.1.28	70	44	8	12	17.00	12.01	0.00	1.73	3.14	4.95	0.16	0.30	0.00
5	24.1.29-24.2.4	70	44	8	12	26.69	14.80	0.07	1.82	4.91	4.36	0.14	0.43	0.00
6	24.2.5-24.2.11	70	44	8	12	28.01	12.24	0.02	1.98	4.89	3.93	0.16	0.41	0.00
7	24.2.12-24.2.18	70	44	8	12	22.74	9.87	0.00	1.00	3.64	2.64	0.32	0.23	0.02
8	24.2.19-24.2.25	69	43	8	12	21.07	7.26	0.12	0.98	2.86	3.16	0.05	0.14	0.00
9	24.2.26-24.3.3	69	43	8	12	18.83	6.19	0.14	1.21	3.74	3.88	0.00	0.21	0.00
10	24.3.4-24.3.10	69	43	8	12	21.42	7.07	0.05	0.93	4.79	5.30	0.09	0.42	0.00
11	24.3.11-24.3.17	69	43	8	12	20.58	8.17	0.21	1.30	4.42	4.19	0.05	0.42	0.02
12	24.3.18-24.3.24	69	43	8	12	16.94	7.23	0.05	0.93	3.72	3.37	0.07	0.49	0.00
13	24.3.25-24.3.31	69	43	8	12	11.54	5.41	0.19	0.91	2.21	2.74	0.09	0.26	0.00
14	24.4.1-24.4.7	69	43	8	12	4.87	4.23	0.35	1.30	1.84	2.58	0.07	0.23	0.02
15	24.4.8-24.4.14	70	44	8	12	2.30	3.26	0.61	1.14	3.02	2.43	0.16	0.41	0.00
16	24.4.15-24.4.21	70	44	8	12	1.40	2.80	0.48	1.43	4.43	2.27	0.09	0.68	0.02
17	24.4.22-24.4.28	69	43	8	12	0.90	2.42	0.84	1.12	3.95	2.72	0.16	0.51	0.02
18	24.4.29-24.5.5	70	44	8	12	0.53	1.69	0.43	0.84	2.86	1.23	0.02	0.68	0.00
19	24.5.6-24.5.12	70	44	8	12	0.30	2.43	0.77	1.02	3.36	2.02	0.18	0.68	0.00
20	24.5.13-24.5.19	70	44	8	12	0.17	3.74	1.11	0.95	4.32	3.34	0.09	1.27	0.00
21	24.5.20-24.5.26	70	44	8	12	0.16	4.59	1.64	0.70	5.66	3.68	0.30	1.45	0.00
22	24.5.27-24.6.2	70	44	8	12	0.29	4.31	1.25	1.70	5.36	2.86	0.14	2.68	0.00
23	24.6.3-24.6.9	70	44	8	12	0.11	3.41	1.82	1.05	5.93	2.43	0.27	2.93	0.02
24	24.6.10-24.6.16	70	44	8	12	0.09	4.36	1.70	0.91	5.02	1.80	0.30	3.41	0.05
25	24.6.17-24.6.23	70	44	8	12	0.04	5.36	2.50	0.84	3.98	1.89	0.25	5.05	0.00
26	24.6.24-24.6.30	70	44	8	12	0.20	8.71	3.64	0.82	3.84	2.16	0.14	8.77	0.05
27	24.7.1-24.7.7	70	44	8	12	0.39	12.61	4.70	0.34	3.18	1.55	0.20	10.68	0.02
28	24.7.8-24.7.14	70	44	8	12	0.56	22.40	6.34	0.30	3.32	1.45	0.23	10.98	0.00
29	24.7.15-24.7.21	69	43	8	12	0.13	23.13	4.26	0.28	3.07	0.88	0.16	8.95	0.00
30	24.7.22-24.7.28	70	44	8	12	0.26	24.94	4.93	0.39	2.48	0.95	0.18	10.77	0.00
31	24.7.29-23.8.4	70	44	8	12	0.23	21.34	5.36	0.50	2.80	0.98	0.11	9.80	0.00
32	24.8.5-24.8.11	69	43	8	12	0.16	17.39	3.33	0.51	2.95	1.56	0.02	10.23	0.00
33	24.8.12-24.8.18	70	44	8	12	0.13	10.29	1.25	0.30	1.52	0.57	0.09	4.61	0.02
34	24.8.19-24.8.25	70	44	8	12	0.27	9.81	0.91	0.34	2.66	0.98	0.07	6.05	0.00
35	24.8.26-24.9.1	70	44	8	12	0.21	6.39	0.73	0.14	2.45	1.25	0.07	8.23	0.00
36	24.9.2-24.9.8	70	44	8	12	0.06	4.69	0.68	0.25	2.80	1.14	0.02	7.59	0.00
37	24.9.9-24.9.15	70	44	8	12	0.06	3.23	0.36	0.27	3.16	1.20	0.05	9.07	0.00
38	24.9.16-24.9.22	70	44	8	12	0.19	2.37	0.23	0.36	2.57	1.68	0.02	7.70	0.00
39	24.9.23-24.9.29	70	44	8	12	0.76	1.74	0.05	0.07	2.73	0.84	0.09	6.45	0.02
40	24.9.30-24.10.6	70	44	8	12	0.86	1.81	0.16	0.18	2.77	1.48	0.18	6.48	0.05
41	24.10.7-24.10.13	70	44	8	12	1.10	1.29	0.16	0.20	2.95	1.50	0.09	6.25	0.07
42	24.10.14-24.10.20	70	44	8	12	1.23	0.87	0.05	0.16	2.45	1.23	0.09	3.84	0.11
43	24.10.21-24.10.27	70	44	8	12	1.44	0.99	0.05	0.09	2.77	1.23	0.02	5.07	0.00
44	24.10.28-24.11.3	70	44	8	12	1.53	0.69	0.02	0.20	2.73	1.68	0.09	4.25	0.16
45	24.11.4-24.11.10	70	44	8	12	0.97	0.70	0.00	0.18	2.39	1.09	0.16	3.18	0.05
46	24.11.11-24.11.17	70	44	8	12	1.20	0.80	0.09	0.18	2.98	1.95	0.25	2.70	0.11
47	24.11.18-24.11.24	70	44	8	12	1.44	0.87	0.00	0.34	2.59	1.64	0.27	1.98	0.07
48	24.11.25-24.12.1	70	44	8	12	3.64	1.30	0.07	0.25	4.30	2.34	0.30	1.50	0.20
49	24.12.2-24.12.8	70	44	8	12	8.79	2.36	0.02	0.45	3.61	3.18	0.25	1.16	0.11
50	24.12.9-24.12.15	70	44	8	12	16.73	3.37	0.02	0.30	5.52	2.61	0.25	0.70	0.11
51	24.12.16-24.12.22	70	44	8	12	41.96	4.64	0.05	0.14	3.95	3.55	0.36	0.43	0.25
52	24.12.23-24.12.29	70	44	8	12	82.27	7.56	0.09	0.30	3.43	2.89	0.34	0.30	0.27

		定点数				疾患名									
		インフル エンザ	小児科	眼科	基幹	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性胃腸 炎（ロタウ イルス）
1	24.1.1-24.1.7	70	44	8	12	0.16	0.00	0.00	0.13	1.38	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00
2	24.1.8-24.1.14	70	44	8	12	0.14	0.02	0.00	0.38	2.00	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00
3	24.1.15-24.1.21	70	44	8	12	0.11	0.00	0.00	0.13	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	24.1.22-24.1.28	70	44	8	12	0.30	0.05	0.02	0.00	0.88	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
5	24.1.29-24.2.4	70	44	8	12	0.30	0.00	0.02	0.13	0.88	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
6	24.2.5-24.2.11	70	44	8	12	0.18	0.07	0.00	0.13	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
7	24.2.12-24.2.18	70	44	8	12	0.23	0.00	0.00	0.13	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	24.2.19-24.2.25	69	43	8	12	0.28	0.02	0.07	0.00	0.88	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
9	24.2.26-24.3.3	69	43	8	12	0.14	0.00	0.00	0.13	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	24.3.4-24.3.10	69	43	8	12	0.35	0.07	0.00	0.13	1.00	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
11	24.3.11-24.3.17	69	43	8	12	0.30	0.02	0.00	0.13	1.25	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
12	24.3.18-24.3.24	69	43	8	12	0.28	0.00	0.00	0.00	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
13	24.3.25-24.3.31	69	43	8	12	0.26	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00
14	24.4.1-24.4.7	69	43	8	12	0.23	0.00	0.07	0.00	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
15	24.4.8-24.4.14	70	44	8	12	0.30	0.00	0.00	0.13	0.75	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
16	24.4.15-24.4.21	70	44	8	12	0.41	0.00	0.05	0.00	0.38	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
17	24.4.22-24.4.28	69	43	8	12	0.23	0.05	0.00	0.00	1.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.00
18	24.4.29-24.5.5	70	44	8	12	0.18	0.00	0.02	0.00	0.38	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
19	24.5.6-24.5.12	70	44	8	12	0.36	0.02	0.00	0.13	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
20	24.5.13-24.5.19	70	44	8	12	0.50	0.16	0.02	0.00	0.38	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
21	24.5.20-24.5.26	70	44	8	12	0.25	0.18	0.05	0.00	0.25	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00
22	24.5.27-24.6.2	70	44	8	12	0.34	0.25	0.09	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.08
23	24.6.3-24.6.9	70	44	8	12	0.30	0.55	0.02	0.00	0.50	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
24	24.6.10-24.6.16	70	44	8	12	0.36	0.30	0.07	0.00	0.88	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00
25	24.6.17-24.6.23	70	44	8	12	0.32	0.39	0.14	0.00	0.13	0.00	0.00	0.33	0.00	0.08
26	24.6.24-24.6.30	70	44	8	12	0.48	0.86	0.02	0.38	0.75	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00
27	24.7.1-24.7.7	70	44	8	12	0.30	1.18	0.05	0.13	0.50	0.08	0.00	0.33	0.00	0.00
28	24.7.8-24.7.14	70	44	8	12	0.16	0.84	0.02	0.00	1.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00
29	24.7.15-24.7.21	69	43	8	12	0.21	0.53	0.00	0.00	0.38	0.00	0.08	0.58	0.00	0.00
30	24.7.22-24.7.28	70	44	8	12	0.20	0.70	0.05	0.00	0.38	0.00	0.00	1.08	0.00	0.00
31	24.7.29-23.8.4	70	44	8	12	0.23	0.68	0.00	0.00	0.75	0.00	0.08	1.00	0.00	0.00
32	24.8.5-24.8.11	69	43	8	12	0.21	0.44	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	1.92	0.00	0.00
33	24.8.12-24.8.18	70	44	8	12	0.23	0.32	0.02	0.13	0.13	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00
34	24.8.19-24.8.25	70	44	8	12	0.30	0.27	0.02	0.00	0.63	0.00	0.00	0.83	0.00	0.00
35	24.8.26-24.9.1	70	44	8	12	0.30	0.80	0.14	0.00	0.13	0.00	0.00	1.92	0.00	0.00
36	24.9.2-24.9.8	70	44	8	12	0.41	0.52	0.02	0.38	0.50	0.00	0.25	1.25	0.00	0.00
37	24.9.9-24.9.15	70	44	8	12	0.32	0.57	0.00	0.13	0.75	0.00	0.17	2.00	0.00	0.00
38	24.9.16-24.9.22	70	44	8	12	0.20	0.50	0.07	0.00	0.50	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00
39	24.9.23-24.9.29	70	44	8	12	0.30	0.36	0.11	0.00	0.38	0.00	0.17	1.83	0.00	0.00
40	24.9.30-24.10.6	70	44	8	12	0.25	0.45	0.02	0.00	0.25	0.00	0.08	2.42	0.00	0.00
41	24.10.7-24.10.13	70	44	8	12	0.27	0.48	0.00	0.13	0.75	0.00	0.00	1.67	0.00	0.25
42	24.10.14-24.10.20	70	44	8	12	0.30	0.48	0.02	0.00	0.38	0.00	0.00	1.75	0.00	0.00
43	24.10.21-24.10.27	70	44	8	12	0.18	0.59	0.02	0.00	0.63	0.00	0.00	1.92	0.00	0.00
44	24.10.28-24.11.3	70	44	8	12	0.18	0.41	0.05	0.00	0.50	0.00	0.00	2.50	0.00	0.00
45	24.11.4-24.11.10	70	44	8	12	0.14	0.16	0.00	0.00	0.38	0.00	0.00	2.00	0.00	0.08
46	24.11.11-24.11.17	70	44	8	12	0.25	0.30	0.07	0.13	0.13	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
47	24.11.18-24.11.24	70	44	8	12	0.36	0.05	0.00	0.13	0.13	0.00	0.00	2.17	0.00	0.08
48	24.11.25-24.12.1	70	44	8	12	0.39	0.09	0.05	0.13	0.38	0.00	0.08	2.25	0.00	0.00
49	24.12.2-24.12.8	70	44	8	12	0.23	0.11	0.02	0.13	1.75	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00
50	24.12.9-24.12.15	70	44	8	12	0.25	0.02	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.08	0.08
51	24.12.16-24.12.22	70	44	8	12	0.32	0.02	0.02	0.75	2.25	0.08	0.00	0.67	0.00	0.00
52	24.12.23-24.12.29	70	44	8	12	0.34	0.02	0.00	0.25	2.50	0.00	0.00	1.17	0.00	0.08

感染症月報推移表 患者報告数 長崎県 (2024 年)

月	S T D 定 点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 器 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス 感 染 症	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症
1月	10	20	6	1	6
2月	10	20	10	2	3
3月	10	25	7	0	3
4月	10	14	9	0	1
5月	10	20	4	4	6
6月	10	24	6	1	6
7月	10	30	4	2	4
8月	10	24	13	0	6
9月	10	29	13	1	2
10月	10	20	9	0	2
11月	10	13	10	3	2
12月	10	15	10	1	2
合計		254	101	15	43

月	基 幹 定 点 数	黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症 メ シ チ リ ン 耐 性	肺 炎 球 菌 感 染 症 ペ ニ シ リ ン 耐 性	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症
1月	12	67	2	0
2月	12	49	2	0
3月	12	56	1	0
4月	12	53	8	0
5月	12	46	5	0
6月	12	55	5	0
7月	12	47	2	0
8月	12	61	1	0
9月	12	60	2	0
10月	12	56	3	0
11月	12	48	4	0
12月	12	54	4	0
合計		652	39	0

感染症月報推移表 定点あたり患者報告数 長崎県 (2024 年)

月	S T D 定 点 数	性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 症	性 器 ヘ ル ペ ス ウ イ ル ス 感 染 症	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	淋 菌 感 染 症
1月	10	2.00	0.60	0.10	0.60
2月	10	2.00	1.00	0.20	0.30
3月	10	2.50	0.70	0.00	0.30
4月	10	1.40	0.90	0.00	0.10
5月	10	2.00	0.40	0.40	0.60
6月	10	2.40	0.60	0.10	0.60
7月	10	3.00	0.40	0.20	0.40
8月	10	2.40	1.30	0.00	0.60
9月	10	2.90	1.30	0.10	0.20
10月	10	2.00	0.90	0.00	0.20
11月	10	1.30	1.00	0.30	0.20
12月	10	1.50	1.00	0.10	0.20

月	基 幹 定 点 数	黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症 メ シ チ リ ン 耐 性	肺 炎 球 菌 感 染 症 ペ ニ シ リ ン 耐 性	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症
1月	12	5.58	0.17	0.00
2月	12	4.08	0.17	0.00
3月	12	4.67	0.08	0.00
4月	12	4.42	0.67	0.00
5月	12	3.83	0.42	0.00
6月	12	4.58	0.42	0.00
7月	12	3.92	0.17	0.00
8月	12	5.08	0.08	0.00
9月	12	5.00	0.17	0.00
10月	12	4.67	0.25	0.00
11月	12	4.00	0.33	0.00
12月	12	4.50	0.33	0.00